

男女共同参画に関する市民アンケート

〈報告書〉

平成 29 年 4 月

安曇野市

---

## はじめに

安曇野市では、市民が性別・障がい・国籍の有無等にかかわらず、互いに認め合い支え合いながら、家庭で・職場で・地域でいきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざして、さまざまな施策の取り組みを進めてきました。

そうした取り組みをさらに推進するため、下記の要領で「男女共同参画に関する市民アンケート」を実施しました。

---

目 的：第3次安曇野市男女共同参画計画策定にあたり基礎資料を得るため

調査対象：市内の満18歳以上の男女3,000人（無作為抽出）

調査方法：郵送法調査

調査期間：平成29年1月16日～2月5日

回収率：39.5%（有効回答数1,185）

---

本報告書は、上記調査結果をまとめたものです。

本報告書の利用に当たっては、次の点に留意してください。

- 1) グラフ中の数値は、とくに断りがない場合、百分率（%）を表します。
  - 2) 百分率は小数点第二位を四捨五入して小数点第一位までを表記しました。このため、合計が100にならない場合があります。
  - 3) 複数回答の場合、百分率の合計が100を超えます。
  - 4) 表中、割合の（ ）内数字は、前回調査の値です。
  - 5) 「1つのみ」、「3つまで」の回答を求める設問に対し、その指定回答数以上の選択をした回答者が複数存在しますが、全てを有効回答として計数あります。（問8、問12、問17、問21、問22）
-

---

## 目 次

### 〈男女共同参画に関する市民アンケート〉

|                     |    |
|---------------------|----|
| はじめに                | 2  |
| 1 回答者について           | 4  |
| 2 言葉や制度についての認知度     | 7  |
| 3 地域での慣行や意識について     | 21 |
| 4 男女平等感等について        | 29 |
| 5 男女の役割の固定意識や通念について | 35 |
| 6 仕事や役職について         | 37 |
| 7 政策決定と女性の登用について    | 43 |
| 8 多文化共生について         | 45 |
| 9 男女共同参画を推進するために    | 50 |

### 〈自由意見等〉

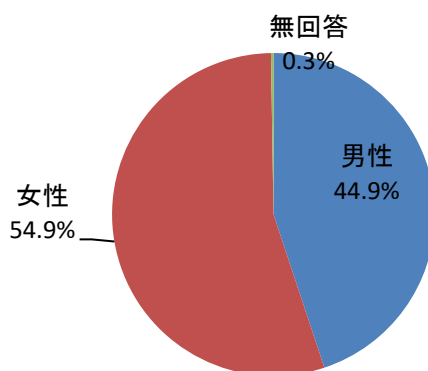
|  |    |
|--|----|
| 社会活動全般について平等でないと思う分野                           | 57 |
| 社会活動全般について日頃から感じていること                          | 57 |
| 男性の家事・育児・介護への関わりを進めていくために必要なこと                 | 80 |
| 女性が働く上で障害となっていること「その他」の回答                      | 81 |
| 男女共同参画社会の形成を推進するために必要なこと「その他」の回答               | 82 |
| 男女共同参画社会を進める上で若い世代に参画してもらうために必要なこと<br>「その他」の回答 | 83 |
| 男女共同参画についての自由意見                                | 84 |

# 1 回答者について

問1 あなたの性別を教えてください。

|     | 人数    | 割合(%)      |
|-----|-------|------------|
| 男性  | 532   | 44.9(43.9) |
| 女性  | 650   | 54.9(54.8) |
| 無回答 | 3     | 0.3(1.2)   |
| 計   | 1,185 | 100.0      |

回答者性別(総数1185、単位%)

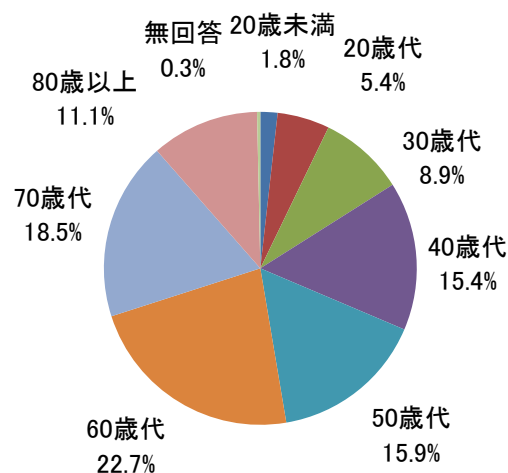


回答者の性別については、「男性」が約 45%、「女性」が約 55%となり、「女性」の回答率がやや高くなっています。

問2 あなたの年齢を教えてください。

|       | 人数    | 割合(%)      |
|-------|-------|------------|
| 20歳未満 | 21    | 1.8(2.0)   |
| 20歳代  | 64    | 5.4(6.2)   |
| 30歳代  | 105   | 8.9(12.1)  |
| 40歳代  | 182   | 15.4(14.1) |
| 50歳代  | 189   | 15.9(16.4) |
| 60歳代  | 269   | 22.7(23.8) |
| 70歳代  | 219   | 18.5(17.4) |
| 80歳以上 | 132   | 11.1(7.4)  |
| 無回答   | 4     | 0.3(0.5)   |
| 計     | 1,185 | 100.0      |

回答者年齢(総数1,185、単位%)

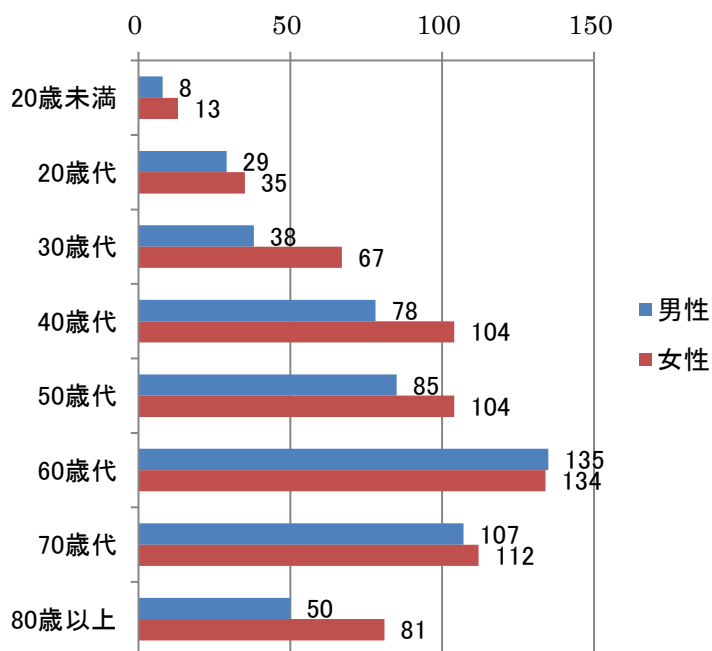


年齢構成については、「60歳代」を中心に、「70歳代」「50歳代」など、比較的高い年齢層の比率が高くなっています。

問2 男女別あなたの年齢を教えてください。

|       | 男性  | 女性  | 計     |
|-------|-----|-----|-------|
| 20歳未満 | 8   | 13  | 21    |
| 20歳代  | 29  | 35  | 64    |
| 30歳代  | 38  | 67  | 105   |
| 40歳代  | 78  | 104 | 182   |
| 50歳代  | 85  | 104 | 189   |
| 60歳代  | 135 | 134 | 269   |
| 70歳代  | 107 | 112 | 219   |
| 80歳以上 | 50  | 81  | 131   |
| 計     | 530 | 650 | 1,180 |
| 無回答   |     |     | 5     |
| 総計    |     |     | 1,185 |

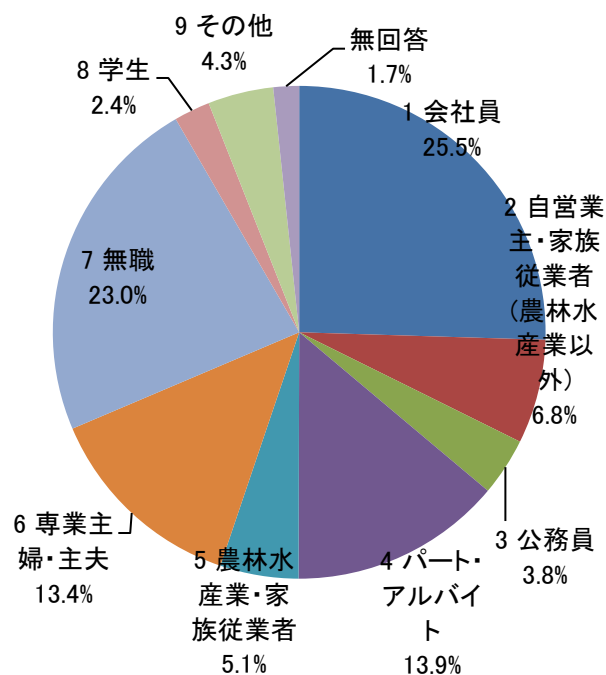
男女別回答者年齢（総数：男性530、女性650、無回答5、単位人）



問3 あなたの職業を教えてください。

|                           | 人数    | 割合(%) |
|---------------------------|-------|-------|
| 1 会社員                     | 302   | 25.5  |
| 2 自営業主・家族従業者<br>(農林水産業以外) | 81    | 6.8   |
| 3 公務員                     | 45    | 3.8   |
| 4 パート・アルバイト               | 165   | 13.9  |
| 5 農林水産業・家族従業者             | 61    | 5.1   |
| 6 専業主婦・主夫                 | 159   | 13.4  |
| 7 無職                      | 273   | 23.0  |
| 8 学生                      | 28    | 2.4   |
| 9 その他                     | 51    | 4.3   |
| 無回答                       | 20    | 1.7   |
| 計                         | 1,185 | 100.0 |

回答者職業（総数1,185、単位%）



回答者は男女共に 60 歳代が最も多く、職業別では「会社員・公務員」の常勤者が3割近くを占め最も多く、「無職」も2割を超えています。このほか、「パート・アルバイト」、「専業主婦（夫）」がそれぞれ1割以上を占めています。

回答者年齢別職業(単位:人)

|       | 1<br>会社員 | 2<br>自営業主・家族従業者<br>農林水産業以外) | 3<br>公務員 | 4<br>パート・アルバイト | 5<br>業<br>農林水産業・家族従業者 | 6<br>専業主婦・主夫 | 7<br>無職 | 8<br>学生 | 9<br>その他 | 無回答 | 計     |
|-------|----------|-----------------------------|----------|----------------|-----------------------|--------------|---------|---------|----------|-----|-------|
| 20歳未満 | 2        | 0                           | 1        | 1              | 0                     | 0            | 1       | 16      | 0        | 0   | 21    |
| 20歳代  | 38       | 0                           | 3        | 3              | 0                     | 3            | 3       | 12      | 1        | 1   | 64    |
| 30歳代  | 51       | 2                           | 8        | 21             | 0                     | 20           | 1       | 0       | 2        | 0   | 105   |
| 40歳代  | 73       | 21                          | 16       | 44             | 2                     | 17           | 5       | 0       | 4        | 0   | 182   |
| 50歳代  | 80       | 10                          | 13       | 42             | 2                     | 21           | 8       | 0       | 8        | 5   | 189   |
| 60歳代  | 50       | 28                          | 3        | 46             | 20                    | 43           | 60      | 0       | 15       | 4   | 269   |
| 70歳代  | 8        | 17                          | 0        | 8              | 20                    | 40           | 106     | 0       | 15       | 5   | 219   |
| 80歳以上 | 0        | 3                           | 0        | 0              | 17                    | 15           | 88      | 0       | 6        | 3   | 132   |
| 無回答   | 0        | 0                           | 1        | 0              | 0                     | 0            | 1       | 0       | 0        | 2   | 4     |
| 計     | 302      | 81                          | 45       | 165            | 61                    | 159          | 273     | 28      | 51       | 20  | 1,185 |

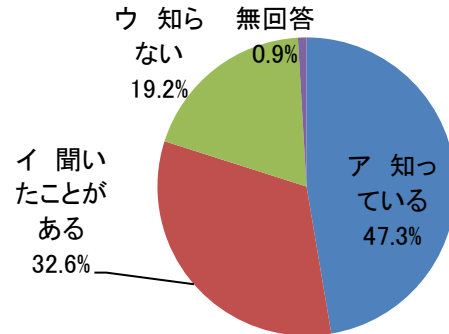
## 2 言葉や制度についての認知度

問4 あなたは、次の言葉を知っていますか。それぞれ1つ選んでください。

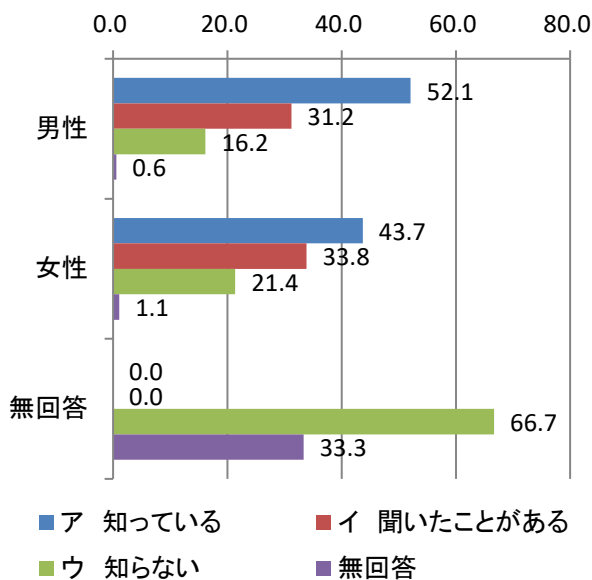
問 4-1 男女共同参画社会

|            | 人数    | 割合(%)      |
|------------|-------|------------|
| ア 知っている    | 561   | 47.3(46.8) |
| イ 聞いたことがある | 386   | 32.6(29.4) |
| ウ 知らない     | 227   | 19.2(20.8) |
| 無回答        | 11    | 0.9(3.0)   |
| 計          | 1,185 | 100.0      |

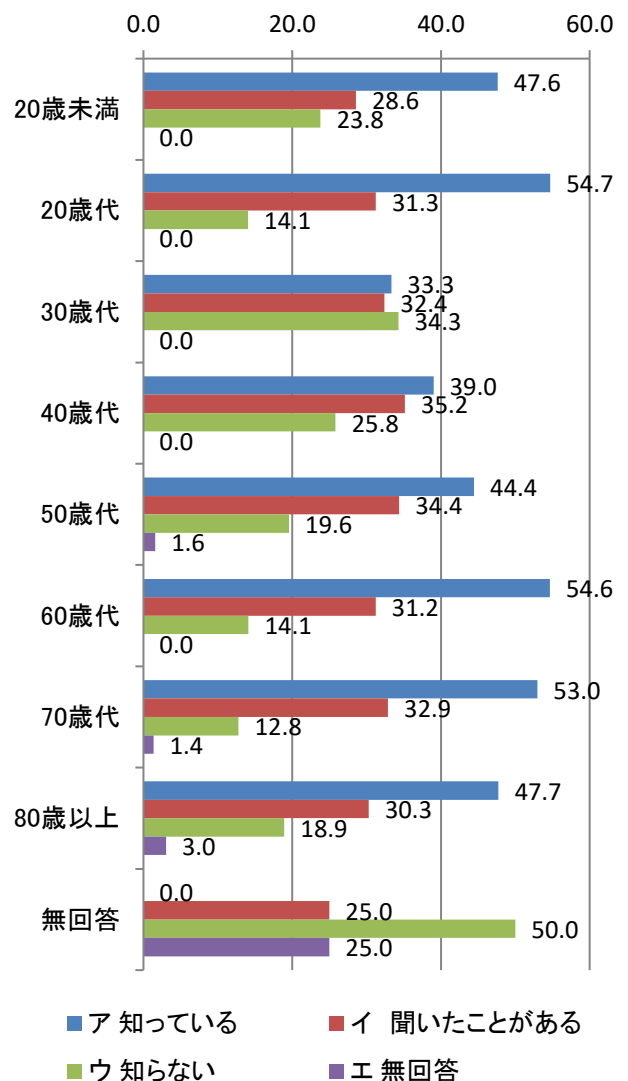
「男女共同参画社会」の認知度  
(総数1,185、無回答11、単位%)



男女別「男女共同参画社会」の認知度  
(男性532、女性650、無回答3、単位%)



年代別「男女共同参画社会」の認知度  
(総数1,185、単位%)



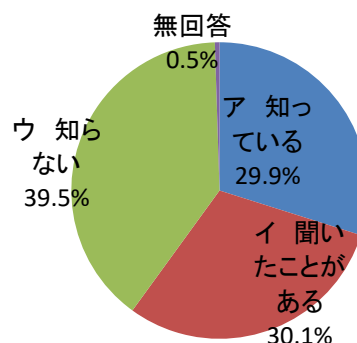
「男女共同参画社会」の言葉の認知度については、「知っている」、「聞いたことがある」が約80%で前回調査を4%程上回っており、認知度は少しずつ高まっているといえます。

男女別では、前回、前々回調査同様、男性の認知度が女性を上回っています。年代別にみると、20歳代について86%もの高い認知度となっているほか、60歳代、70歳代の認知度が高くなっています。

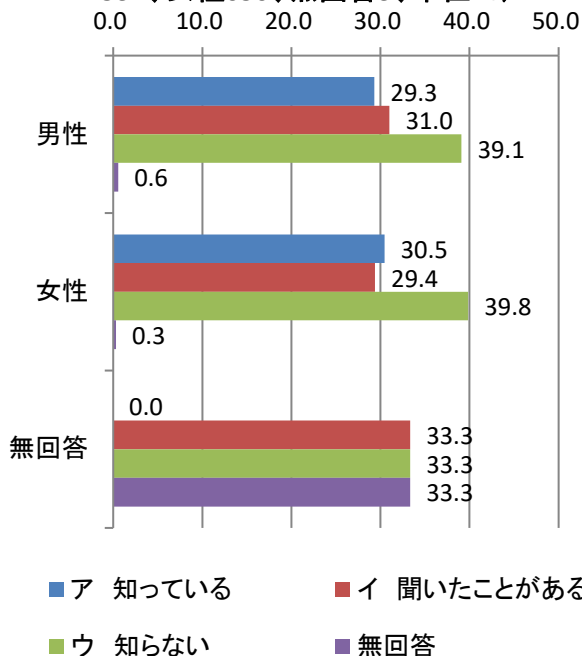
問 4-2 ジェンダー

|            | 人数    | 割合(%)      |
|------------|-------|------------|
| ア 知っている    | 354   | 29.9(22.9) |
| イ 聞いたことがある | 357   | 30.1(25.9) |
| ウ 知らない     | 468   | 39.5(48.0) |
| 無回答        | 6     | 0.5(4.3)   |
| 計          | 1,185 | 100.0      |

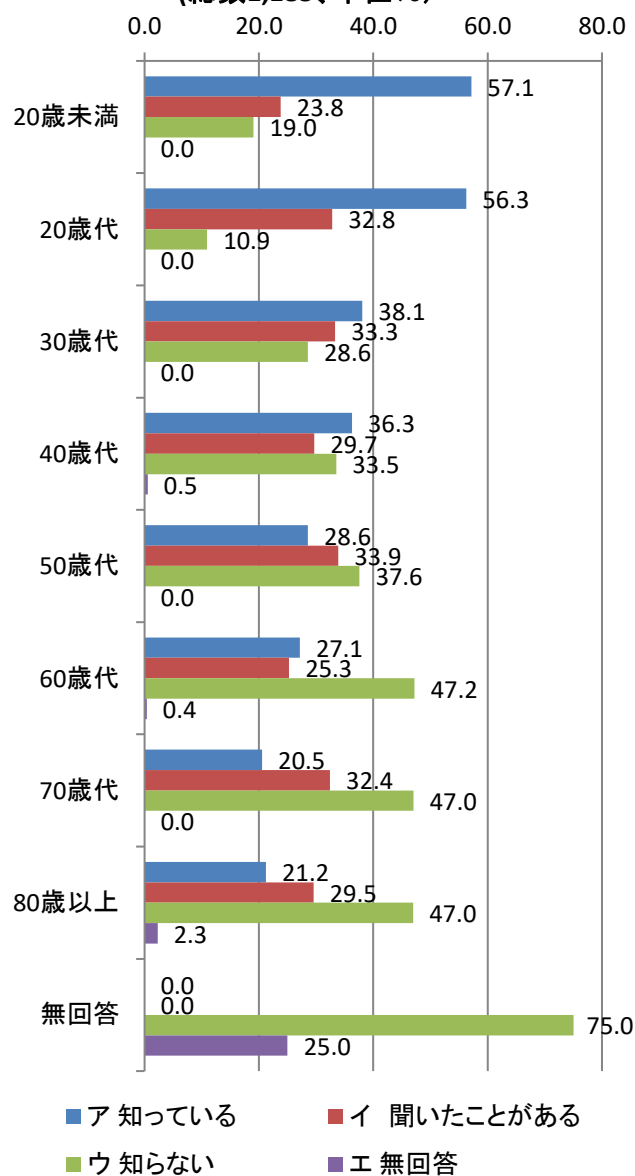
「ジェンダー」の認知度  
(総数1,185、単位%)



男女別「ジェンダー」の認知度(男性  
532、女性650、無回答3、単位%)



年代別「ジェンダー」の認知度  
(総数1,185、単位%)



「ジェンダー」については、前回調査に比べ、「知っている」が7%、「聞いたことがある」が4%程増加し、認知度は高まっているといえます。

前回の、「知らない」が48%から39.5%に減少しています。

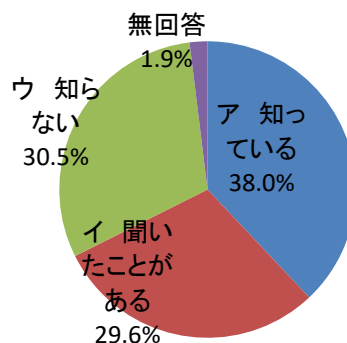
男女別では、女性の「知っている」が前回の19.5%から10%以上増加し、年代別では20歳未満が前回の73.9%から80.9%、20歳代では55.7%から89.1%と高まっています。



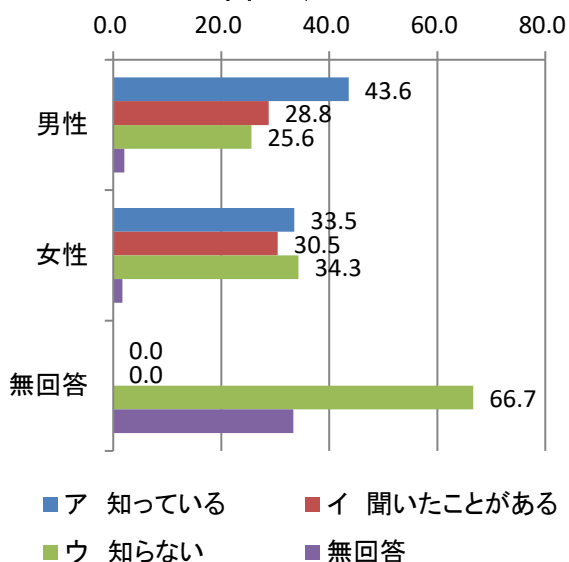
問 4-3 ワーク・ライフ・バランス

|            | 人数    | 割合(%) |
|------------|-------|-------|
| ア 知っている    | 450   | 38.0  |
| イ 聞いたことがある | 351   | 29.6  |
| ウ 知らない     | 361   | 30.5  |
| 無回答        | 23    | 1.9   |
| 計          | 1,185 | 100.0 |

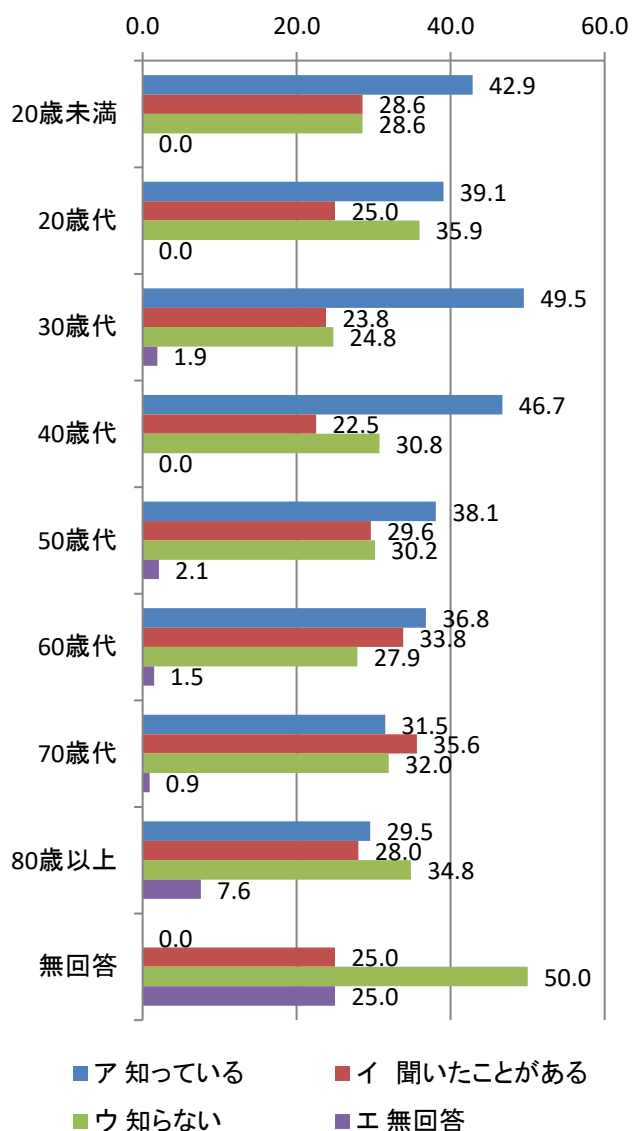
「ワーク・ライフ・バランス」の認知度  
(総数1,185、単位%)



男女別「ワーク・ライフ・バランス」の認知度(男性532、女性650、無回答3、単位%)



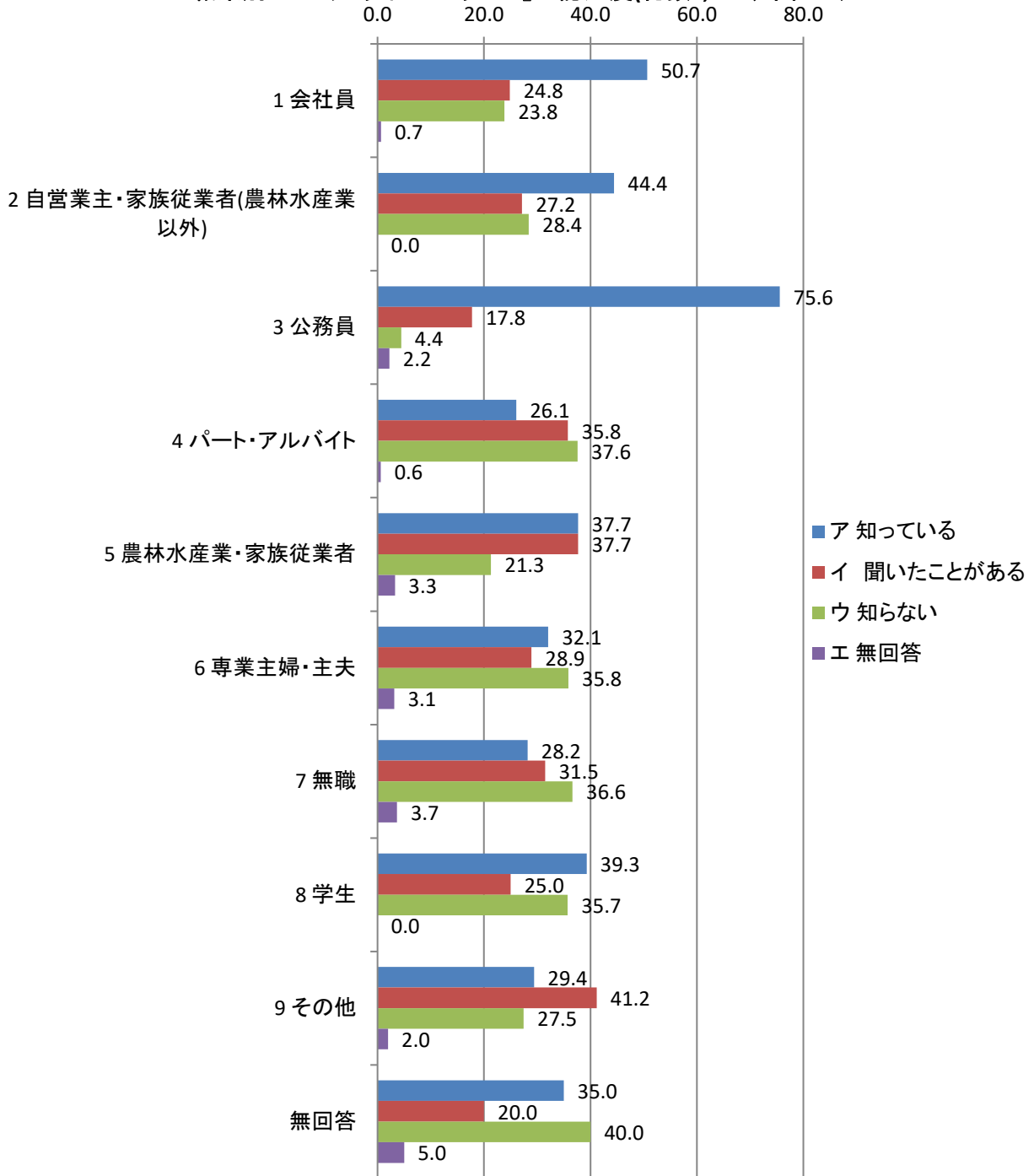
年代別「ワーク・ライフ・バランス」の認知度(総数1,185、単位%)



「ワーク・ライフ・バランス」については、子育て世代でもある30歳代、40歳代の「知っている」割合が高く、年代が上がるにつれ減少傾向です。

また、次ページにあるように、職業別では公務員、会社員の認知度が高く、パート・アルバイト、専業主婦(主夫)、無職では「知っている」、「聞いたことがある」を合わせても60%程度に留まっています。

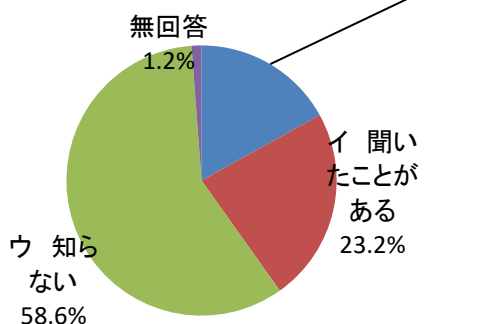
職業別「ワーク・ライフ・バランス」の認知度(総数1,185、単位%)



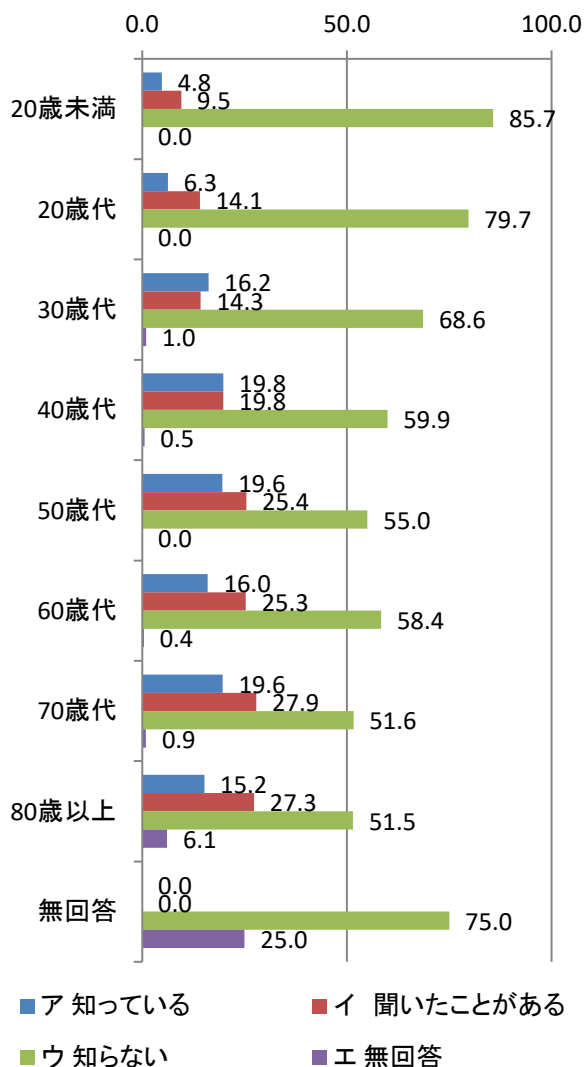
問 4-4 イクボス・温かボス

|            | 人数    | 割合(%) |
|------------|-------|-------|
| ア 知っている    | 201   | 17.0  |
| イ 聞いたことがある | 275   | 23.2  |
| ウ 知らない     | 695   | 58.6  |
| 無回答        | 14    | 1.2   |
| 計          | 1,185 | 100.0 |

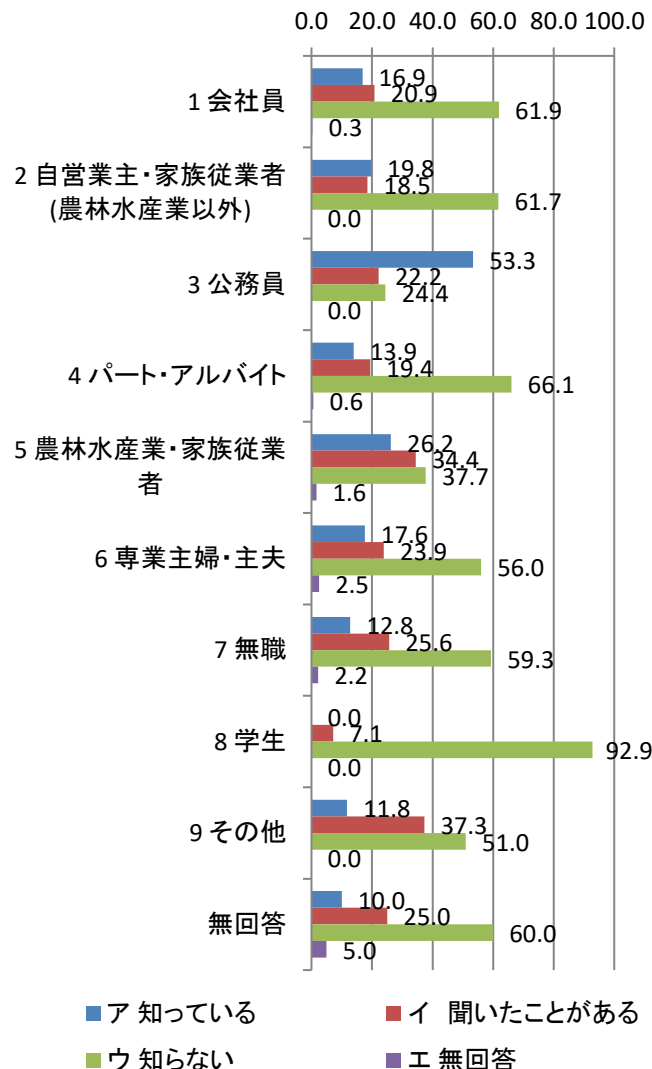
「イクボス・温かボス」の認知度  
(総数1,185、単位%)



年代別「イクボス・温かボス」の認知度  
(総数1,185、単位%)



職業別「イクボス・温かボス」の認知度  
(総数1,185、単位%)

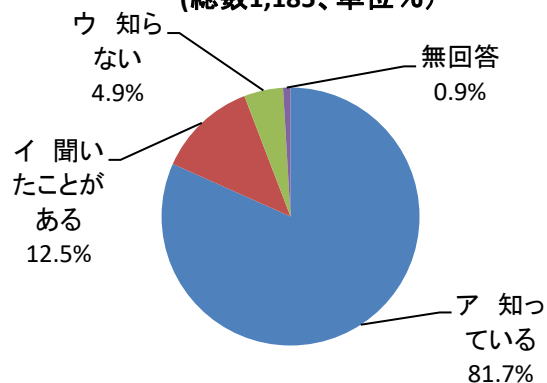


「イクボス・温かボス」については認知度が低く、「知っている」が比較的多い40歳代、50歳代、70歳代でも2割弱、職業別では、公務員が半数強となりますが、他の職業では3割に満たない低い状況です。

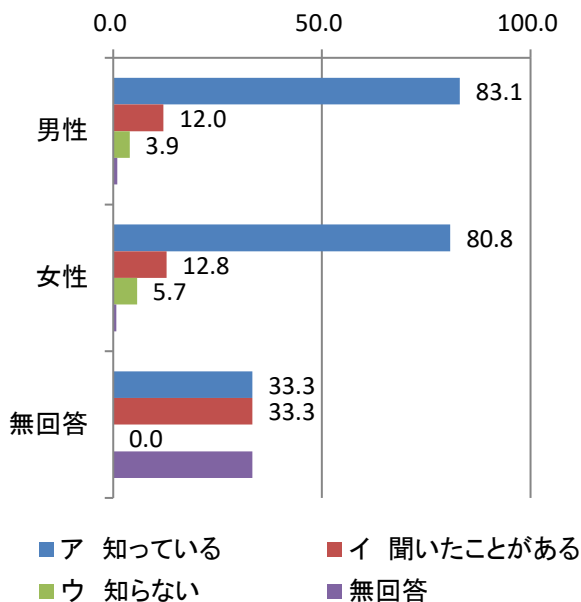
問 4-5 ドメスティック・バイオレンス

|            | 人数    | 割合(%)      |
|------------|-------|------------|
| ア 知っている    | 968   | 81.7(79.7) |
| イ 聞いたことがある | 148   | 12.5(11.9) |
| ウ 知らない     | 58    | 4.9(5.7)   |
| 無回答        | 11    | 0.9(2.7)   |
| 計          | 1,185 | 100.0      |

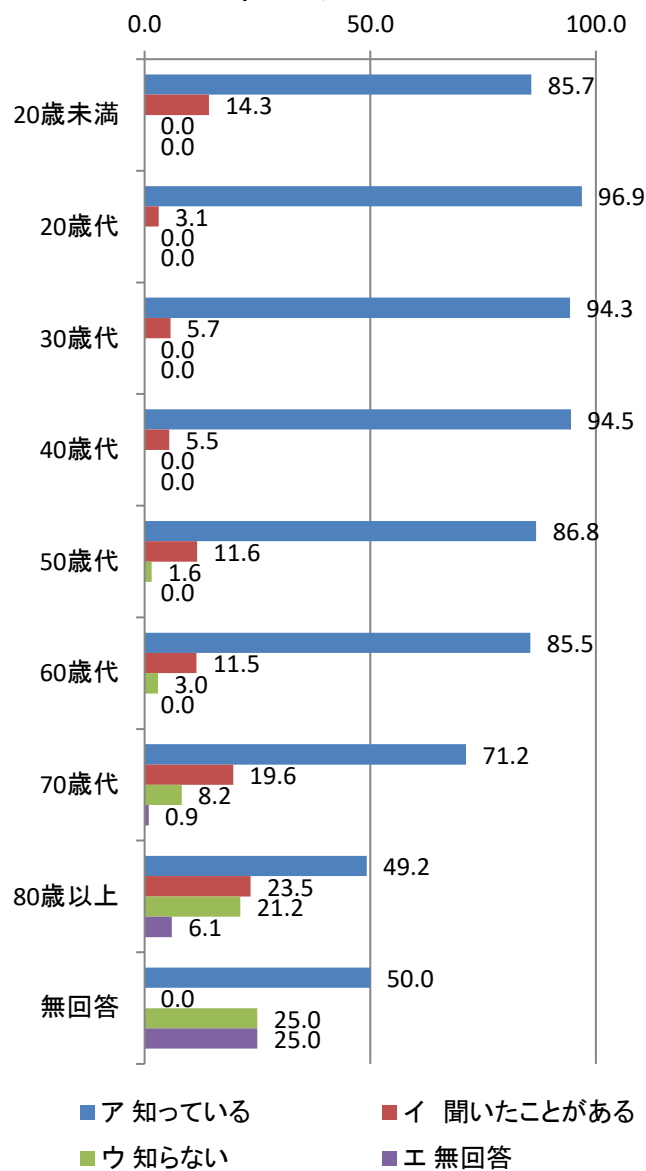
「ドメスティック・バイオレンス」の認知度  
(総数1,185、単位%)



男女別「ドメスティック・バイオレンス」  
の認知度(男性532、女性650、  
無回答3、単位%)



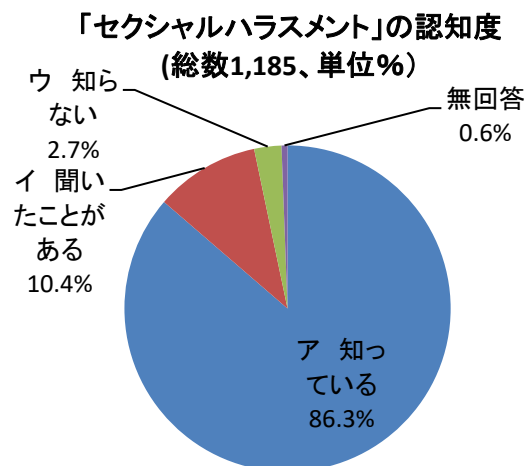
年代別「ドメスティック・バイオレンス」の  
認知度(総数1,185、単位%)



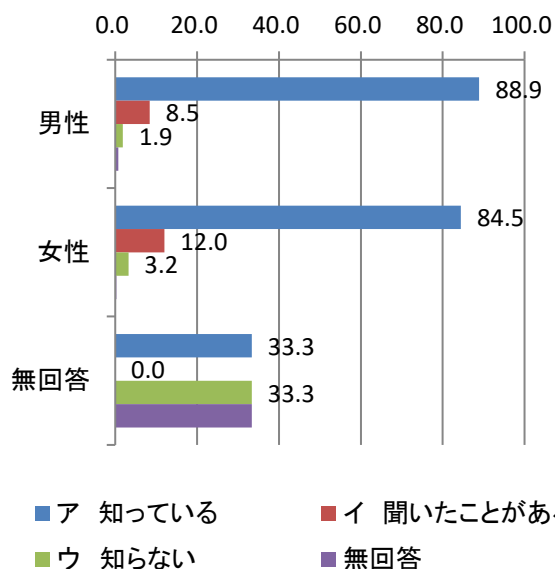
「ドメスティック・バイオレンス」について、  
前回同様、高い認知度で推移しています。  
特に、40歳代までは「知らない」が0%とな  
っており、男女別の「知っている」、「聞いたこ  
とがある」では、男性が女性をやや上回ってい  
ます。

問 4-6 セクシャルハラスメント

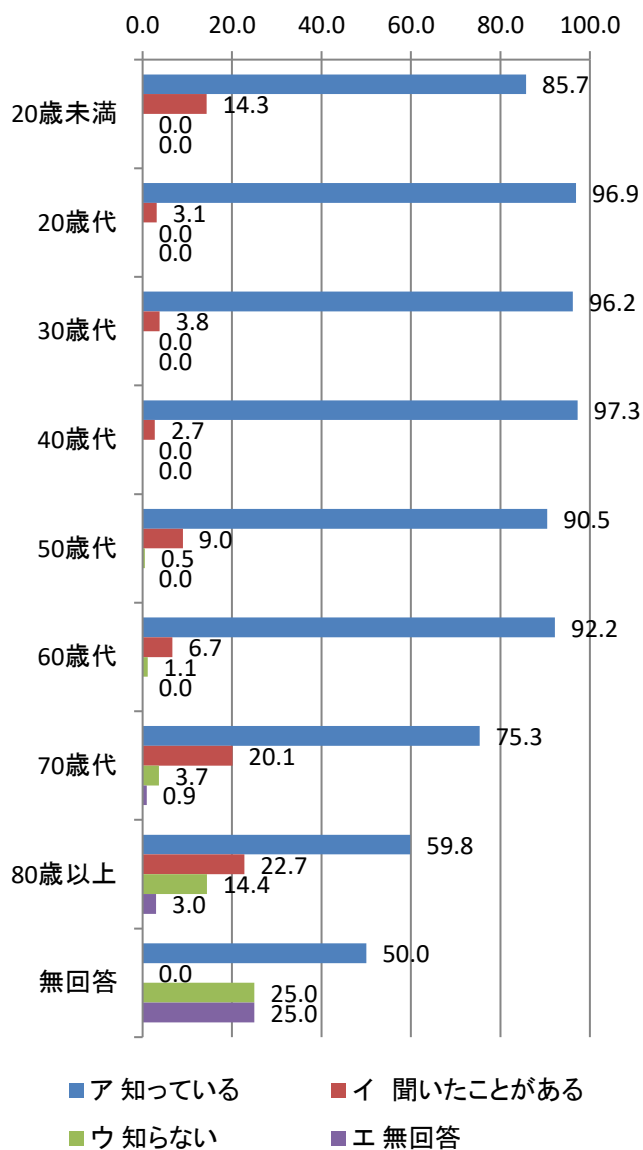
|            | 人数    | 割合(%)      |
|------------|-------|------------|
| ア 知っている    | 1,023 | 86.3(84.9) |
| イ 聞いたことがある | 123   | 10.4(9.4)  |
| ウ 知らない     | 32    | 2.7(3.2)   |
| 無回答        | 7     | 0.6(2.6)   |
| 計          | 1,185 | 100.0      |



男女別「セクシャルハラスメント」の認知度(男性532、女性650、無回答3、単位%)



年代別「セクシャルハラスメント」の認知度(総数1,185、単位%)

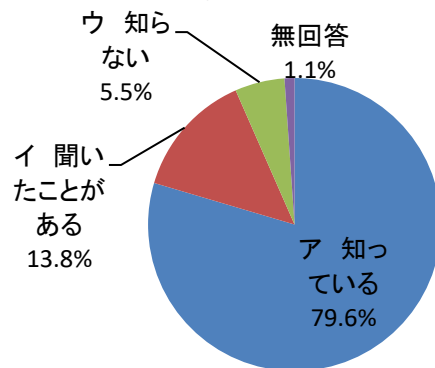


「セクシャルハラスメント」について、「ドメスティック・バイオレンス」同様、高い認知度で推移しています。  
年代別では、20歳代から60歳代までの幅広い世代での「知っている」が9割を超え、80歳代以上でも「知っている」、「聞いたことがある」の合計が8割を超えています。

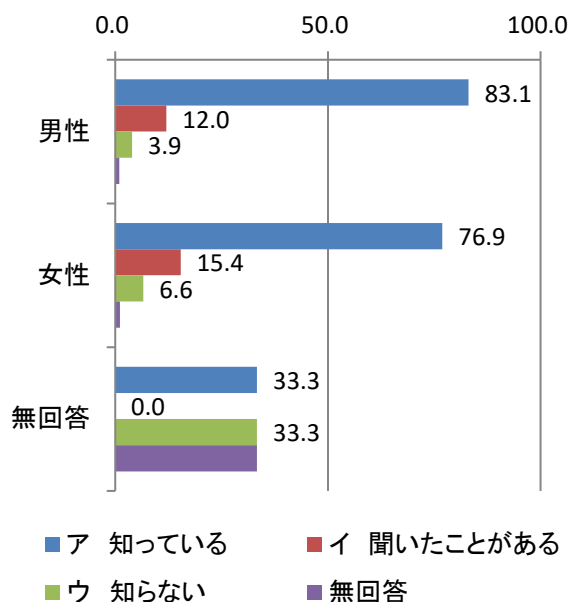
問 4-7 パワーハラスメント

|            | 人数    | 割合(%) |
|------------|-------|-------|
| ア 知っている    | 943   | 79.6  |
| イ 聞いたことがある | 164   | 13.8  |
| ウ 知らない     | 65    | 5.5   |
| 無回答        | 13    | 1.1   |
| 計          | 1,185 | 100.0 |

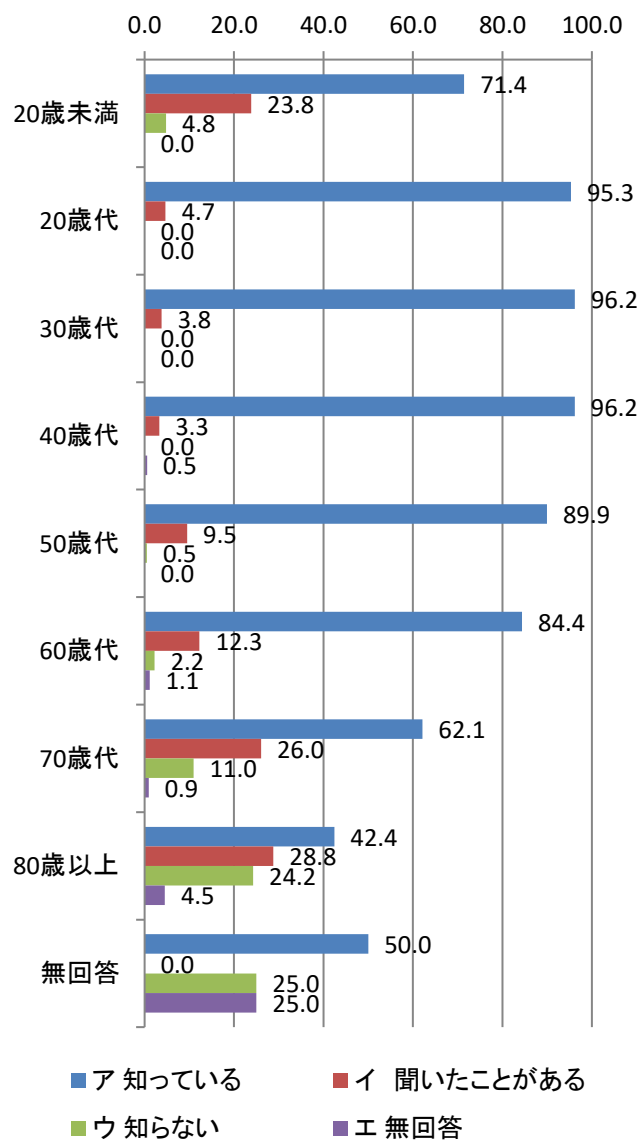
「パワーハラスメント」の認知度  
(総数1,185、単位%)



男女別「パワーハラスメント」の認知度(男性532、女性650、無回答3、単位%)

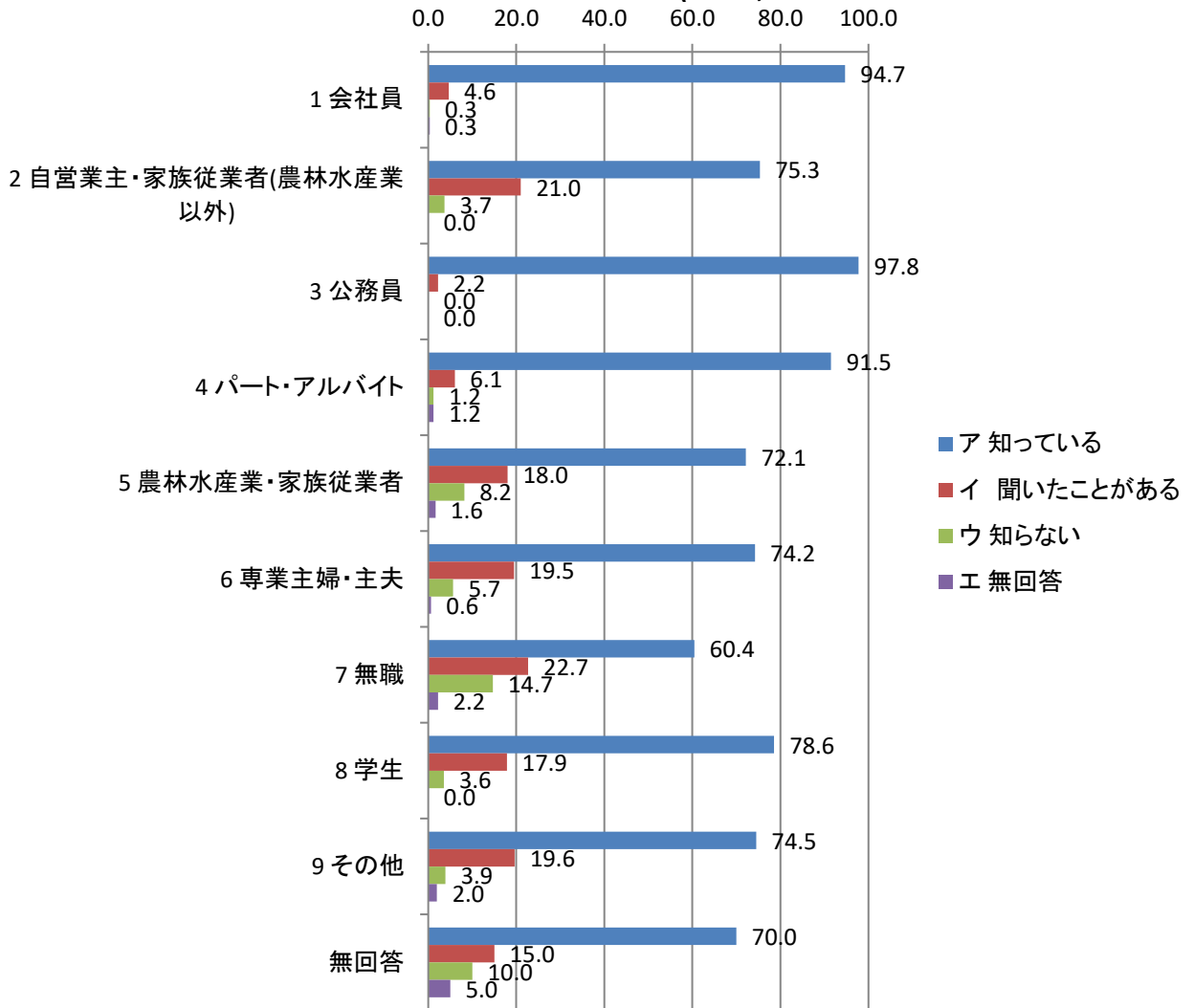


年代別「パワーハラスメント」の認知度  
(総数1,185、単位%)



「パワーハラスメント」の認知度は、男女別では男性が女性をやや上回り、年代別では20歳代から40歳代で「知っている」が95%を超えています。  
次頁にあるように、職業別では、会社員、公務員、パート・アルバイトの勤め人の「知っている」が90%を超え、その他の職業、無職者は70%台以下となっています。

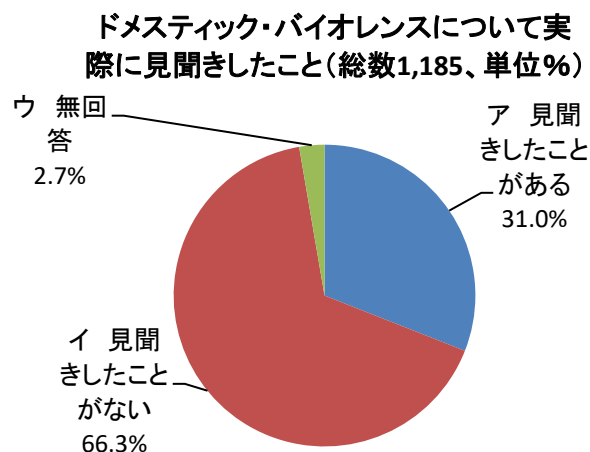
職業別「パワーハラスメント」の認知度(総数1,185、単位%)



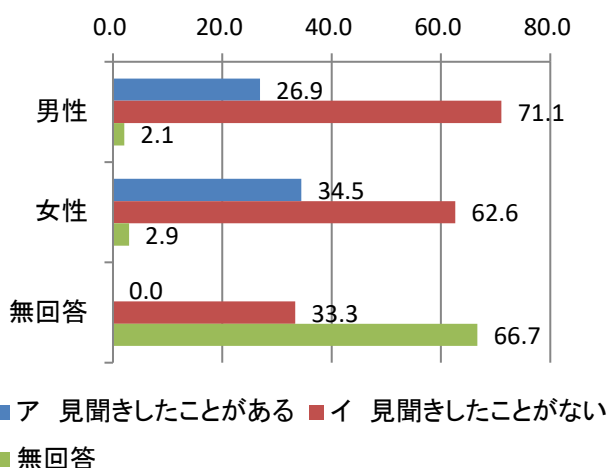
問5 ドメスティック・バイオレンス、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントが深刻な社会問題と なっていますが、あなたの身の周りで実際に見たり聞いたりしたことがありますか。

問 5-1 ドメスティック・バイオレンス

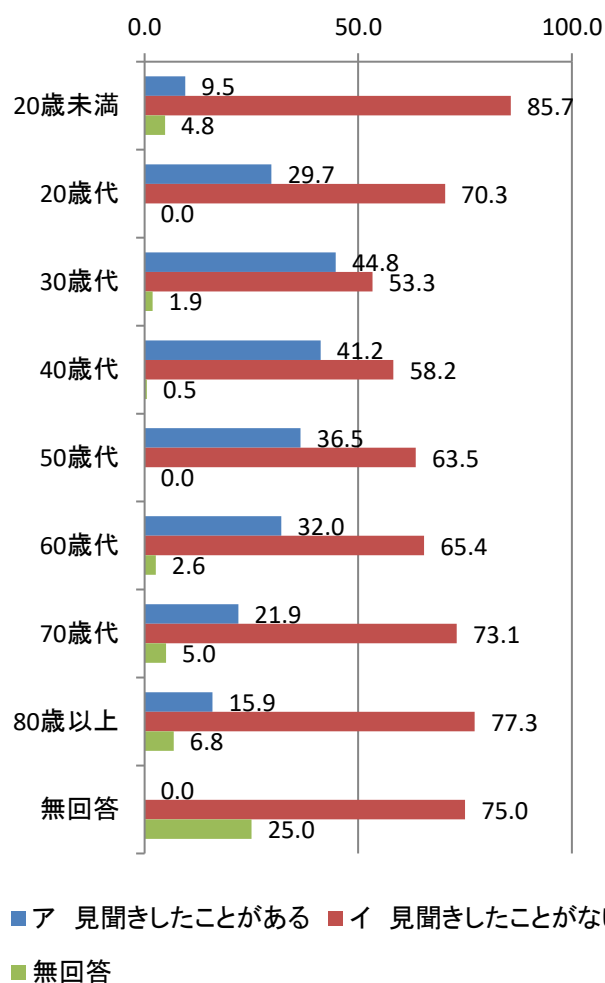
|              | 人数    | 割合 (%) |
|--------------|-------|--------|
| ア 見聞きしたことがある | 367   | 31.0   |
| イ 見聞きしたことがない | 786   | 66.3   |
| ウ 無回答        | 32    | 2.7    |
| 計            | 1,185 | 100.0  |



男女別ドメスティック・バイオレンスについて実際に見聞きしたこと(男性532、女性650、無回答3、単位%)



年代別ドメスティック・バイオレンスについて実際に見聞きしたこと(総数1,185、単位%)



全体の約3割が「ドメスティック・バイオレンス」について、実際に見聞きしたと回答しています。

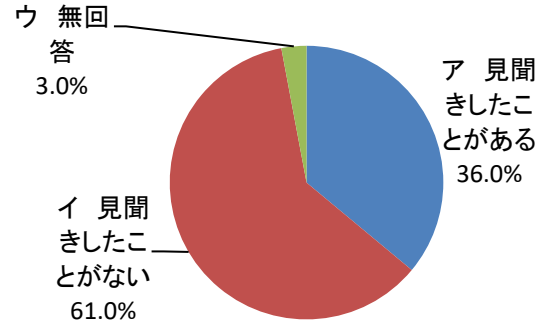
男女別では女性の方が多く、年代別では20歳未満から上昇し、30歳代、40歳代の4割強をピークに、年代が上がるにつれて少なくなっています。



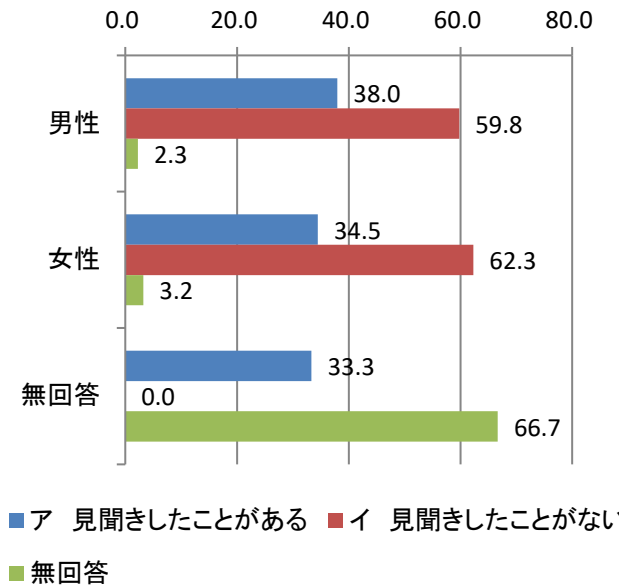
問 5-2 セクシャルハラスメント

|              | 人数    | 割合 (%) |
|--------------|-------|--------|
| ア 見聞きしたことがある | 427   | 36.0   |
| イ 見聞きしたことがない | 723   | 61.0   |
| ウ 無回答        | 35    | 3.0    |
| 計            | 1,185 | 100.0  |

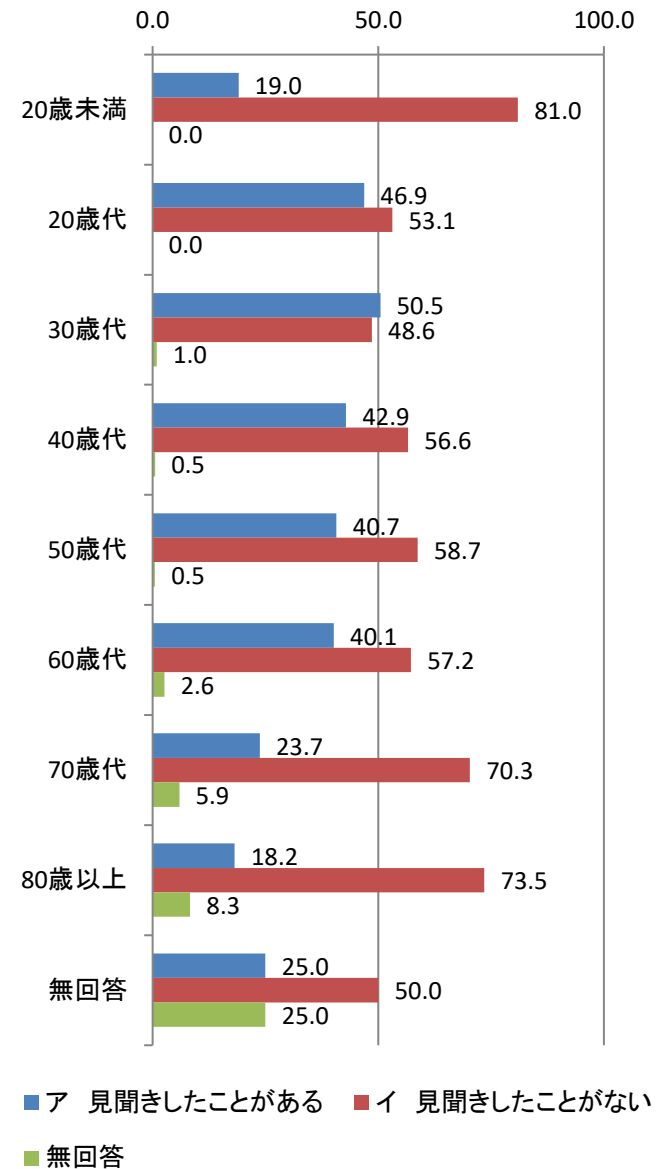
セクシャルハラスメントについて  
実際に見聞きしたこと  
(総数1,185、単位%)



男女別セクシャルハラスメントについて  
実際に見聞きしたこと(男性532、女性  
650、無回答3、単位%)



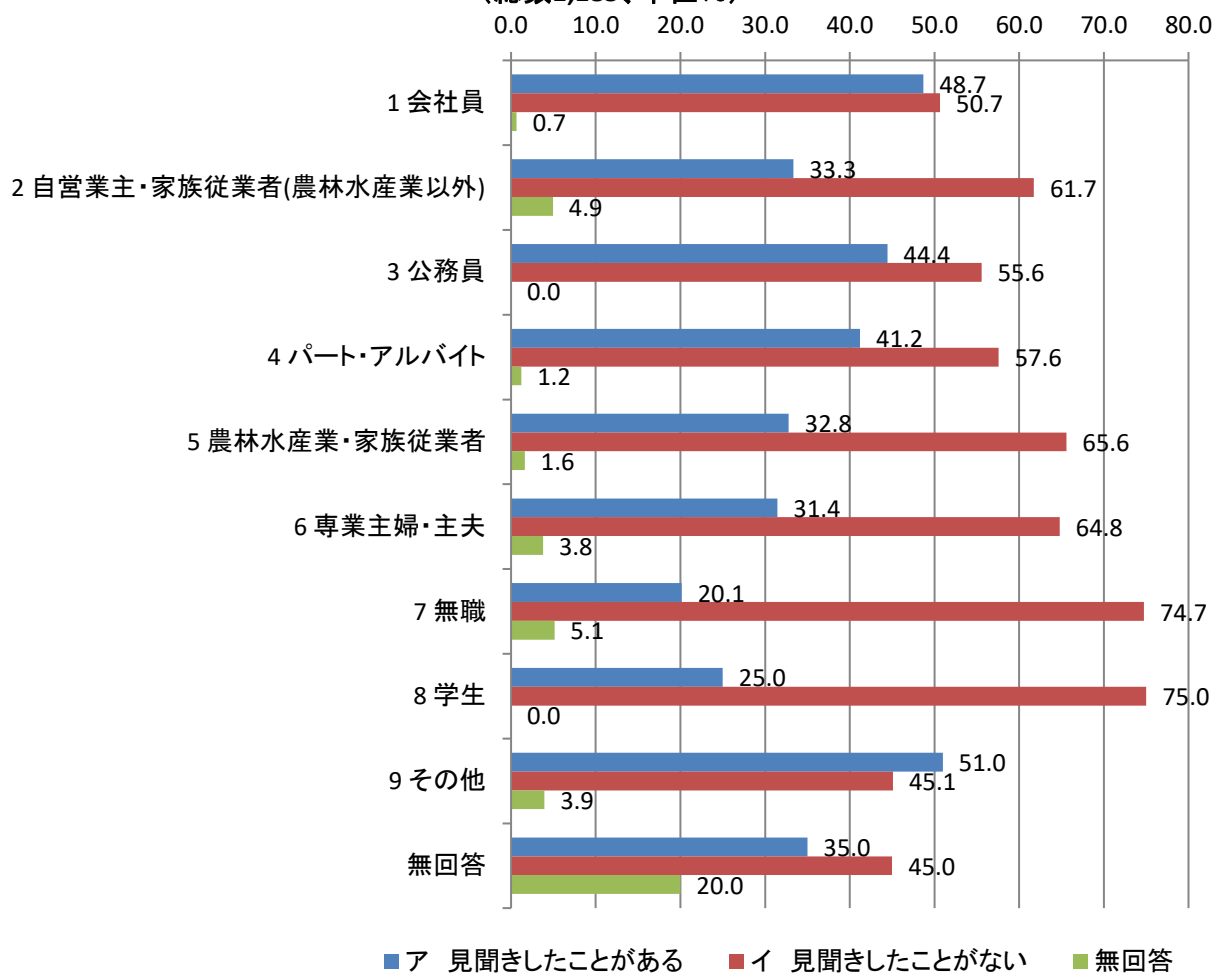
年代別セクシャルハラスメントについて  
実際に見聞きしたこと(総数1,185、単位%)



「セクシャルハラスメント」を実際に見聞きしたのは全体の36%となっています。  
年代別では20歳代から60歳代で4割を超え、職業別では母数が少ない「その他」を除き、会社員、公務員、パート・アルバイトで4割を超えています。

### 職業別セクシャルハラスメントについて実際に見聞きしたこと

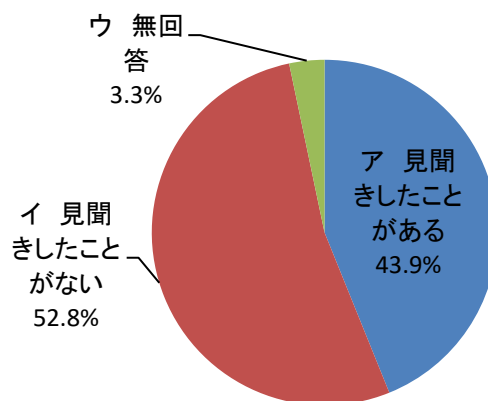
(総数1,185、単位%)



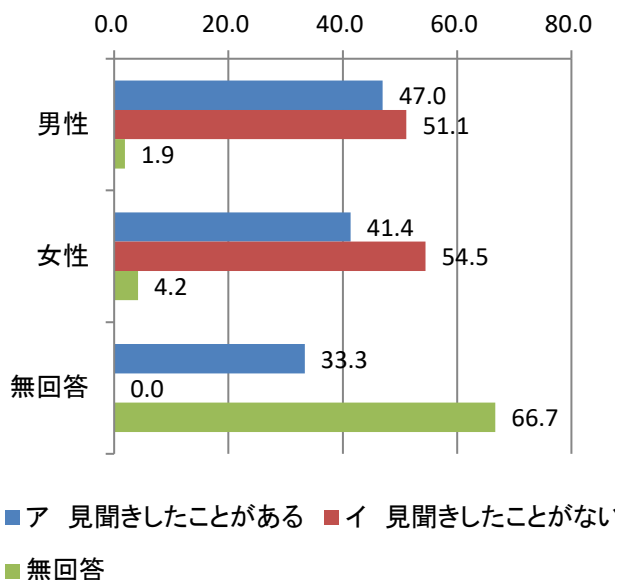
問 5-3 パワーハラスメント

|              | 人数    | 割合 (%) |
|--------------|-------|--------|
| ア 見聞きしたことがある | 520   | 43.9   |
| イ 見聞きしたことがない | 626   | 52.8   |
| ウ 無回答        | 39    | 3.3    |
| 計            | 1,185 | 100.0  |

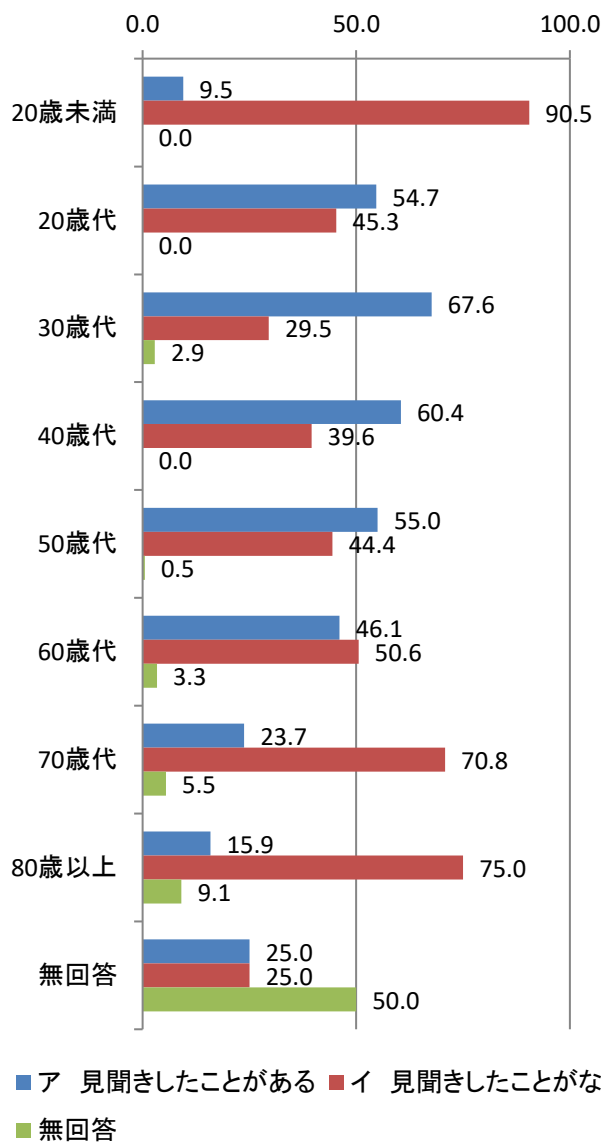
パワーハラスメントについて実際に見聞きしたこと(総数1,185、単位%)



男女別パワーハラスメントについて実際に見聞きしたこと(男性532、女性650、無回答3、単位%)

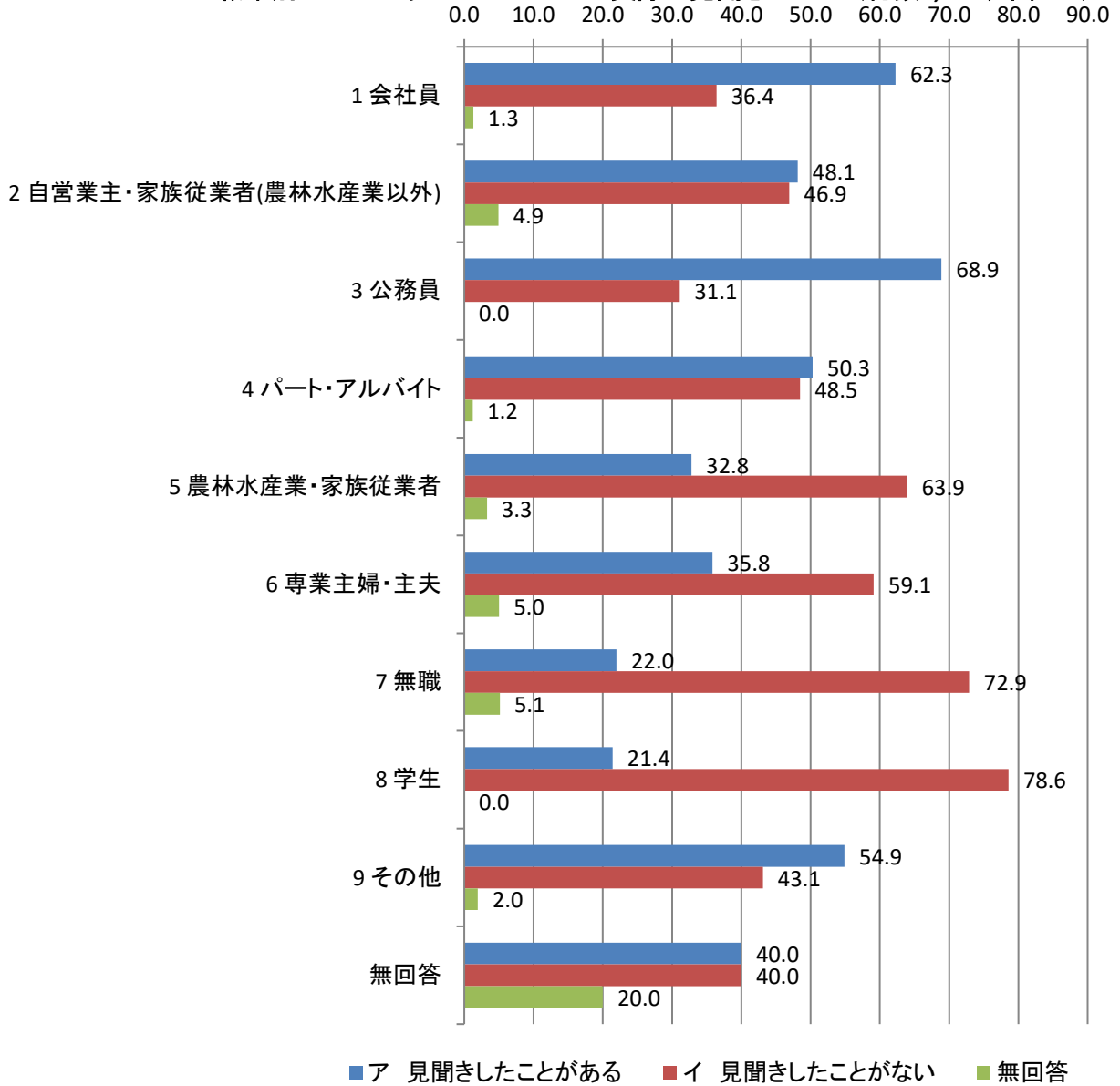


年代別パワーハラスメントについて実際に見聞きしたこと(総数1,185、単位%)



「パワーハラスメント」については、いわゆる現役世代である20歳代から50歳代で半数以上が「見聞きしたことがある」と回答し、60歳代でも半数近くが同様の回答です。職業別では、母数が少ない「その他」を除き、会社員、公務員、パート・アルバイトで5割を超え、セクシャルハラスメントと同様の傾向が窺えます。

職業別パワーハラスメントについて実際に見聞きしたこと(総数1,185、単位%)



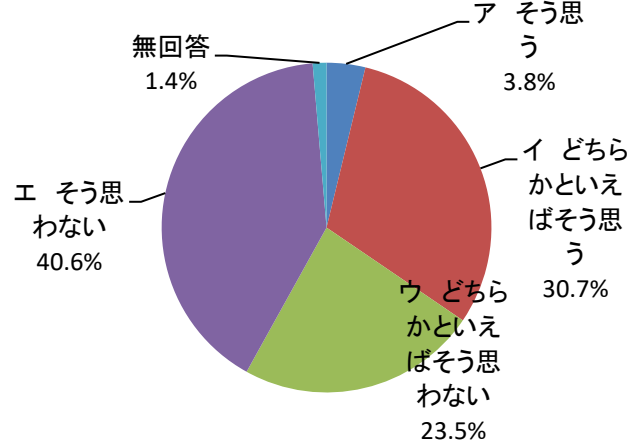
### 3 地域での慣行や意識について

問 6 以下のことについてあなたはどのように思いますか。あなたの気持ちに最も近いものを、それぞれ1つ選んでください。

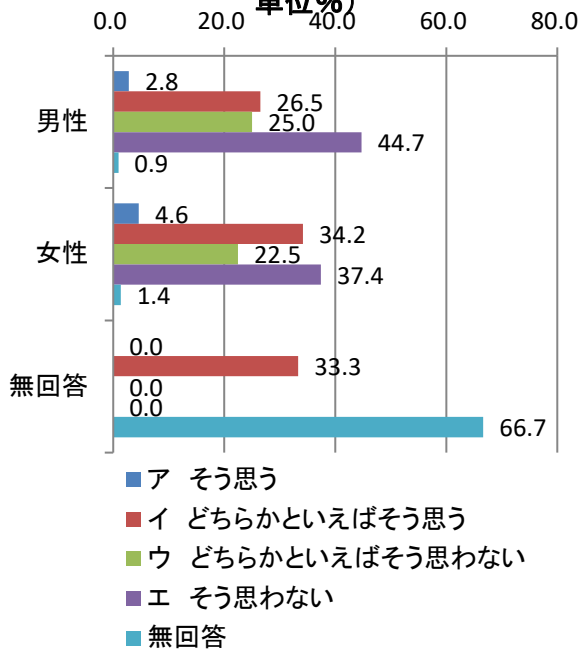
問 6-1 地域や家庭の行事や酒席で女性は裏方(台所)を引き受けるのが当然だ

|                      | 人数    | 割合(%)      |
|----------------------|-------|------------|
| ア そう思う               | 45    | 3.8(3.4)   |
| イ どちらかといえば<br>そう思う   | 364   | 30.7(34.0) |
| ウ どちらかといえば<br>そう思わない | 279   | 23.5(24.1) |
| エ そう思わない             | 481   | 40.6(36.2) |
| 無回答                  | 16    | 1.4(2.2)   |
| 計                    | 1,185 | 100.0      |

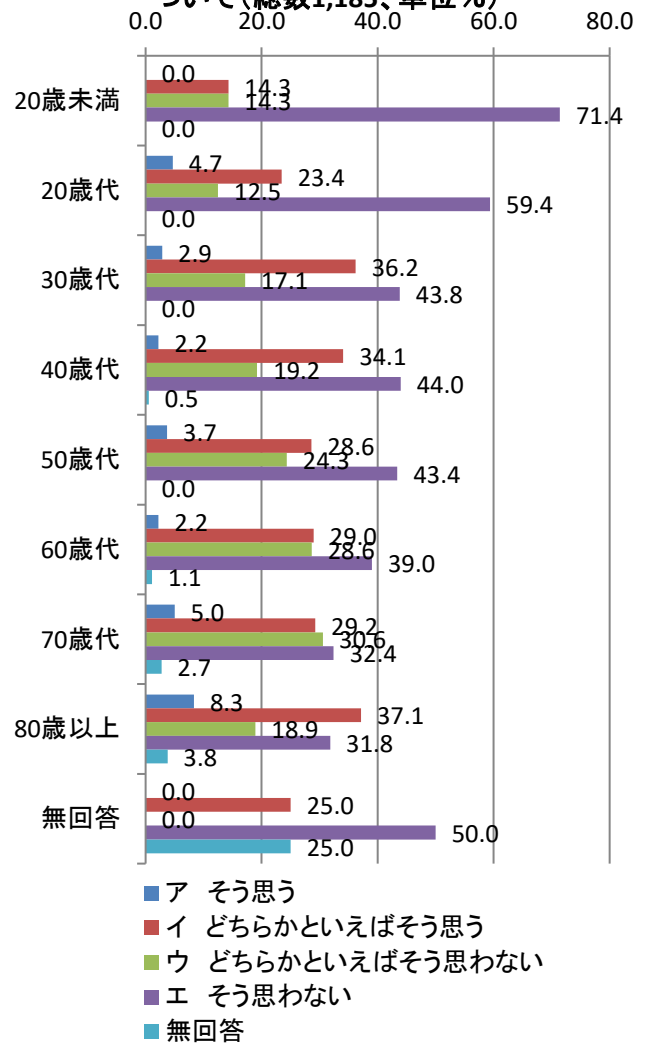
女性が裏方を引き受けることについて  
(総数1,185、単位%)



男女別女性が裏方を引き受けることについて(男性532、女性650、無回答3、単位%)



年代別女性が裏方を引き受けることについて(総数1,185、単位%)

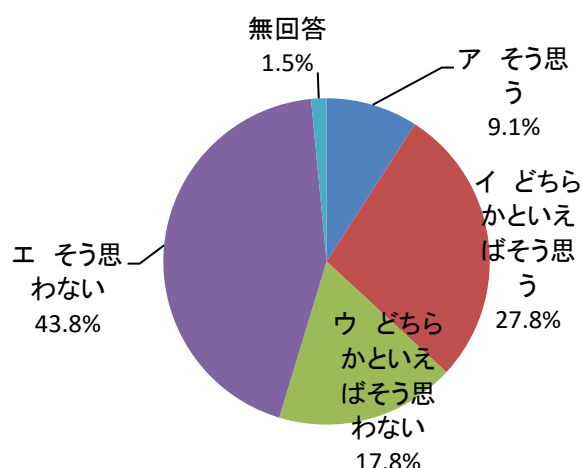


「女性が裏方を引き受けることについて」男女別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が男性 29.3%、女性 38.8%と前回同様に女性の方が積極的ではないにしろ「裏方を引き受ける」意識が残っています。年代別では、若い世代ほど「そう思わない」の比率が高くなっています。

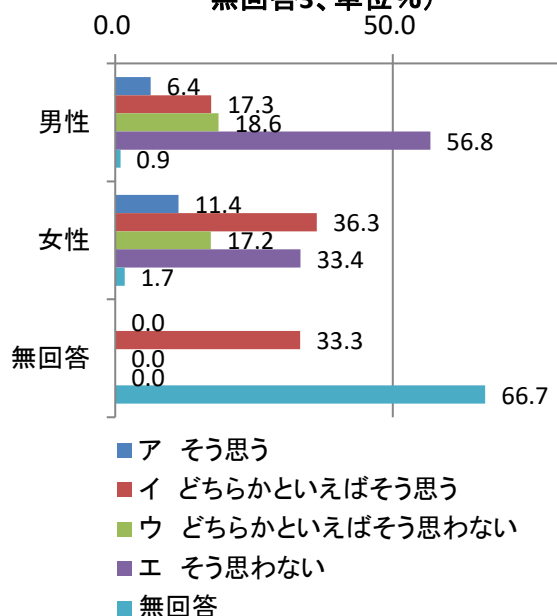
問6-2 自治会など団体の代表者は、男性がなったほうがよい

|                      | 人数    | 割合(%)      |
|----------------------|-------|------------|
| ア そう思う               | 108   | 9.1(10.9)  |
| イ どちらかといえば<br>そう思う   | 329   | 27.8(28.5) |
| ウ どちらかといえば<br>そう思わない | 211   | 17.8(19.2) |
| エ そう思わない             | 519   | 43.8(39.3) |
| 無回答                  | 18    | 1.5(2.2)   |
| 計                    | 1,185 | 100.0      |

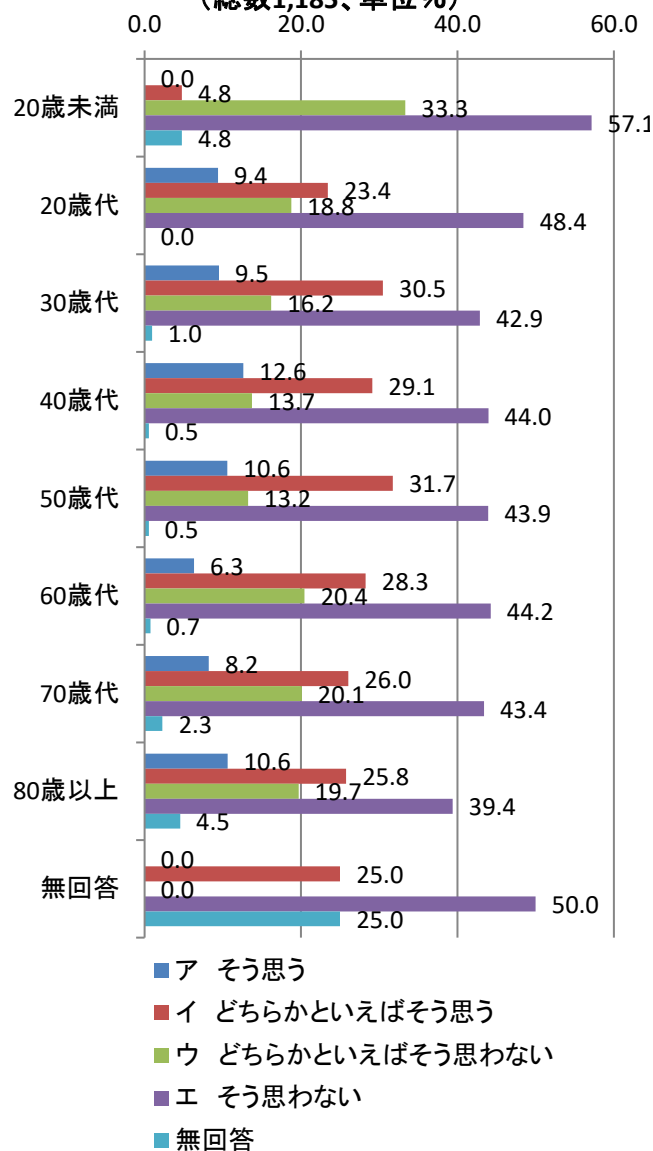
自治会など団体の代表者は、男性という  
考え方(総数1,185、単位%)



男女別自治会など団体の代表者は、  
男性という考え方(男性532、女性650、  
無回答3、単位%)



年代別自治会など団体の代表者は、  
男性という考え方  
(総数1,185、単位%)

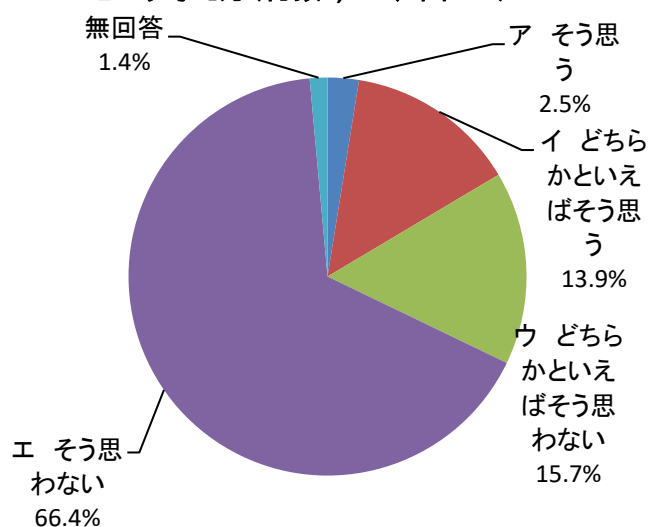


「自治会などの代表者は男性」という考え方について、前回調査同様、約6割が否定的な意見ですが、男女別では、肯定的意見が男性 23.7% に対し、女性 47.7%と、意識に大きく開きがあることがわかります。  
年代別では、母数の少ない20歳未満、年代無回答を除き、意識の差は余りない状況となっています。

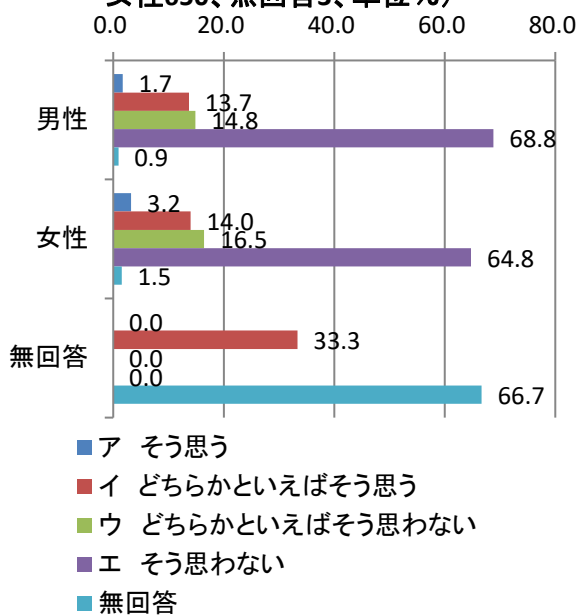
問 6-3 子どものしつけや教育は母親の責任である

|                      | 人数    | 割合(%)      |
|----------------------|-------|------------|
| ア そう思う               | 30    | 2.5(5.1)   |
| イ どちらかといえば<br>そう思う   | 165   | 13.9(12.9) |
| ウ どちらかといえ<br>ばそう思わない | 186   | 15.7(16.2) |
| エ そう思わない             | 787   | 66.4(63.1) |
| 無回答                  | 17    | 1.4(2.7)   |
| 計                    | 1,185 | 100.0      |

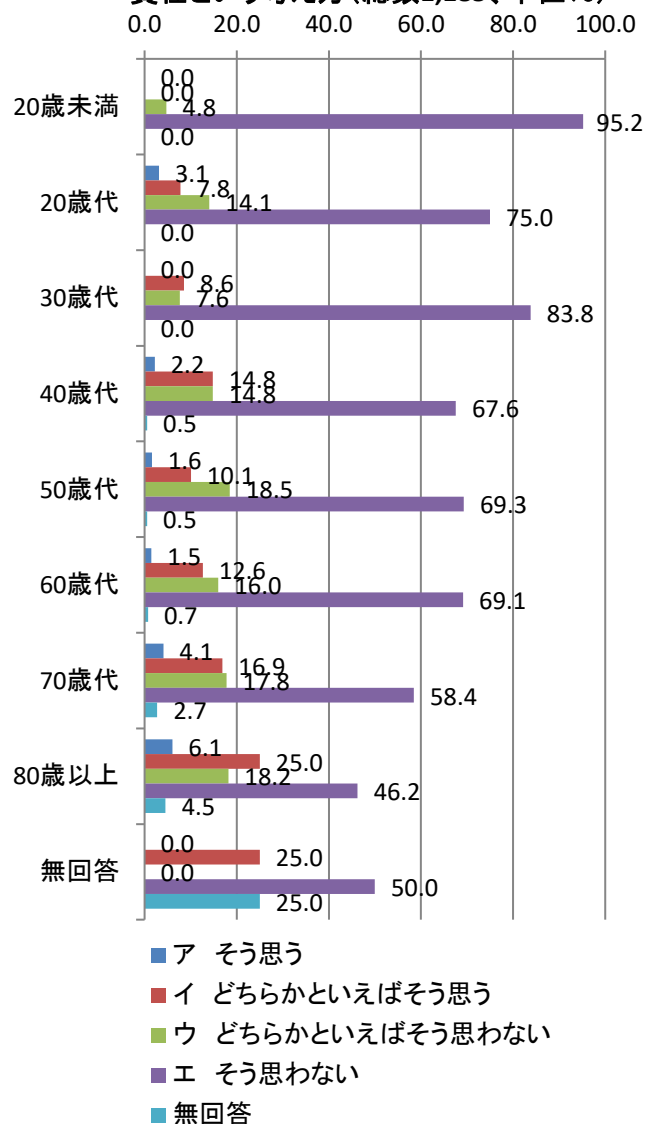
子どものしつけや教育は母親の責任  
という考え方(総数1,185、単位%)



男女別子どものしつけや教育は母親  
の責任という考え方(男性532、  
女性650、無回答3、単位%)



年代別子どものしつけや教育は母親の  
責任という考え方(総数1,185、単位%)



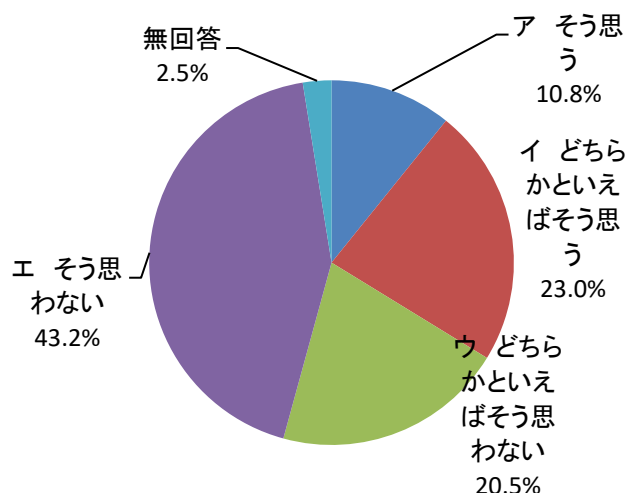
「子どものしつけや教育は母親の責任である」ということについて、否定的回答は8割を超えています。

男女別でも同様ですが、年代別では肯定的回答が30歳代以下では1割程度以下に対し70歳代で2割を超え、80歳以上では3割を超えるなど、高齢者に肯定的意見が多くなる傾向です。

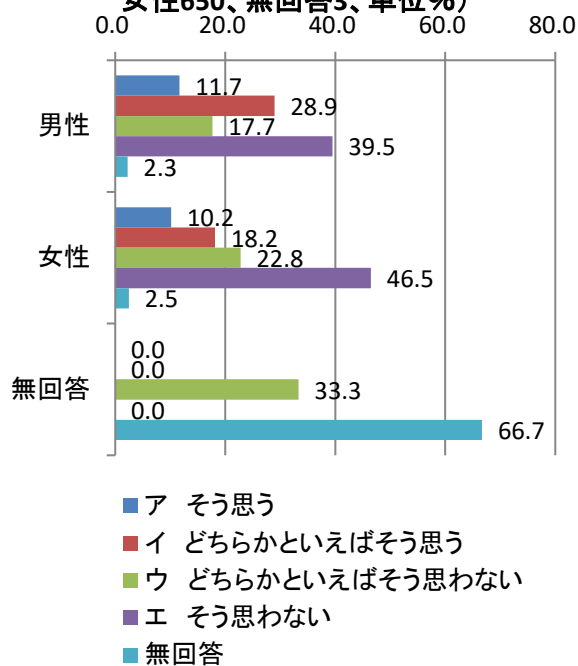
問 6-4 夫(妻)の収入が多く経済的に豊かであるならば、妻(夫)は専業主婦(夫)がよい

|                      | 人数    | 割合(%)      |
|----------------------|-------|------------|
| ア そう思う               | 128   | 10.8(11.4) |
| イ どちらかといえば<br>そう思う   | 272   | 23.0(21.9) |
| ウ どちらかといえ<br>ばそう思わない | 243   | 20.5(20.1) |
| エ そう思わない             | 512   | 43.2(43.4) |
| 無回答                  | 30    | 2.5(2.1)   |
| 計                    | 1,185 | 100.0      |

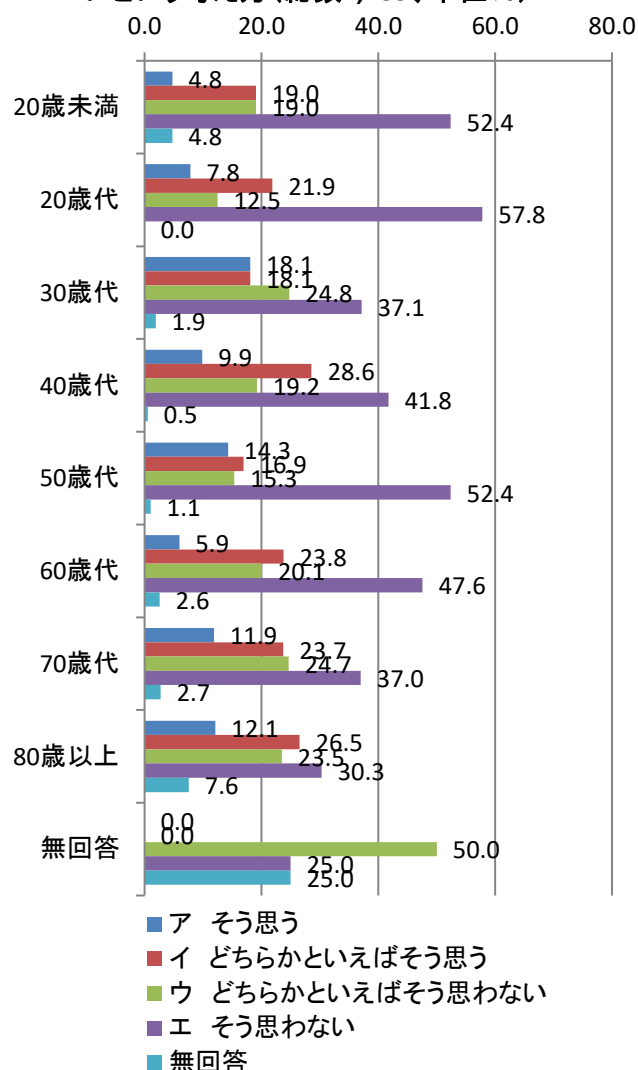
夫(妻)の収入が多く経済的に豊かであるならば、妻(夫)は専業主婦(夫)がよいという考え方(総数1,185、単位%)



男女別夫(妻)の収入が多く経済的に豊かであるならば、妻(夫)は専業主婦(夫)がよいという考え方(男性532、女性650、無回答3、単位%)



年齢別夫(妻)の収入が多く経済的に豊かであるならば、妻(夫)は専業主婦(夫)がよいという考え方(総数1,185、単位%)



「夫(妻)の収入が多く、経済的に豊かであるならば妻(夫)は専業主婦(夫)がよい」という考え方については、全体では前回調査とほぼ同じ結果です。

年代別では前回肯定的回答が否定的回答を上回った80歳以上においても、今回調査では否定的回答が半数以上となっています。

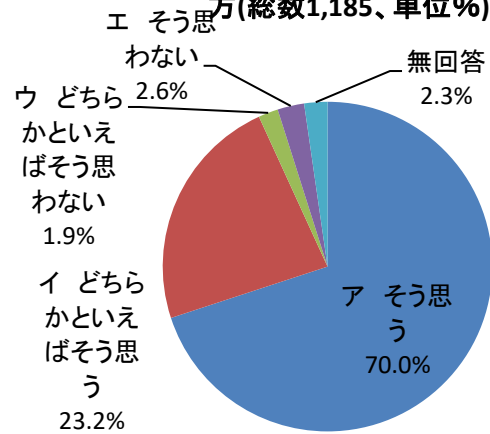




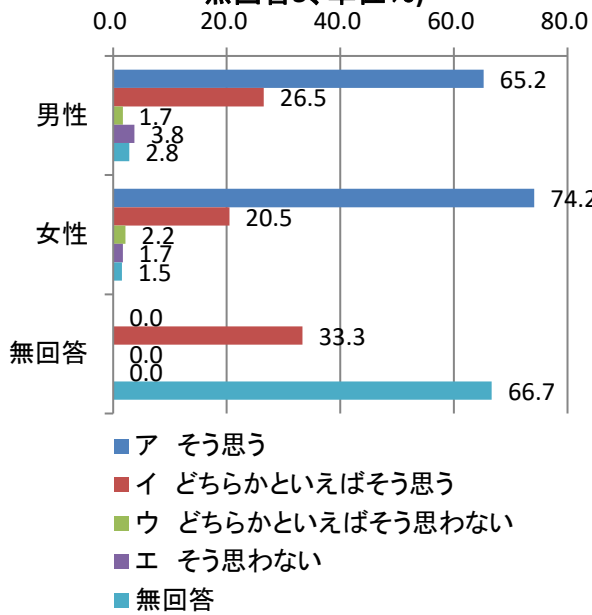
問 6-5 共働きの場合は、男性と女性が協力し合って家事・育児を行うべきだ

|                      | 人数    | 割合(%)      |
|----------------------|-------|------------|
| ア そう思う               | 829   | 70.0(71.4) |
| イ どちらかといえ<br>ばそう思う   | 275   | 23.2(23.5) |
| ウ どちらかといえ<br>ばそう思わない | 23    | 1.9(1.7)   |
| エ そう思わない             | 31    | 2.6(1.9)   |
| 無回答                  | 27    | 2.3(1.4)   |
| 計                    | 1,185 | 100.0      |

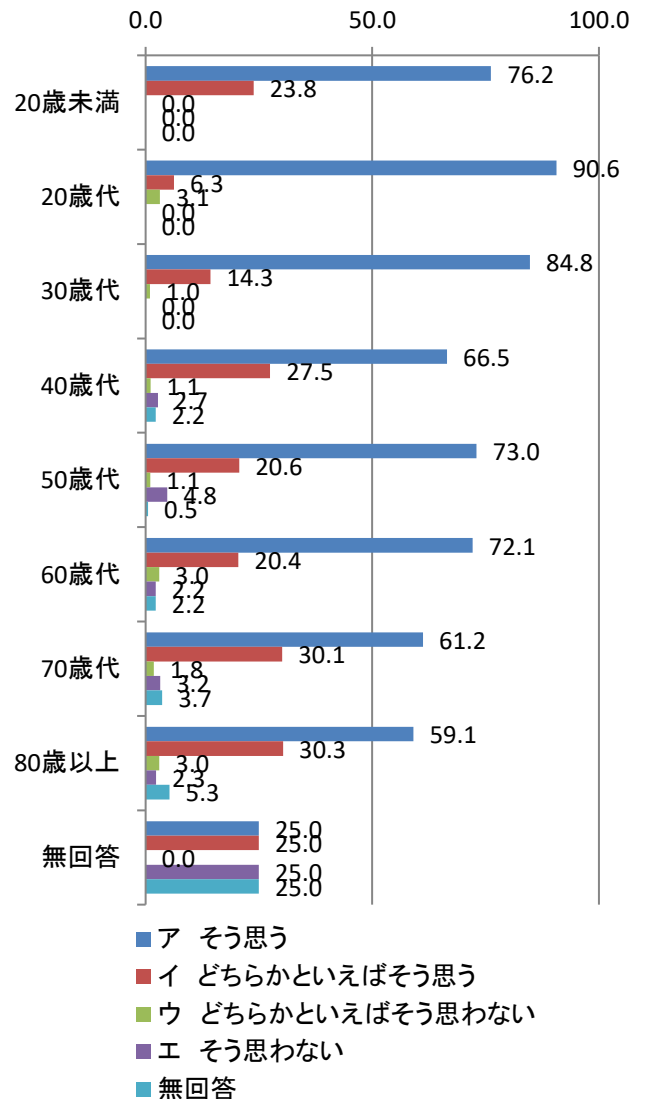
共働きの場合は、男性と女性が協力し合って家事・育児を行うべきだという考え方(総数1,185、単位%)



男女別共働きの場合は、男性と女性が協力し合って家事・育児を行うべきだという考え方(男性532、女性650、無回答3、単位%)



年齢別共働きの場合は、男性と女性が協力し合って家事・育児を行うべきだという考え方(総数1,185、単位%)



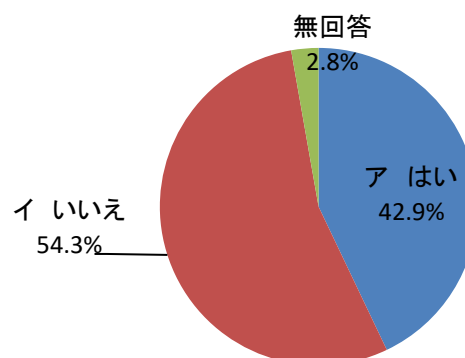
「共働きの場合は、男性と女性が協力し合って家事・育児を行うべきだ」については、全体では前回調査とほぼ同じ結果です。男女別では、「そう思う」で、女性が男性を9%上回り、やや意識の弱い「どちらかというと思う」は、男性が女性を6%上回っており、女性の肯定意向が男性より強く表れています。年代別では、前回同様 20 歳未満で 100%が肯定的回答となっています。



問 6-6 女性のみ回答 あなたが自治会や地域の役員・役職を頼まれたら受けますか

|       | 人数  | 割合(%) |
|-------|-----|-------|
| ア はい  | 279 | 42.9  |
| イ いいえ | 353 | 54.3  |
| 無回答   | 18  | 2.8   |
| 計     | 650 | 100.0 |

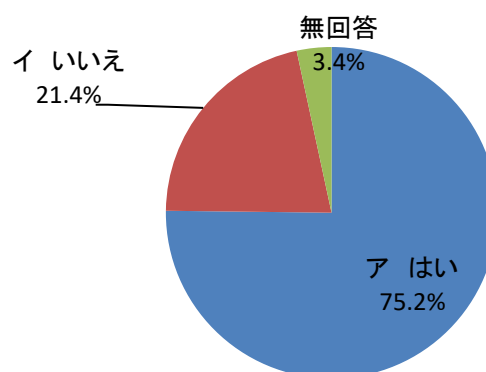
(女性のみ)あなたが自治会や地域の役員・役職を頼まれたら受けますか  
(総数650、単位%)



問 6-7 男性のみ回答 あなたの家族(女性)が自治会や地域の役員・役職を頼まれたら、受けるべきだ

|       | 人数  | 割合(%) |
|-------|-----|-------|
| ア はい  | 400 | 75.2  |
| イ いいえ | 114 | 21.4  |
| 無回答   | 18  | 3.4   |
| 計     | 532 | 100.0 |

(男性のみ)あなたの家族(女性)が自治会や地域の役員・役職を頼まれたら、受けるべきだ(総数532、単位%)



「女性が自治会や地域の役員を頼まれた場合の受任意向」について、受任は 4 割強に留まっています。

一方、男性の「家族(女性)が地域の役員をたのまれたら、受けるべきだ」は 7 割 5 分を超えており、意識の違いが表れています。

女性の「受けない理由」として、「力不足」、「高齢、健康」、「家事、育児、介護、仕事等との両立の困難さ」等が挙げられています。

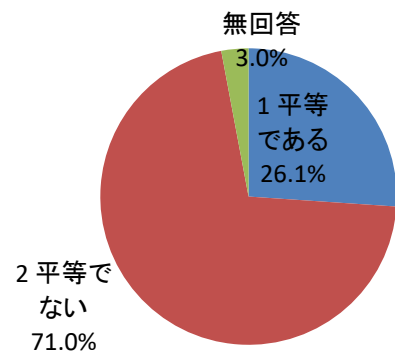
男性の「家族(女性)が受けるべきでない理由」は、「家事、介護への影響」、「仕事」、「自治会が有意義と思えない」等のほか、「本人の判断による」も挙げられています。

## 4 男女平等感等について

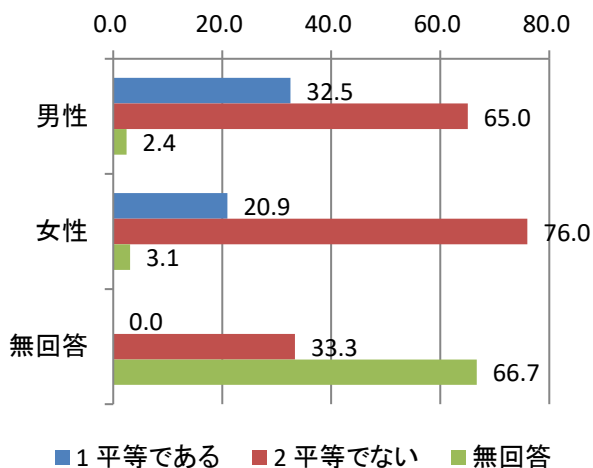
問7 社会活動全般において男女平等な社会であると思いますか。

|         | 人数    | 割合(%)      |
|---------|-------|------------|
| 1 平等である | 309   | 26.1(24.3) |
| 2 平等でない | 841   | 71.0(74.4) |
| 無回答     | 35    | 3.0(1.3)   |
| 計       | 1,185 | 100.0      |

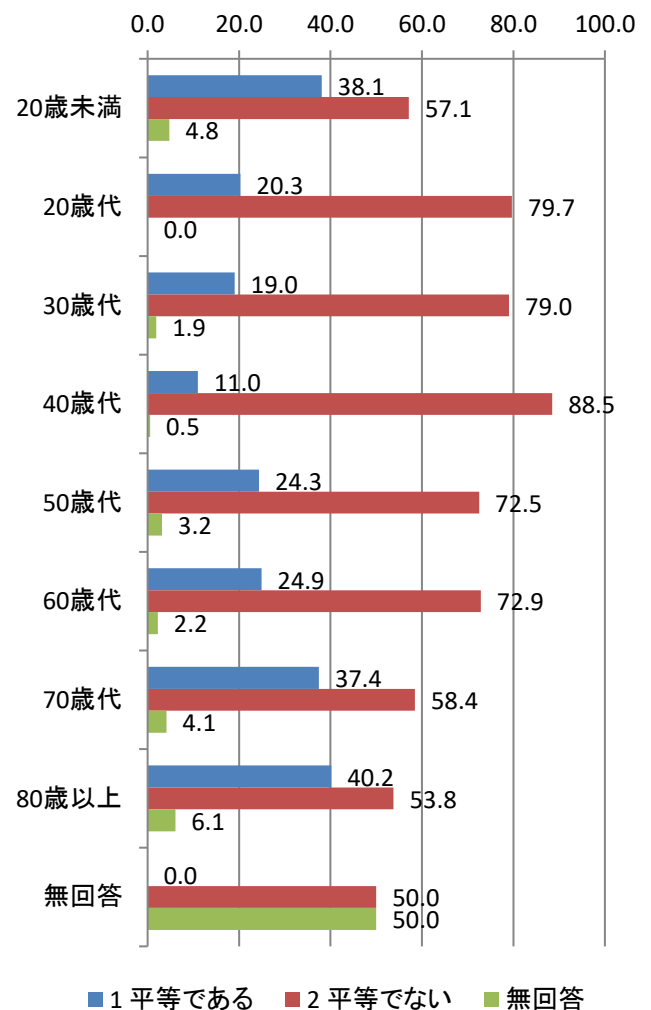
社会活動全般において男女平等な社会であると思いますか(総数1,185、単位%)



男女別社会活動全般において男女平等な社会であると思いますか(男性532、女性650、無回答3、単位%)



年代別社会活動全般において男女平等な社会であると思いますか(総数1,185、単位%)



設問の表現が、前回調査の「現在、世の中は男女平等な社会であると思いますか」と少し異なっていますが、比較のため、前回結果を括弧書きで表中に入れてあります。

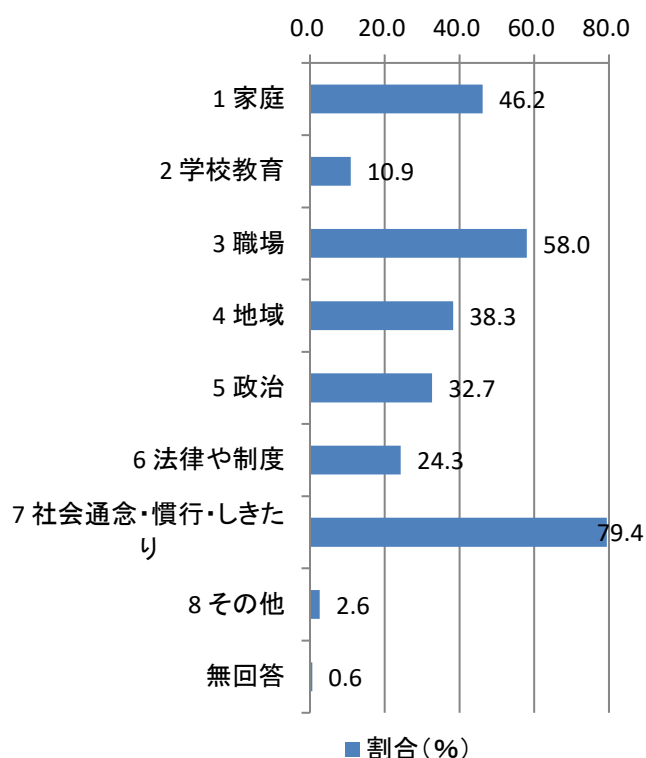
男女別では女性の方が「平等でない」と感じている割合が多く、前回と同様です。

年代別では、「平等である」と感じているのは40歳代が11%で最も少なく、20歳未満、70歳代以上が約40%と比較的多い状況で、就労や子育て世代に不平等意識が目立っています。

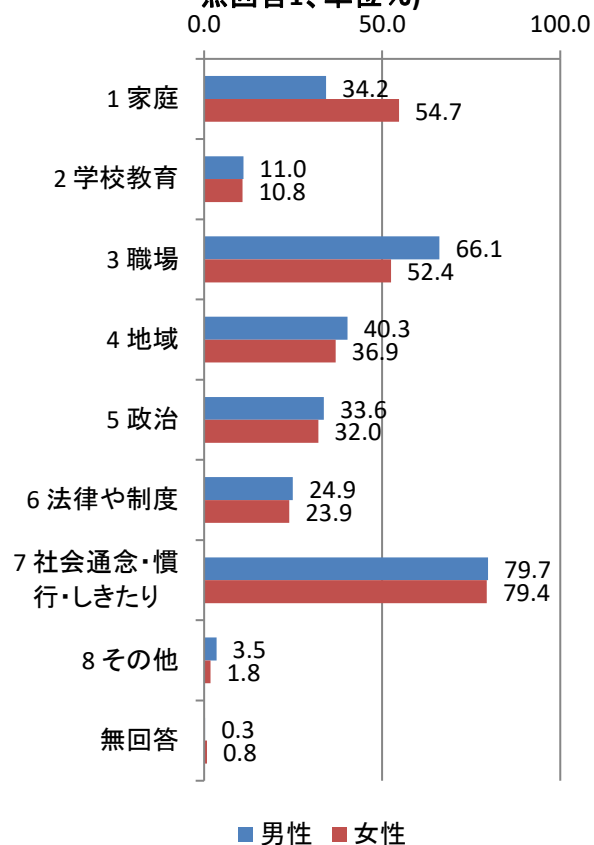
問 7-1 平等ではないと思う分野(複数回答:  
いくつでも)

|                | 回答数 | 割合<br>(%) |
|----------------|-----|-----------|
| 1 家庭           | 386 | 46.2      |
| 2 学校教育         | 91  | 10.9      |
| 3 職場           | 485 | 58.0      |
| 4 地域           | 320 | 38.3      |
| 5 政治           | 273 | 32.7      |
| 6 法律や制度        | 203 | 24.3      |
| 7 社会通念・慣行・しきたり | 664 | 79.4      |
| 8 その他          | 22  | 2.6       |
| 無回答            | 5   | 0.6       |
| 回答者数           | 836 |           |

平等ではないと思う分野  
(複数回答、回答者数836、単位%)



男女別平等ではないと思う分野(複数  
回答、男性345、女性490、  
無回答1、単位%)

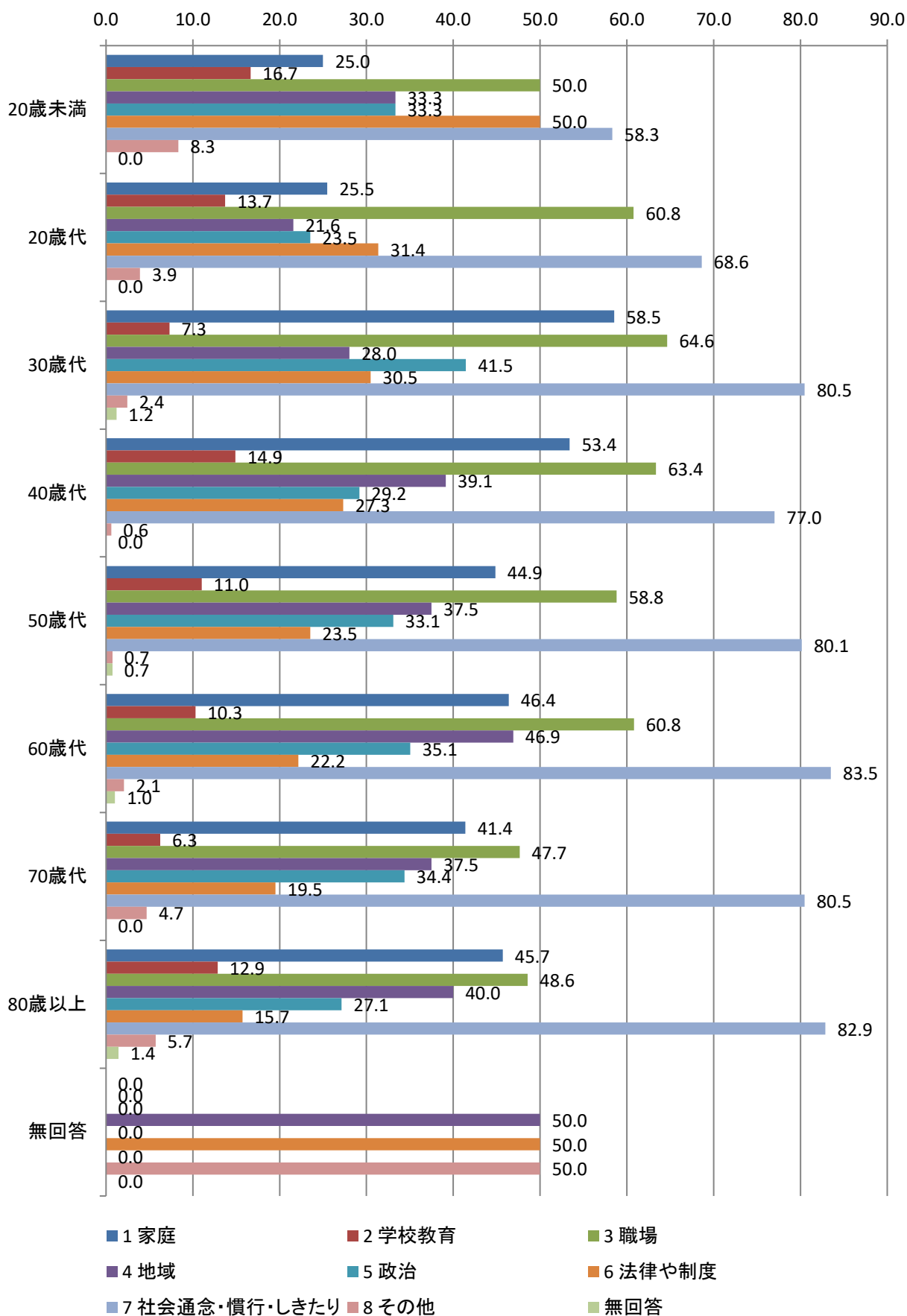


「平等ではないと思う分野」については、「社会通念・慣行・しきたり」が圧倒的に多く、次いで「職場」、「家庭」の順になっています。男女別では、「社会通念」を除き、平等でない割合が高いものは男性が職場、女性は家庭と回答しています。

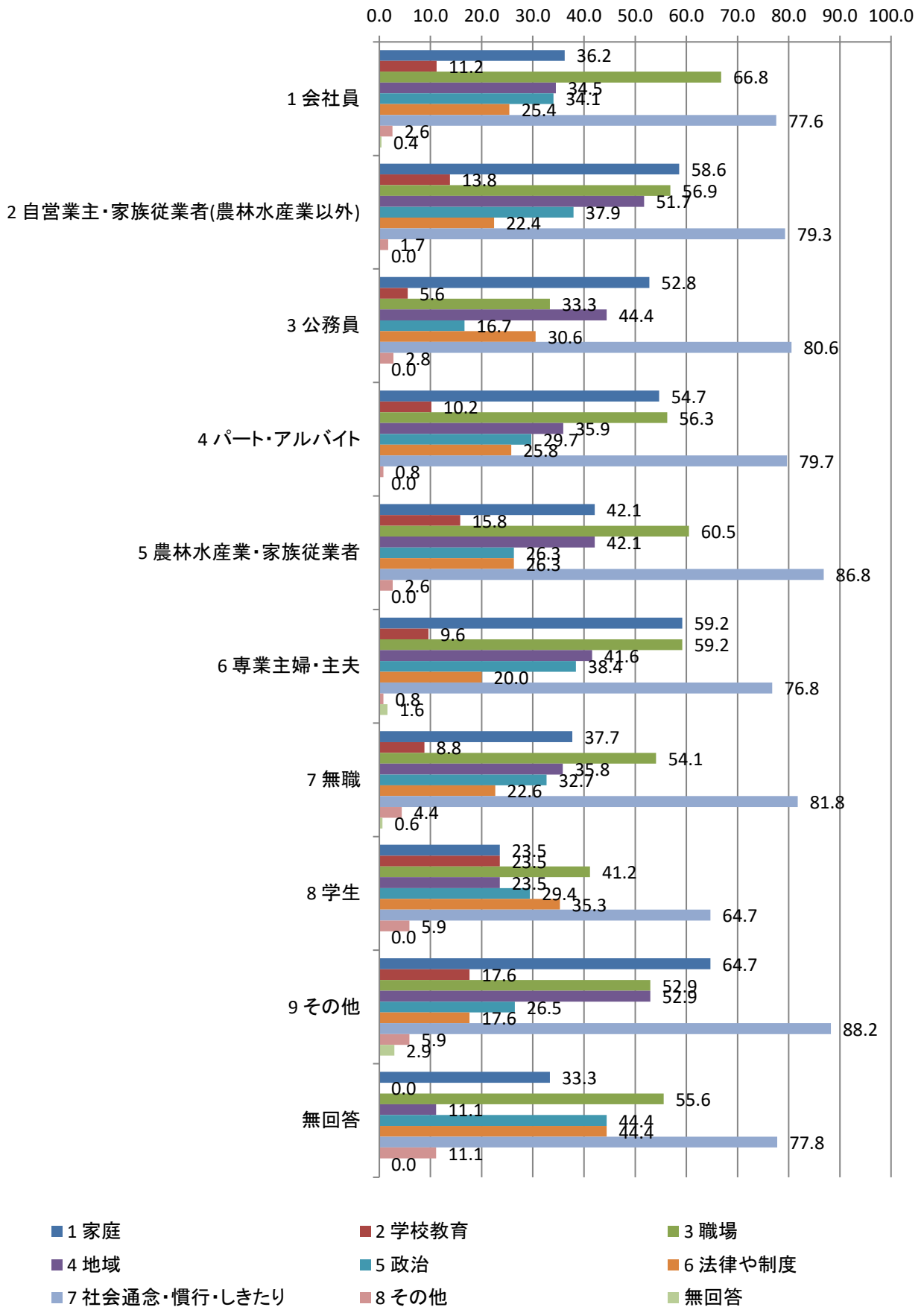
年代別では、どの年代においても「社会通念」、「職場」の順に不平等を感じる割合が高くなっています。

P32、33のグラフで、社会通念を除いて分野別に見ると、家庭に対して平等でないと感じている割合が最も高い職業は専業主婦(夫)(母数が少ない職業「その他」を除く)、学校教育に対して平等でないと感じている割合が最も高いのは学生、職場に対しては会社員、地域に対しては自営業主・家族従業者、政治に対しては専業主婦(夫)、法律や制度に対しては学生と、夫々の職業に関連が深い分野に、不平等を感じている様子が見てとれます。

年代別平等ではないと思う分野(複数回答、回答者数836、単位%)

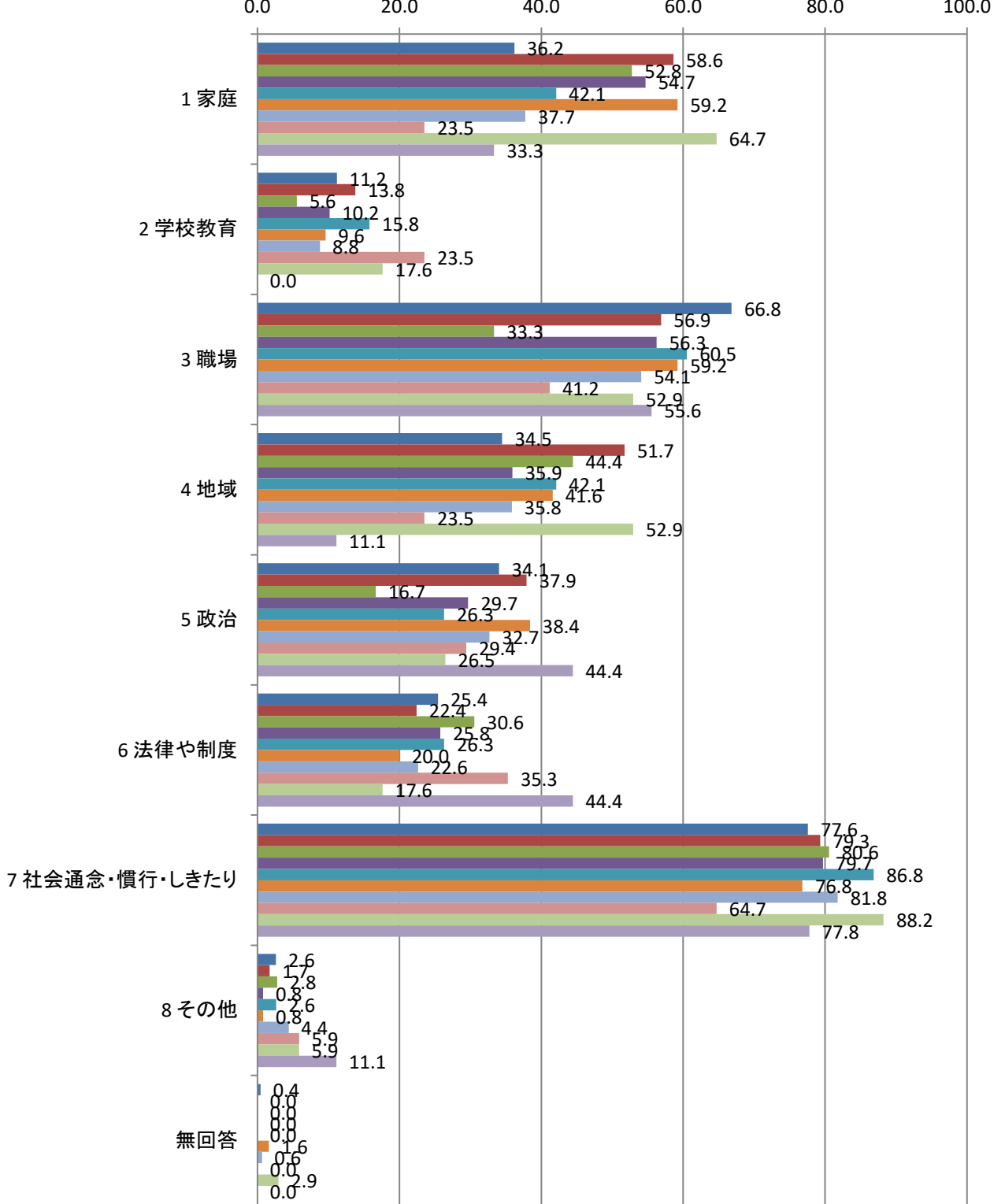


職業別平等ではないと思う分野(複数回答、回答者数836、単位%)





職業別平等ではないと思う分野(複数回答、回答者数836、単位%)

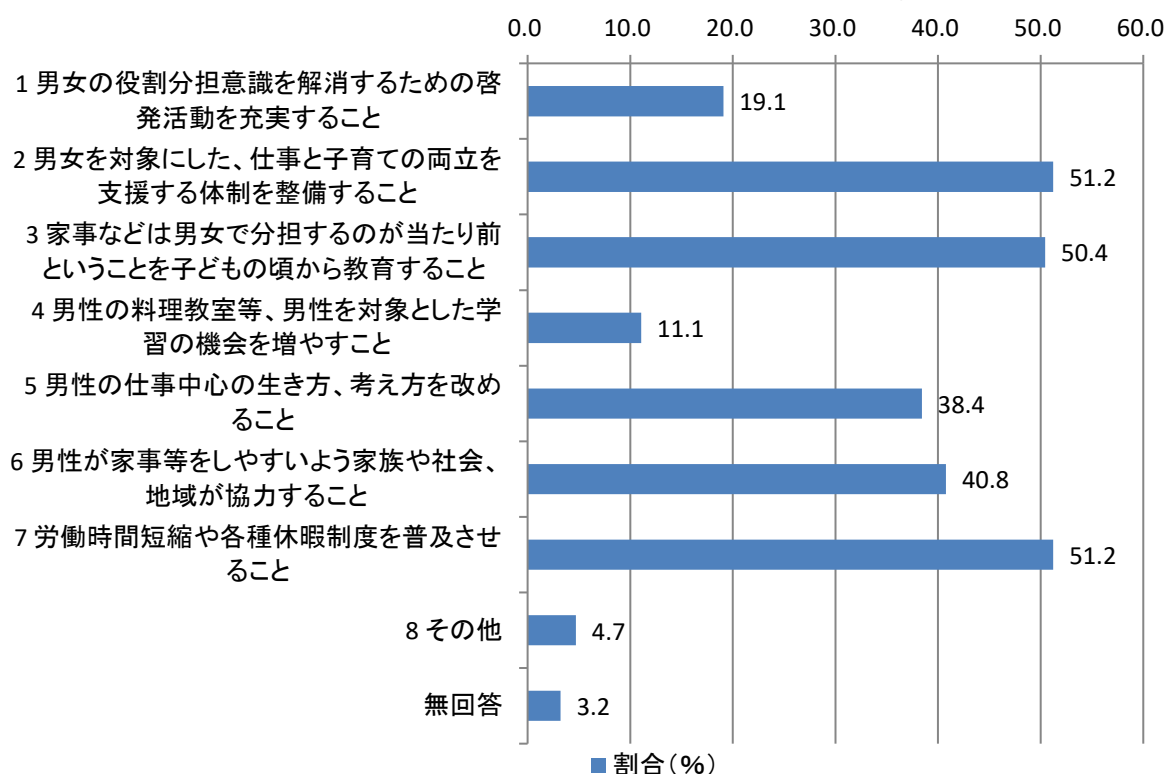


- 1 会社員
- 2 自営業主・家族従業者(農林水産業以外)
- 3 公務員
- 4 パート・アルバイト
- 5 農林水産業・家族従業者
- 6 専業主婦・主夫
- 7 無職
- 8 学生
- 9 その他
- 無回答

問8 男性の家事・育児・介護への関わりが、まだ少ないといわれていますが、進めていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答:3つまで 4つ以上回答 23名)

|   | 回答数   | 割合(%)      |
|---|-------|------------|
| 1 男女の役割分担意識を解消するための啓発活動を充実すること          | 219   | 19.1(21.8) |
| 2 男女を対象にした、仕事と子育ての両立を支援する体制を整備すること      | 588   | 51.2(52.7) |
| 3 家事などは男女で分担するのが当たり前ということを子どもの頃から教育すること | 579   | 50.4(53.3) |
| 4 男性の料理教室等、男性を対象とした学習の機会を増やすこと          | 127   | 11.1(14.8) |
| 5 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること                 | 441   | 38.4(29.3) |
| 6 男性が家事等をしやすいよう家族や社会、地域が協力すること          | 468   | 40.8(44.1) |
| 7 労働時間短縮や各種休暇制度を普及させること                 | 588   | 51.2(40.2) |
| 8 その他                                   | 54    | 4.7(2.7)   |
| 無回答                                     | 37    | 3.2(2.9)   |
| 回答者数                                    | 1,148 |            |

男性の家事・育児・介護への関わりを進めていくために必要なこと  
(複数回答:3つまで、回答者数1,148、単位%)



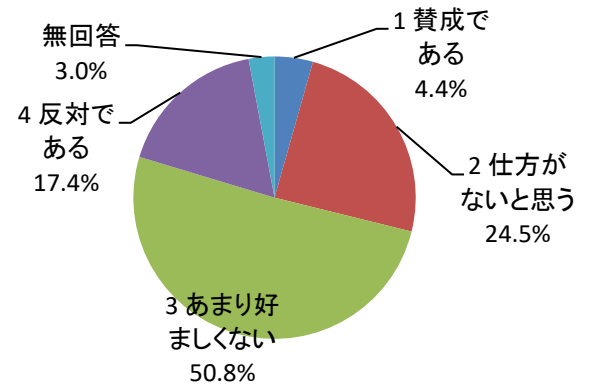
「男性の家事・育児・介護への関わりを進めていくために必要なこと」として、「仕事と子育ての両立支援体制の整備」、「労働時間短縮や各種休暇制度の普及」が最も多い結果となりました。「子どもの頃から教育すること」も前回同様多いですが、とりわけ「労働時間短縮や各種休暇制度の普及」は前回から10%以上の増加となり、ワーク・ライフ・バランスや、働き方に対する意識が向上していると考えられます。

## 5 男女の役割の固定意識や通念について

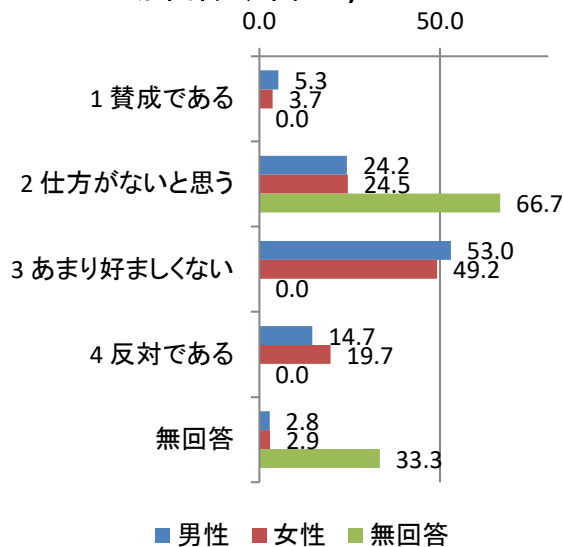
問9 「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。1つ選んでください。

|             | 人数    | 割合(%)      |
|-------------|-------|------------|
| 1 賛成である     | 52    | 4.4(6.0)   |
| 2 仕方がないと思う  | 290   | 24.5(36.2) |
| 3 あまり好ましくない | 602   | 50.8(42.2) |
| 4 反対である     | 206   | 17.4(14.6) |
| 無回答         | 35    | 3.0(1.1)   |
| 計           | 1,185 | 100.0      |

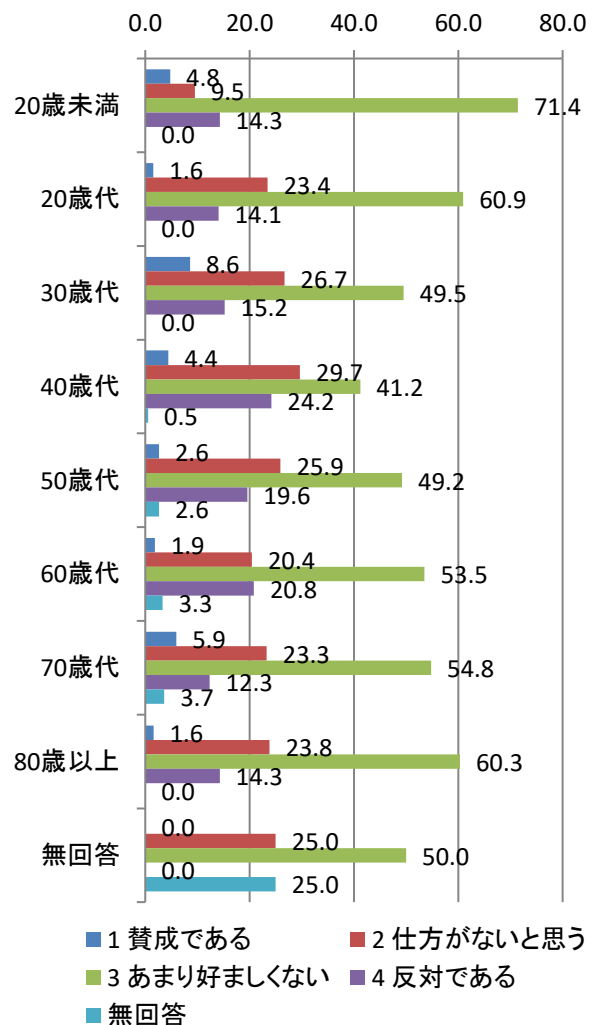
「男は仕事、女は家庭」という性別によって  
役割を固定する考え方について  
(総数1,185、単位%)



男女別「男は仕事、女は家庭」という  
性別によって役割を固定する考え方  
について(男性532、女性650、  
無回答3、単位%)



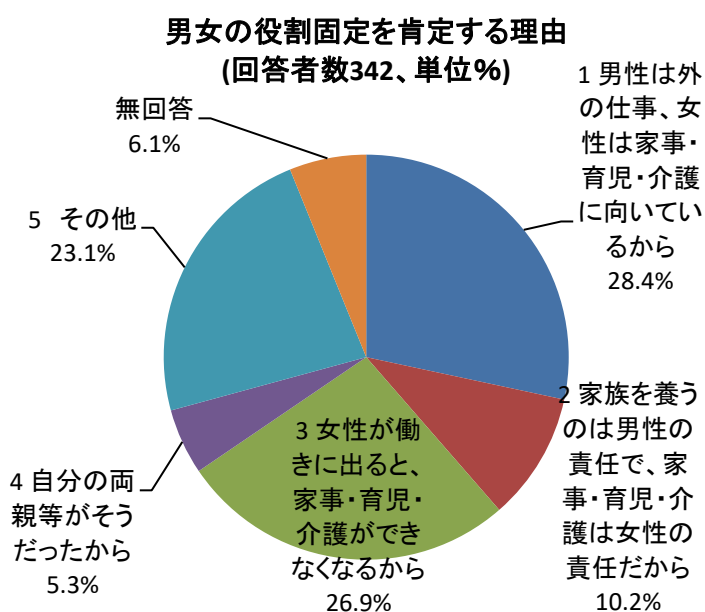
年代別「男は仕事、女は家庭」という  
性別によって役割を固定する考え方  
について(総数1,185、単位%)



「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定する考え方について、前回調査より「あまり好ましくない」、「反対である」の合計が10%以上の増加となりました。男女別の大きな差異はなく、年齢別では、20歳未満、年齢無回答を除き、「あまり好ましくない」、「反対である」の回答が65%から75%程度と、大きな変動はありません。

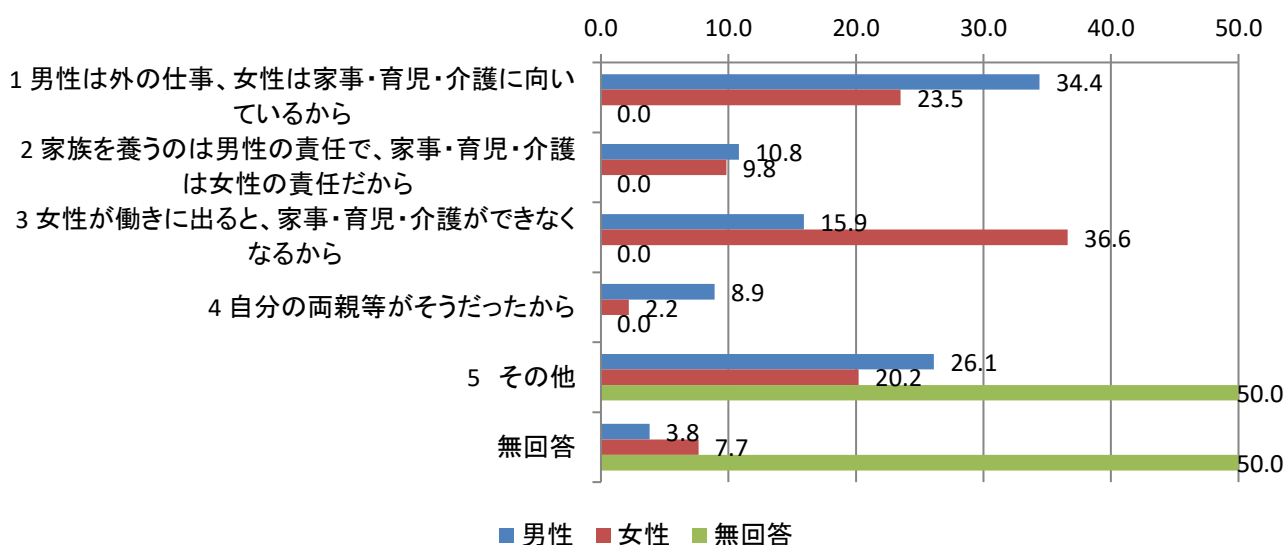
問9-1 問9で「1賛成である」「2仕方がないと思う」と回答した方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。1つ選んでください。

|                                   | 人数  | 割合(%)      |
|-----------------------------------|-----|------------|
| 1 男性は外の仕事、女性は家事・育児・介護に向いているから     | 97  | 28.4(38.6) |
| 2 家族を養うのは男性の責任で、家事・育児・介護は女性の責任だから | 35  | 10.2(17.0) |
| 3 女性が働きに出ると、家事・育児・介護ができなくなるから     | 92  | 26.9(28.1) |
| 4 自分の両親等がそうだったから                  | 18  | 5.3(4.6)   |
| 5 その他                             | 79  | 23.1(9.9)  |
| 無回答                               | 21  | 6.1(1.9)   |
| 計                                 | 342 | 100.0      |



「男女の役割を固定的に考える理由」として最も多いのは、「男性は外の仕事、女性は家事・育児・介護に向いているから」という回答です。男女別では、男性が「男性は外の仕事…」、女性が「女性が働き出ると家事・育児・介護ができなくなる」が多く、問9にある「男は仕事、女は家庭」の意識が表れています。その他では、「社会、会社の仕組み」、「女性の収入が低い」、「育児には母親が必要」、「それぞれの家庭で判断すべき」等の回答がありました。

**男女別男女の役割固定を肯定する理由(男性157、女性182、無回答2、単位:%)**

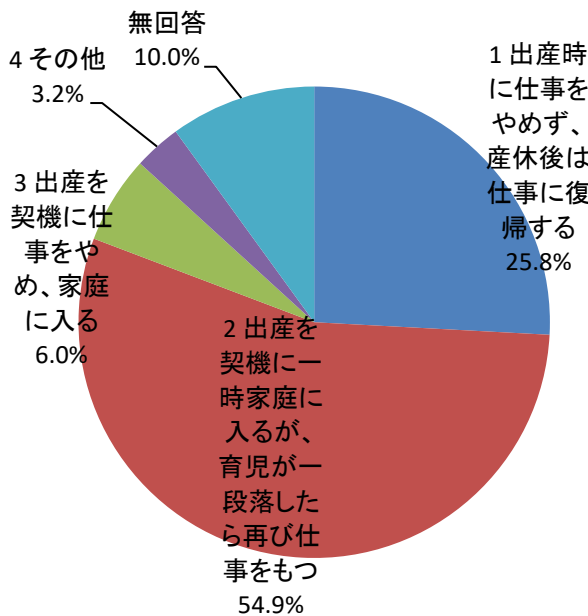


## 6 仕事や役職について

問 10 女性の方にお聞きします。これから出産するとしたら、あなたなら仕事をどうしたいですか。1つ選んでください。

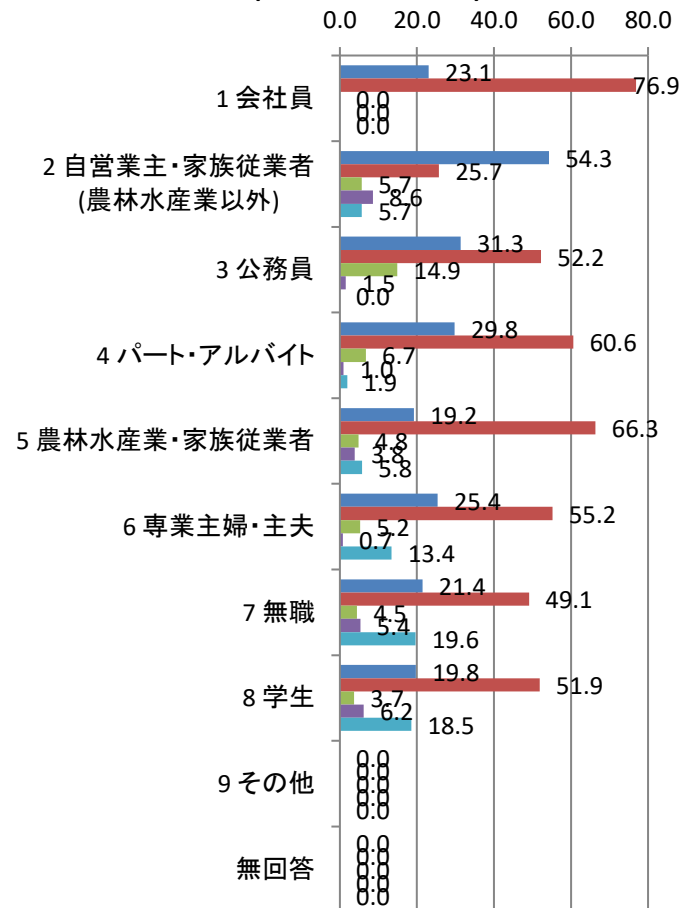
|                                   | 人数  | 割合(%)      |
|-----------------------------------|-----|------------|
| 1 出産時に仕事をやめず、産休後は仕事に復帰する          | 168 | 25.8(32.3) |
| 2 出産を契機に一時家庭に入るが、育児が一段落したら再び仕事をもつ | 357 | 54.9(59.2) |
| 3 出産を契機に仕事をやめ、家庭に入る               | 39  | 6.0(2.8)   |
| 4 その他                             | 21  | 3.2(4.9)   |
| 無回答                               | 65  | 10.0(0.8)  |
| 計                                 | 650 | 100.0      |

(女性のみ回答)これから出産するとしたら、あなたなら仕事をどうしたいですか。(総数650、単位%)



女性の「出産」に際しては、4分の1が産休後の仕事復帰を希望し、半数以上が「出産を契機に一時家庭に入るが、育児が一段落したら再び仕事を持つ」ことを希望しており、合計すると前回調査同様、8割以上となります。職業別では、会社員の全数が再び仕事することを望んでおり、自営業主・家族従事者では「出産時に仕事をやめず、産休後は仕事に復帰する」が半数を超えています。その他では、「職種、職場による」という回答が、記述のあった18件中6件ありました。

(女性のみ回答)職業別これから出産するとしたら、あなたなら仕事をどうしたいですか。(総数650、単位%)

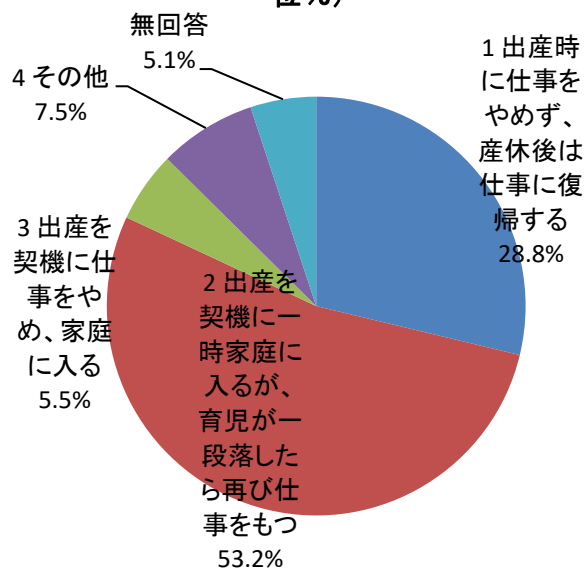


- 1 出産時に仕事をやめず、産休後は仕事に復帰する
- 2 出産を契機に一時家庭に入るが、育児が一段落したら再び仕事をもつ
- 3 出産を契機に仕事をやめ、家庭に入る
- 4 その他
- 無回答

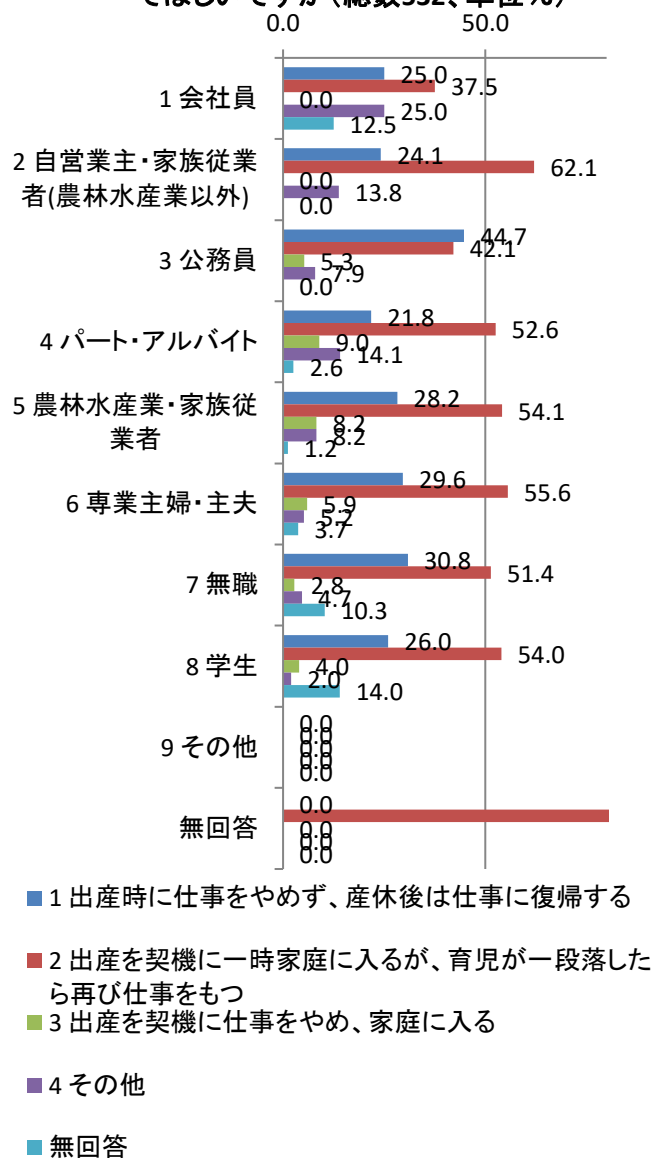
問 11 男性の方にお聞きします。あなたの家族がこれから出産するとしたら、それまでの仕事をどうしてほしいですか。1つ選んでください。

|                                   | 人数  | 割合(%) |
|-----------------------------------|-----|-------|
| 1 出産時に仕事をやめず、産休後は仕事に復帰する          | 153 | 28.8  |
| 2 出産を契機に一時家庭に入るが、育児が一段落したら再び仕事をもつ | 283 | 53.2  |
| 3 出産を契機に仕事をやめ、家庭に入る               | 29  | 5.5   |
| 4 その他                             | 40  | 7.5   |
| 無回答                               | 27  | 5.1   |
| 計                                 | 532 | 100.0 |

(男性のみ回答)あなたの家族がこれから出産するとしたら、それまでの仕事をどうしてほしいですか(総数532、単位%)



(男性のみ回答)あなたの家族がこれから出産するとしたら、それまでの仕事をどうしてほしいですか(総数532、単位%)



男性が「家族の出産に際し、それまでの仕事をどうして欲しいか」については、「産休後又は育児が一段落した後に仕事復帰を希望する」割合が約 8 割で、女性とほぼ同じ数値です。

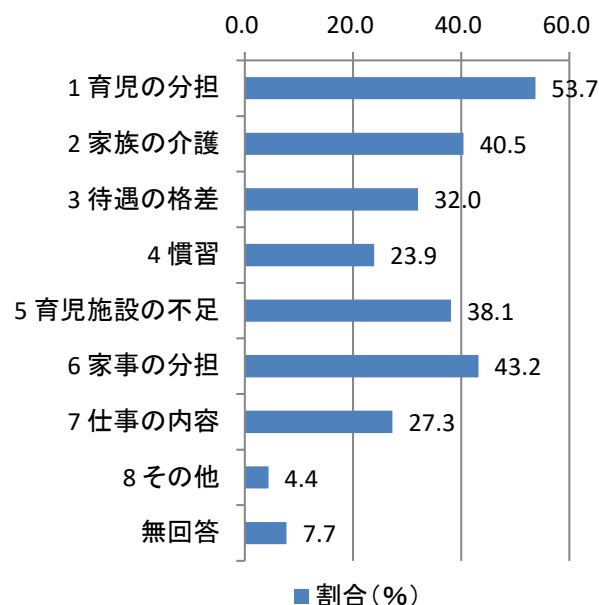
職業別では、自営業主・家族従業員で「育児が一段落した後に…」の割合が高く、同職業の女性の「出産時に仕事をやめず…」と逆転しています。

その他では、半数以上が「本人の意思を尊重」という回答です。

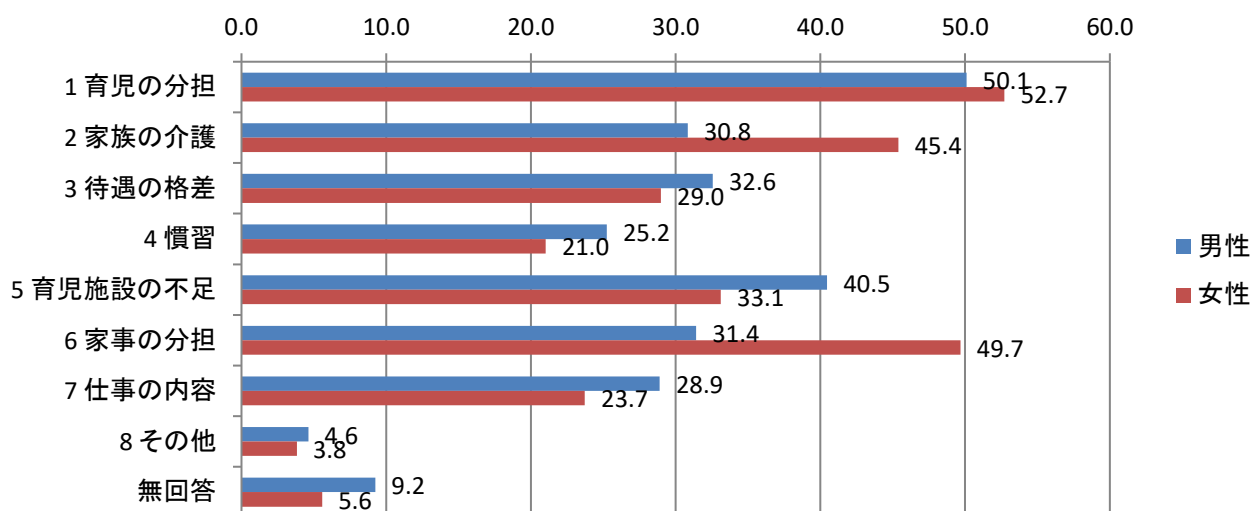
問 12 女性が働く上で、障害となっていることは何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。(4つ以上回答 19 名)

|           | 回答数   | 割合(%)      |
|-----------|-------|------------|
| 1 育児の分担   | 591   | 53.7(60.1) |
| 2 家族の介護   | 445   | 40.5(40.5) |
| 3 待遇の格差   | 352   | 32.0(19.9) |
| 4 慣習      | 263   | 23.9(20.2) |
| 5 育児施設の不足 | 419   | 38.1(48.1) |
| 6 家事の分担   | 475   | 43.2(45.7) |
| 7 仕事の内容   | 300   | 27.3(17.4) |
| 8 その他     | 48    | 4.4(3.7)   |
| 無回答       | 85    | 7.7(1.5)   |
| 回答者数      | 1,100 |            |

女性が働く上で、障害となっていることは何だと思えますか(複数回答:3つまで 回答者数1,100、単位%)



男女別女性が働く上で、障害となっていることは何だと思えますか (複数回答:3つまで 男性484、女性615、無回答1、%)

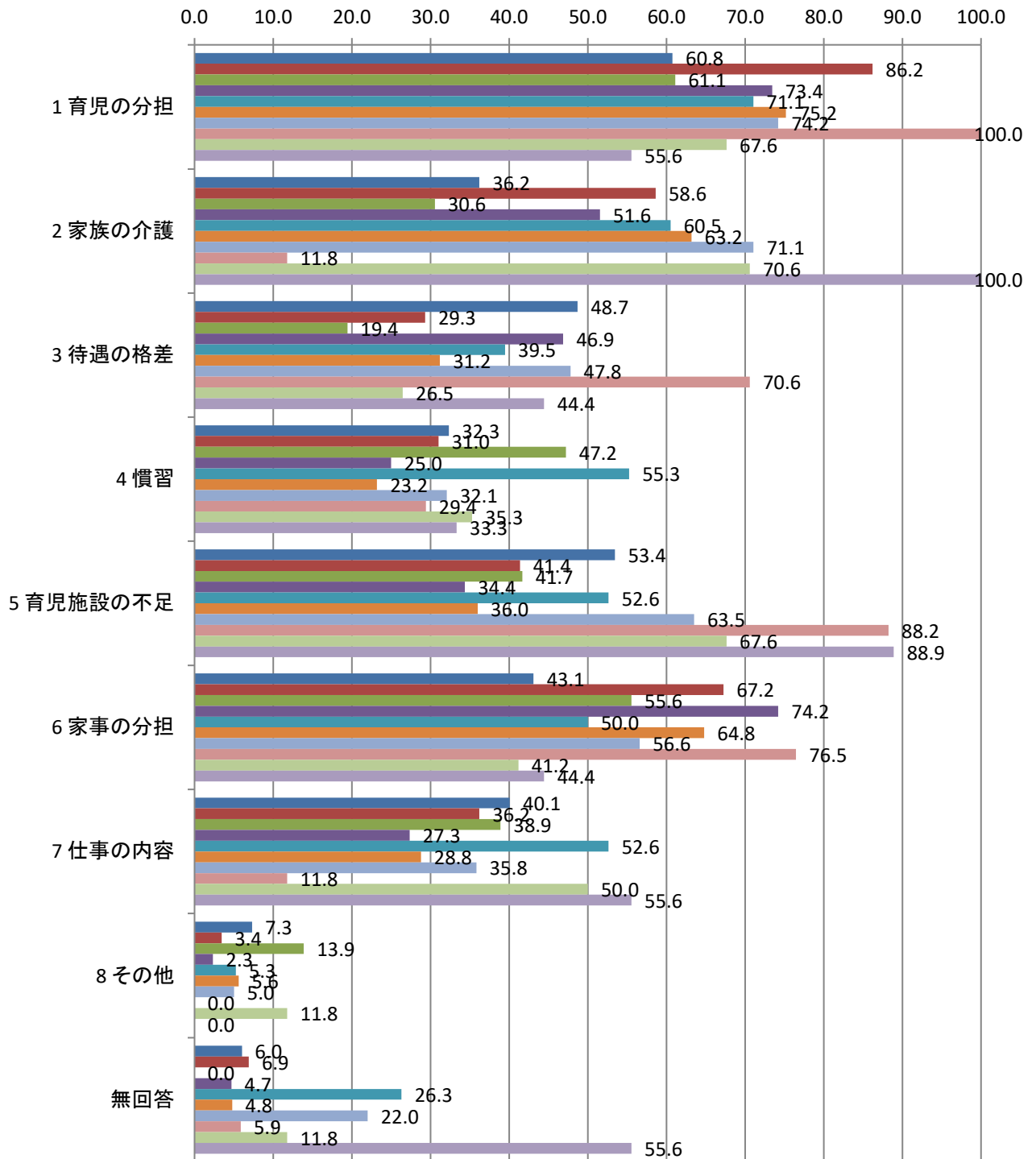


「女性が働く上での障害」は、「育児の分担」が最も多く、「家事の分担」、「家族の介護」と、主として家庭内での負担が取り上げられているほか、関連する「育児施設の不足」も大きな要因とされています。

男女別では、介護、家事の分担に男女間の意識の隔たりがあり、女性の意識として、これらの負担が大きいことが分かります。

また、問 7-1 で「平等でない」と回答のあった割合が最も多い「社会通念・慣行・しきたり」に通じる「慣習」は、働く上での障害としては比較的低い値となっています。

職業別女性が働く上で、障害となっていることは何だと思えますか  
(複数回答:3つまで 回答者数1,100、単位%)



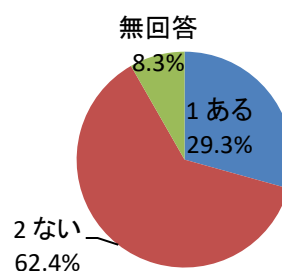
- 1 会社員
- 2 自営業主・家族従業者(農林水産業以外)
- 3 公務員
- 4 パート・アルバイト
- 5 農林水産業・家族従業者
- 6 専業主婦・主夫
- 7 無職
- 8 学生
- 9 その他
- 無回答



問 13 男性の方にお聞きします。職場であなたの同年代の女性が役職に就いたことがありますか。

|      | 人数  | 割合(%) |
|------|-----|-------|
| 1 ある | 156 | 29.3  |
| 2 ない | 332 | 62.4  |
| 無回答  | 44  | 8.3   |
| 計    | 532 | 100.0 |

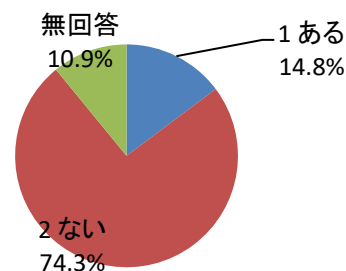
(男性のみ回答)職場であなたの同年代の女性が役職に就いたことがありますか  
(総数532、単位%)



問 14 女性の方にお聞きします。あなたは職場で役職に就いたことがありますか。

|      | 人数  | 割合(%) |
|------|-----|-------|
| 1 ある | 96  | 14.8  |
| 2 ない | 483 | 74.3  |
| 無回答  | 71  | 10.9  |
| 計    | 650 | 100.0 |

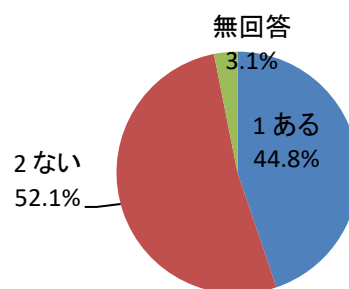
(女性のみ回答)あなたは職場で役職に就いたことがありますか(総数650、単位%)



問 14-1 困ったこと・問題がありましたか

|      | 人数 | 割合(%) |
|------|----|-------|
| 1 ある | 43 | 44.8  |
| 2 ない | 50 | 52.1  |
| 無回答  | 3  | 3.1   |
| 計    | 96 | 100.0 |

(女性のみ回答)職場で役職に就いた時困ったこと・問題がありましたか(総数96、単位%)



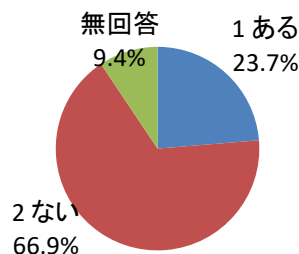
問 13 で、「同年代の女性が役職に就いた男性」は 3 割弱です。問 13-1 「どう思いましたか」に対しては、「良い」、「実力があれば当然」等、肯定的な意見が多い結果です。

問 14、問 14-1 で「役職に就いた女性」は約 15%、その内約 45%が「困ったこと・問題があった」と回答し、その内容は「子ども」、「人間関係」、「勤務時間増」など様々です。

問 15 女性の方にお聞きします。あなたは地域で役職に就いたことがありますか。

|      | 人数  | 割合(%) |
|------|-----|-------|
| 1 ある | 154 | 23.7  |
| 2 ない | 435 | 66.9  |
| 無回答  | 61  | 9.4   |
| 計    | 650 | 100.0 |

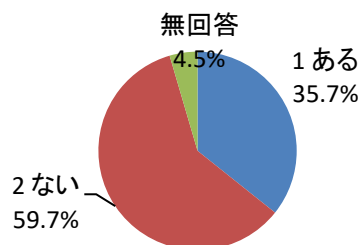
(女性のみ)あなたは地域で役職に就いたことがありますか  
(総数650、単位%)



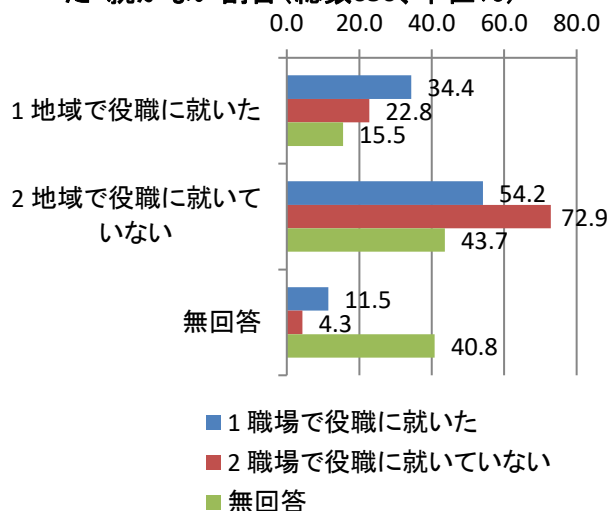
問 15-1 困ったこと・問題がありましたか

|      | 人数  | 割合(%) |
|------|-----|-------|
| 1 ある | 55  | 35.7  |
| 2 ない | 92  | 59.7  |
| 無回答  | 7   | 4.5   |
| 計    | 154 | 100.0 |

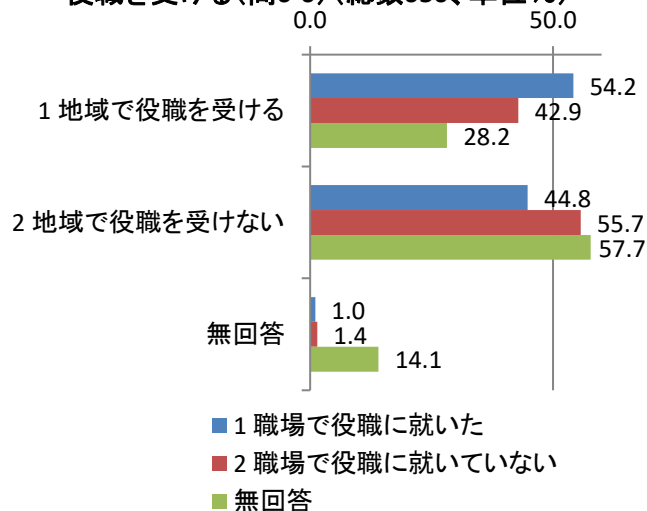
(女性のみ)地域で役職に就いた時  
困ったこと・問題がありましたか  
(総数154、単位%)



(女性のみ)職場・地域で役職に就いた・就かない割合(総数650、単位%)



(女性のみ)職場で役職に就いた・地域で役職を受ける(問6-6)(総数650、単位%)



問 15、問 15-1 で、「女性が地域で役職に就いた割合」は 23.7%、その内、35.7%が「困ったこと・問題があった」と回答しています。

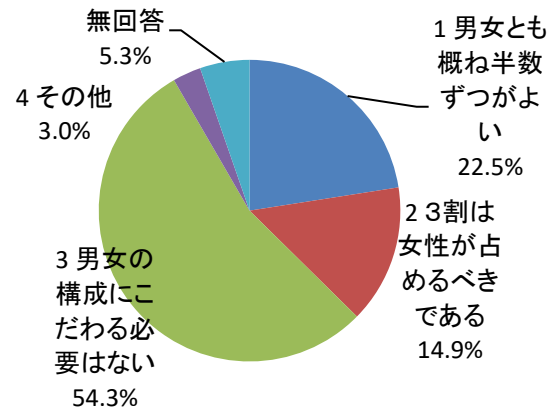
また、問 6-6、問 14 との関係では、「職場で役職に就いた女性が、地域で役職を頼まれたら受ける」と回答した割合が 54.2%に対し、職場で役職に就いていない女性の場合、地域で役職を受ける割合は 42.9%と、11%以上の開きがあります。

## 7 政策決定と女性の登用について

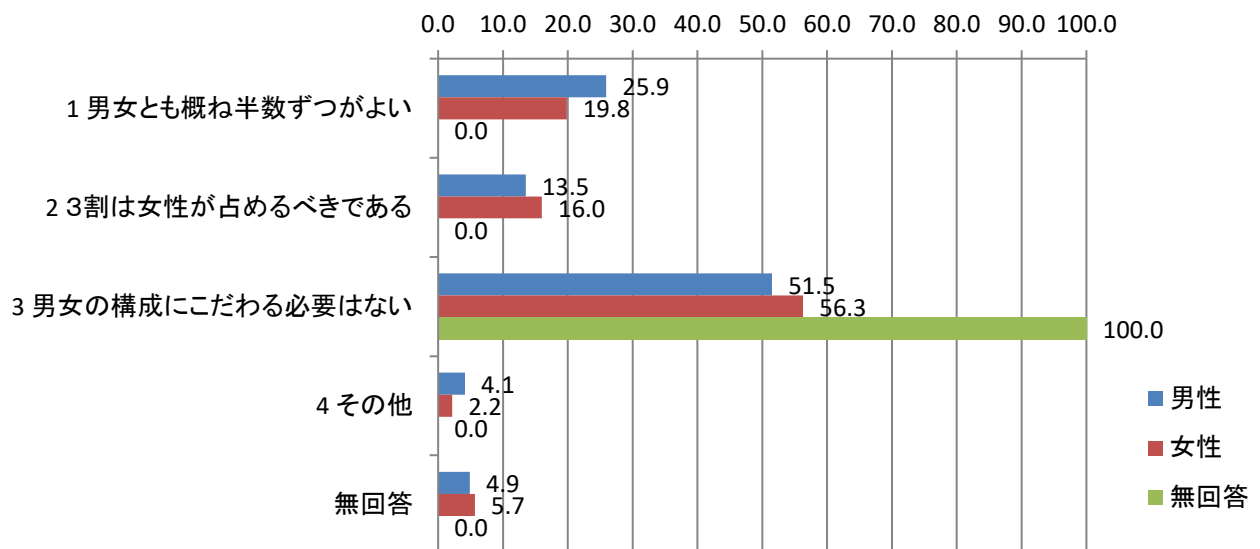
問 16 政策決定の場である市の審議会や委員会等に、女性がどの程度登用されるべきだと思いますか。1つ選んでください。

|                   | 人数    | 割合(%)      |
|-------------------|-------|------------|
| 1 男女とも概ね半数ずつがよい   | 267   | 22.5(24.3) |
| 2 3割は女性が占めるべきである  | 176   | 14.9(13.9) |
| 3 男女の構成にこだわる必要はない | 643   | 54.3(58.9) |
| 4 その他             | 36    | 3.0(1.5)   |
| 無回答               | 63    | 5.3(1.4)   |
| 計                 | 1,185 | 100.0      |

政策決定の場である市の審議会や委員会等に、女性がどの程度登用されるべきだと思いますか(総数1,185、単位%)



男女別政策決定の場である市の審議会や委員会等に、女性がどの程度登用されるべきだと思いますか(男性532、女性650、無回答3、単位%)

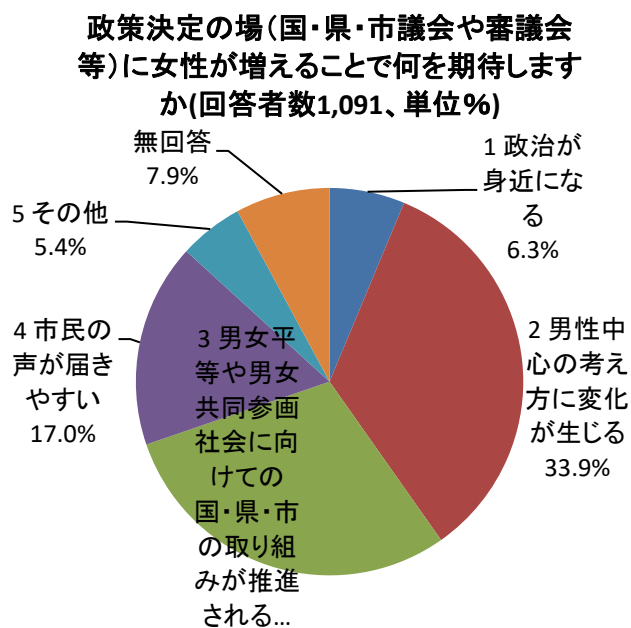


「政策決定の場における女性の登用」は、「男女の構成にこだわる必要がない」が半数以上で、最も多く、その他の順位も前回調査と同様です。

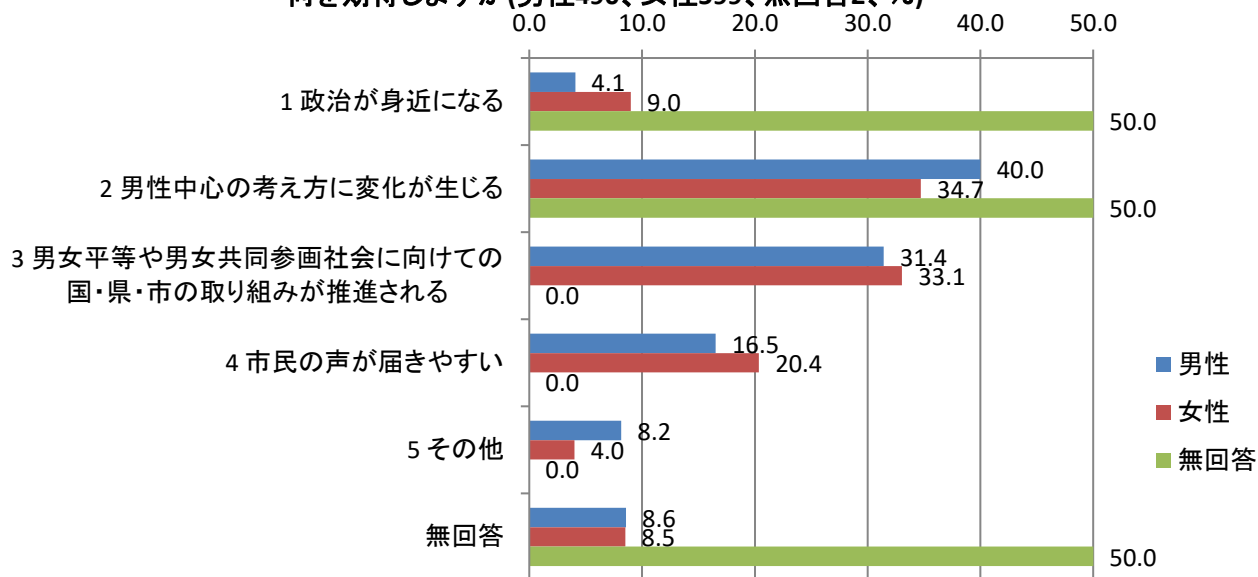
男女別では、「男女とも概ね半数ずつがよい」と回答した男性が25.9%に対し、女性が19.8%であり、女性側が「半数ずつ」とするより「こだわる必要はない」する傾向が強いといえます。

問 17 あなたは、政策決定の場(国・県・市議会や審議会等)に女性が増えることで何を期待しますか。次の中からあなたの考えに近いものを1つ選んでください。(複数回答8名)

|                                      | 人数    | 割合(%)      |
|--------------------------------------|-------|------------|
| 1 政治が身近になる                           | 75    | 6.9(5.4)   |
| 2 男性中心の考え方に変化が生じる                    | 405   | 37.1(35.4) |
| 3 男女平等や男女共同参画社会に向けての国・県・市の取り組みが推進される | 352   | 32.3(31.0) |
| 4 市民の声が届きやすい                         | 203   | 18.6(20.9) |
| 5 その他                                | 64    | 5.9(4.3)   |
| 無回答                                  | 94    | 8.6(3.0)   |
| 回答者数                                 | 1,091 |            |



男女別政策決定の場(国・県・市議会や審議会等)に女性が増えることで何を期待しますか(男性490、女性599、無回答2、%)



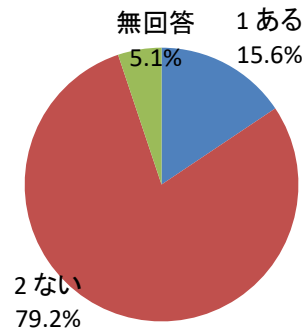
「政策決定の場への女性の登用への期待」について、前回調査と同様の結果です。女性の登用により「男性中心の考え方に変化が生じる」、「男女平等や男女共同参画に向けての国・県・市の取り組みが推進される」という期待が大半を占めています。一方、その他では、「育児・子育てしやすい社会」、「新しいアイデア、考え方」等の回答がありました。

## 8 多文化共生について

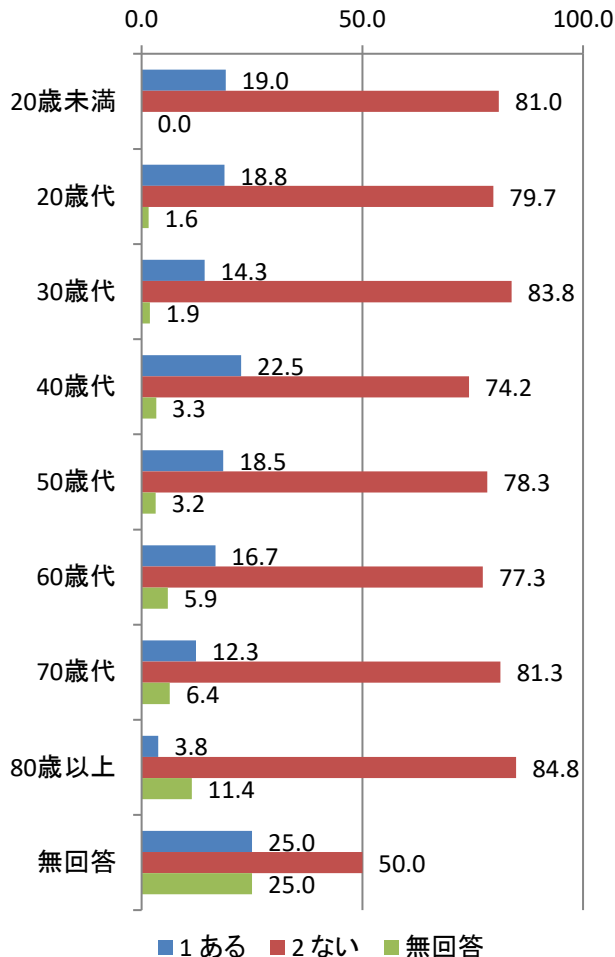
問 18 あなたは身近な外国籍住民と交流はありますか。

|      | 人数    | 割合 (%) |
|------|-------|--------|
| 1 ある | 185   | 15.6   |
| 2 ない | 939   | 79.2   |
| 無回答  | 61    | 5.1    |
| 計    | 1,185 | 100.0  |

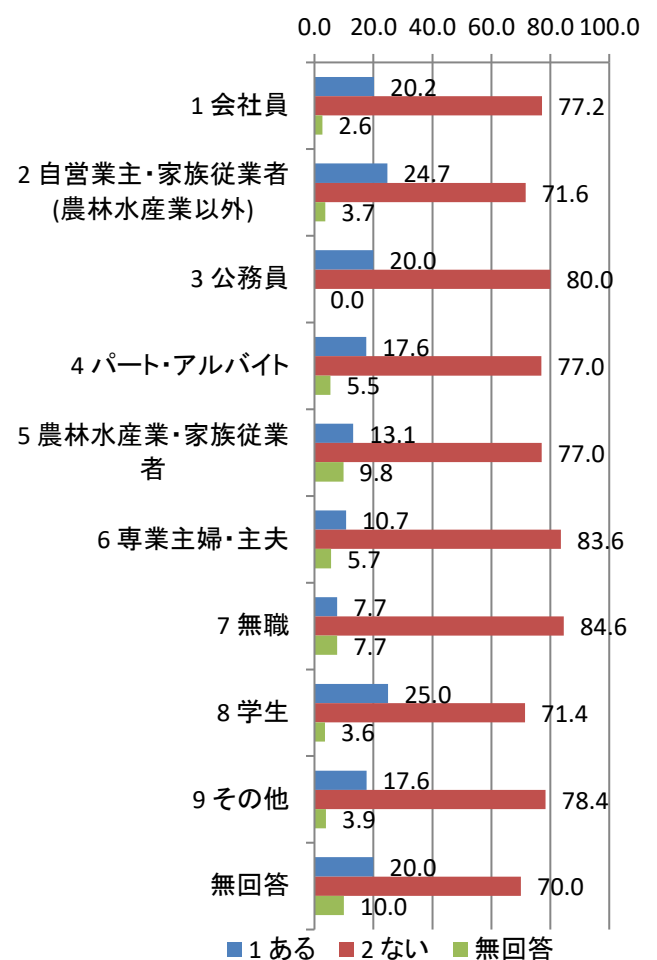
あなたは身近な外国籍住民と交流はありますか。(総数1,185、単位%)



年代別あなたは身近な外国籍住民と交流はありますか。(総数1,185、単位%)



職業別あなたは身近な外国籍住民と交流はありますか。(総数1,185、単位%)

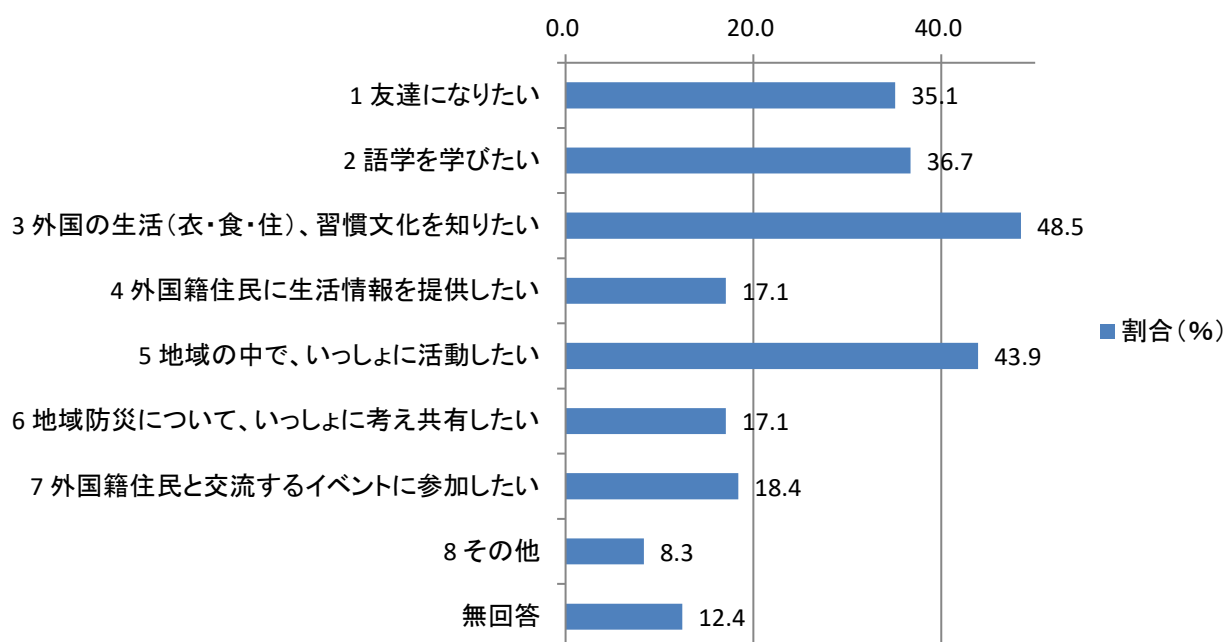


「身近な外国籍住民との交流」については、約8割が「ない」と回答しています。年代別では「交流がある」割合は、年齢無回答を除き、40歳代が最も多く、年代が上がるにつれ減少傾向です。

問 19 あなたは身近な外国籍住民とどうい交流をしたいと思ひますか。次の中から該当するものすべてを選んてください。

|                          | 回答数   | 割合(%) |
|--------------------------|-------|-------|
| 1 友達になりたい                | 370   | 35.1  |
| 2 語学を学びたい                | 387   | 36.7  |
| 3 外国の生活(衣・食・住)、習慣文化を知りたい | 511   | 48.5  |
| 4 外国籍住民に生活情報を提供したい       | 180   | 17.1  |
| 5 地域の中で、いっしょに活動したい       | 463   | 43.9  |
| 6 地域防災について、いっしょに考え共有したい  | 180   | 17.1  |
| 7 外国籍住民と交流するイベントに参加したい   | 194   | 18.4  |
| 8 その他                    | 88    | 8.3   |
| 無回答                      | 131   | 12.4  |
| 回答者数                     | 1,054 |       |

あなたは身近な外国籍住民とどうい交流をしたいと思ひますか  
(複数回答:いくつでも 回答者数1,054、単位%)

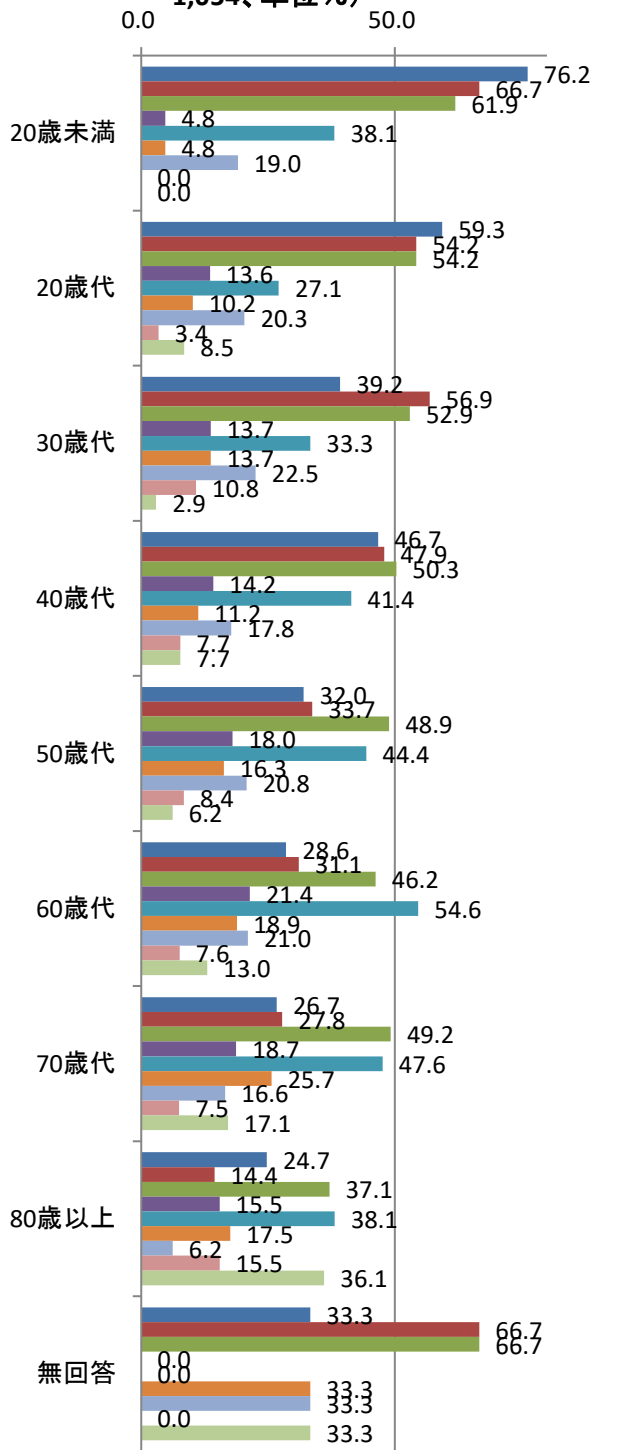


「外国人との交流意向」は、「外国の生活、習慣文化を知りたい」が最も多く、「地域の中で一緒に活動したい」、「語学を学びたい」が続いています。

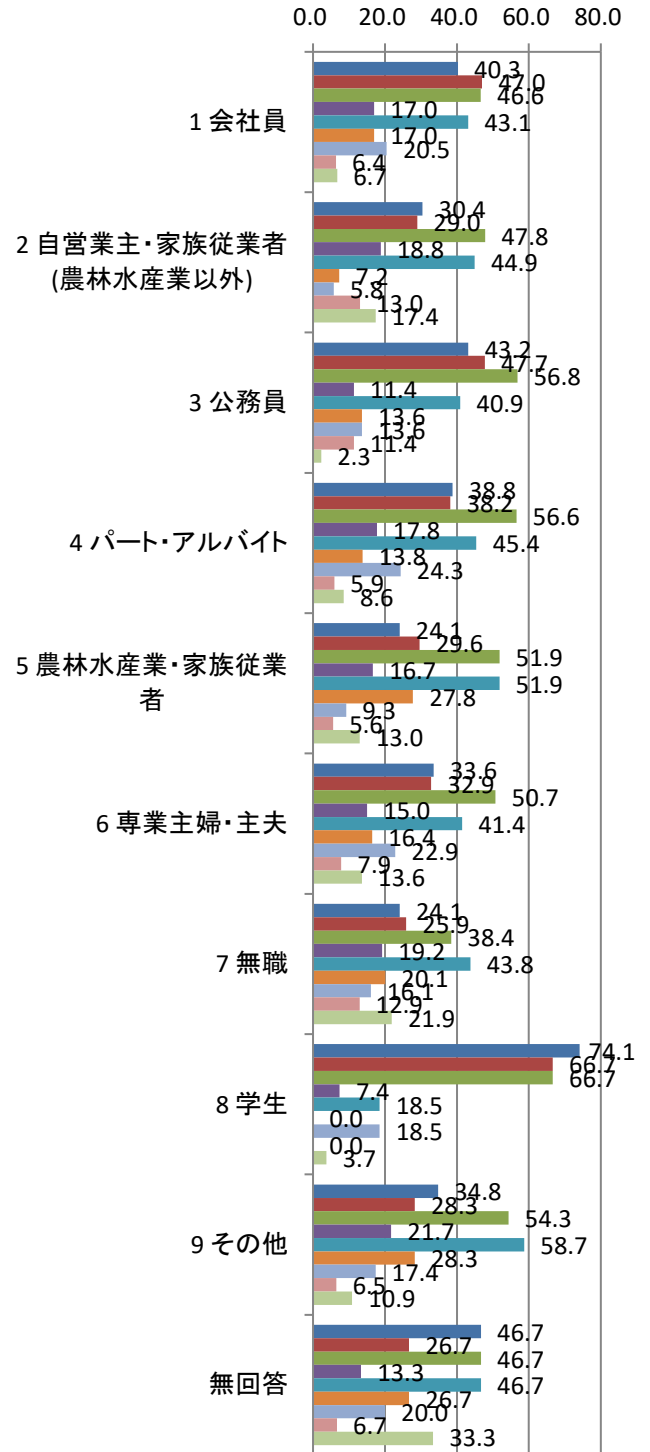
年代別では、若年層ほど「友達になりたい」、「語学を学びたい」が多い傾向があり、「外国の生活、習慣文化を知りたい」、「地域の中でいっしょに活動したい」は年代に関わらず一定の希望があるようです。

一方、その他では「関わりたくない」、「交流したいと思わない」という消極的な回答も、少なからず存在します。

年代別あなたは身近な外国籍住民と  
 どのような交流をしたいと思いますか  
 (複数回答:いくつでも 回答者数  
 1,054、単位%)



職業別あなたは身近な外国籍住民と  
 どのような交流をしたいと思いますか  
 (複数回答:いくつでも 回答者数  
 1,054、単位%)

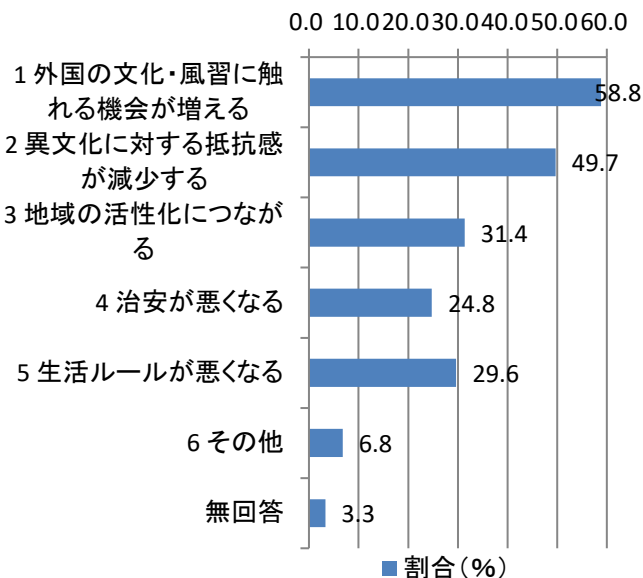


- 1 友達になりたい
- 2 語学を学びたい
- 3 外国の生活(衣・食・住)、習慣文化を知りたい
- 4 外国籍住民に生活情報を提供したい
- 5 地域の中で、いっしょに活動したい
- 6 地域防災について、いっしょに考え共有したい
- 7 外国籍住民と交流するイベントに参加したい
- 8 その他
- 無回答

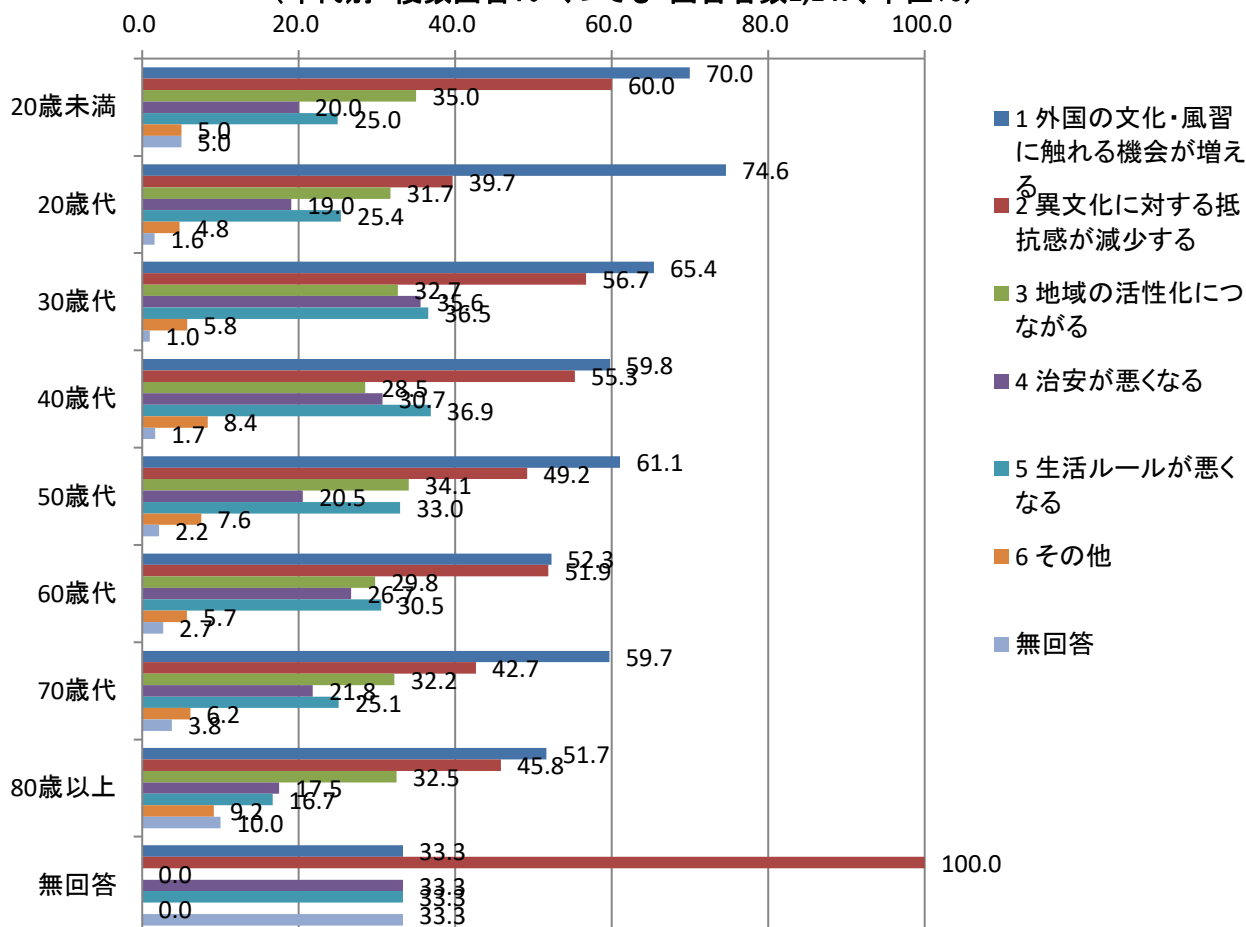
問 20 安曇野市内に外国籍住民が増えると、どのような影響があると思いますか。次の中から該当するものすべてを選んでください。

|                      | 回答数   | 割合(%) |
|----------------------|-------|-------|
| 1 外国の文化・風習に触れる機会が増える | 675   | 58.8  |
| 2 異文化に対する抵抗感が減少する    | 570   | 49.7  |
| 3 地域の活性化につながる        | 360   | 31.4  |
| 4 治安が悪くなる            | 284   | 24.8  |
| 5 生活ルールが悪くなる         | 340   | 29.6  |
| 6 その他                | 78    | 6.8   |
| 無回答                  | 38    | 3.3   |
| 回答者数                 | 1,147 |       |

安曇野市内に外国籍住民が増えると、どのような影響があると思いますか(複数回答:いつでも 回答者数1,147、単位%)

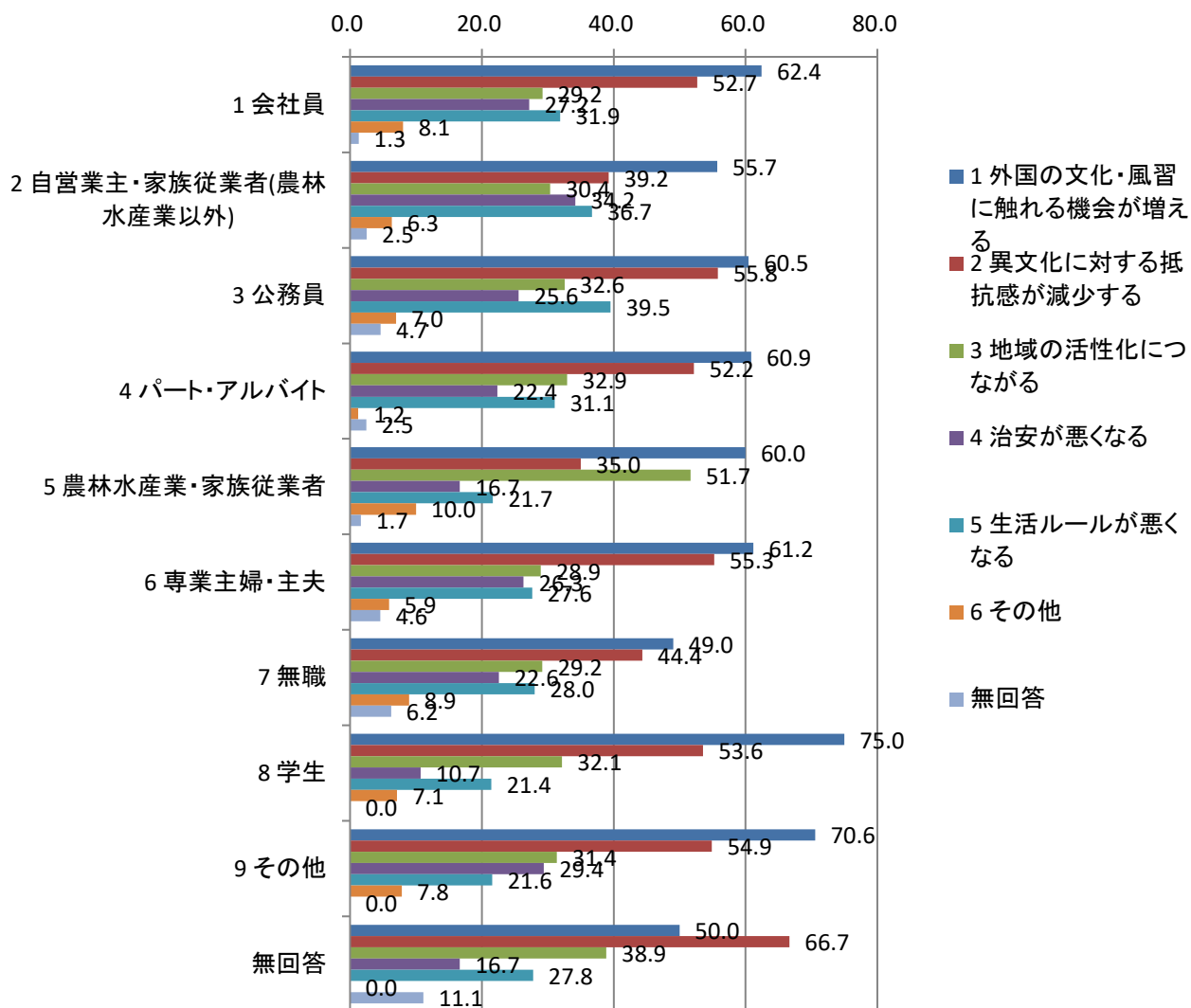


安曇野市内に外国籍住民が増えると、どのような影響があると思いますか  
(年代別 複数回答:いつでも 回答者数1,147、単位%)

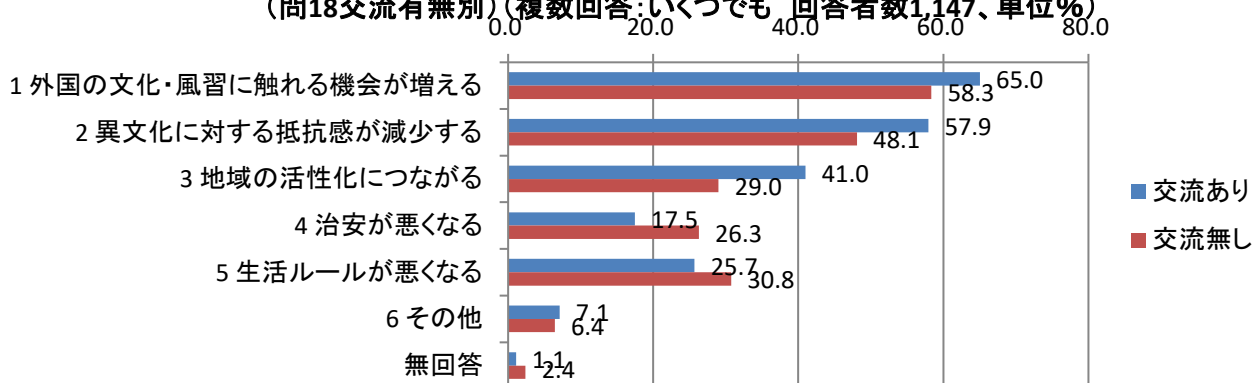




安曇野市内に外国籍住民が増えると、どのような影響があると思いますか  
(職業別 複数回答:いくつでも 回答者数1,147、単位%)



安曇野市内に外国籍住民が増えると、どのような影響があると思いますか  
(問18交流有無別)(複数回答:いくつでも 回答者数1,147、単位%)



「安曇野市内に外国籍住民が増えることについて」、複数回答であるため、同一人であっても「外国の文化・風習に触れる機会が増える」等の肯定的回答と、「治安が悪くなる」等の否定的回答が混在しています。

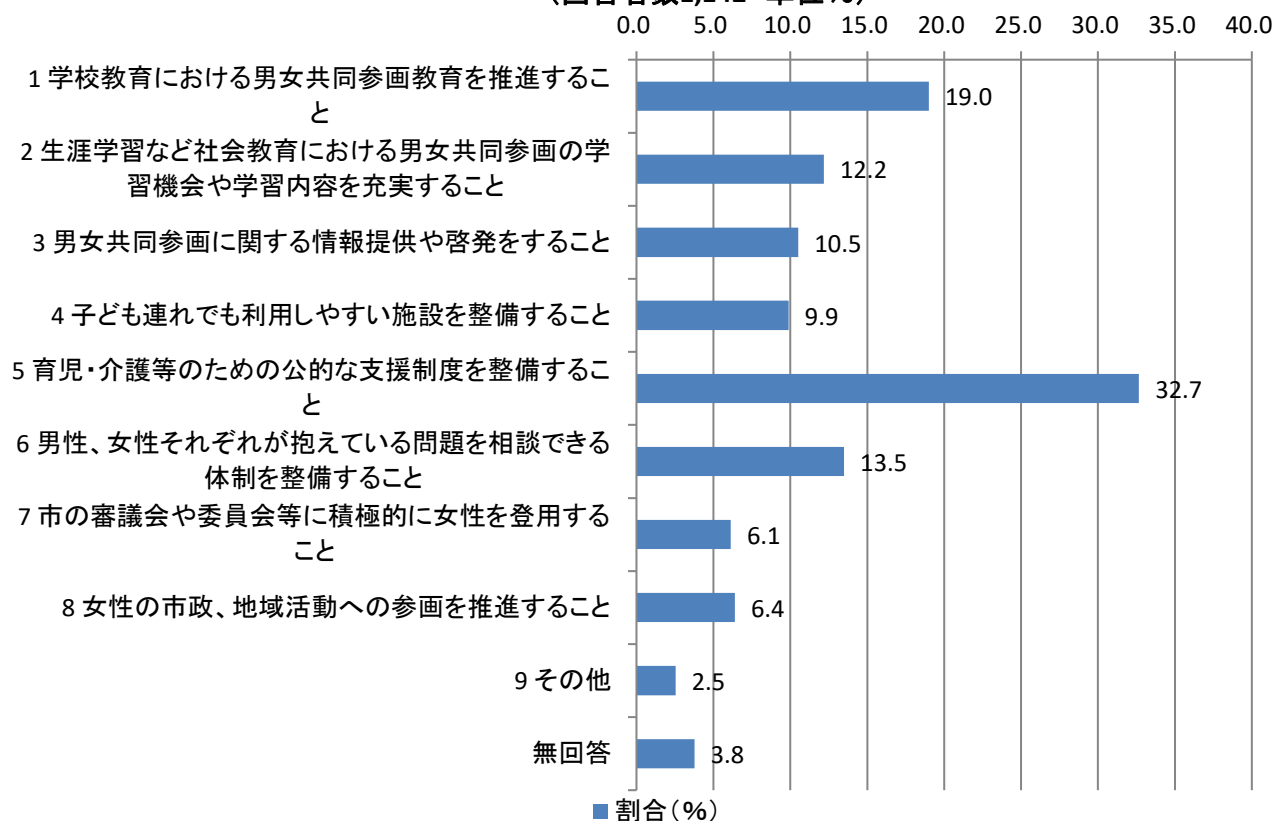
また、問18の交流有無との関係では、肯定的回答と否定的回答の割合が「交流あり」グループと「交流なし」グループで逆転しています。

## 9 男女共同参画を推進するために

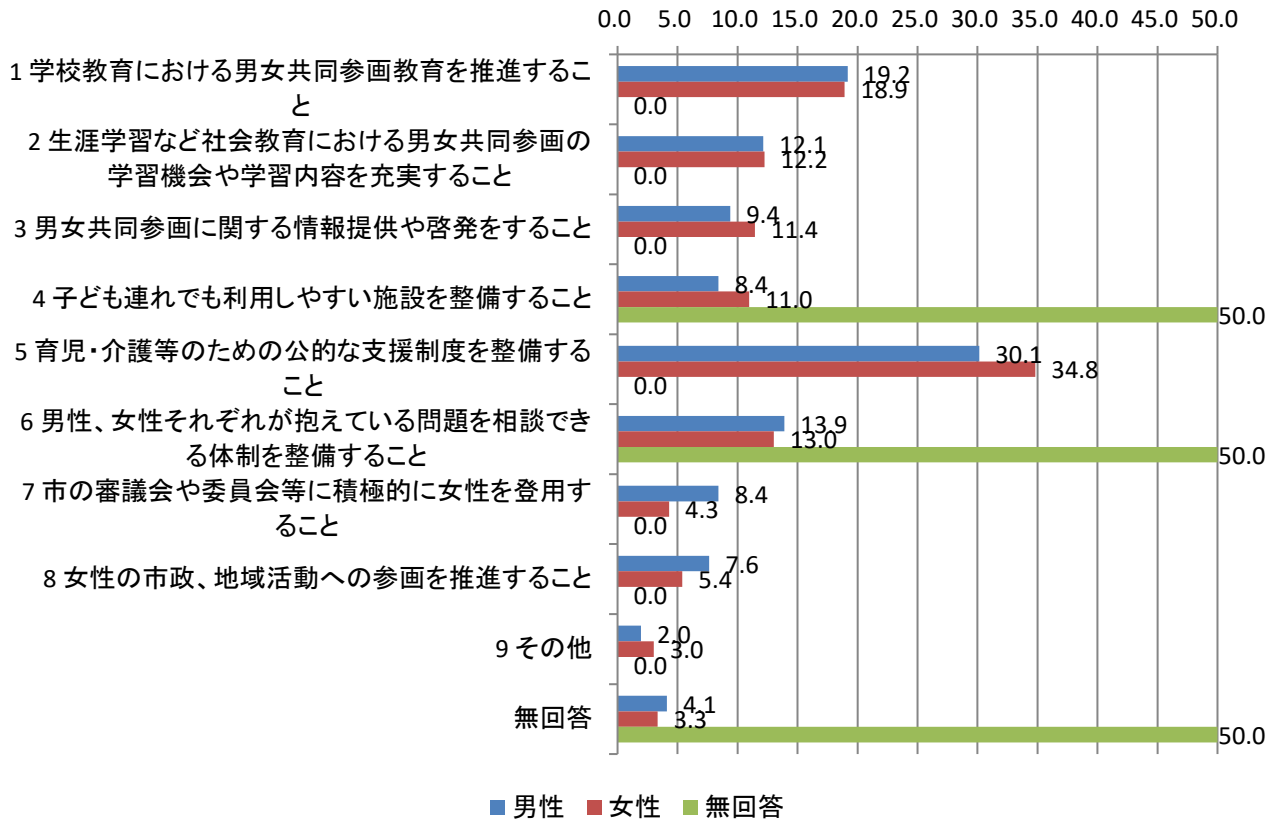
問 21 男女共同参画社会の形成を推進するために、あなたが特に重要だと考えることを次の中から1つ選んでください。(複数回答 85 名)

|   | 回答数   | 割合(%) | 今回順位 | 前回順位 |
|---|-------|-------|------|------|
| 1 学校教育における男女共同参画教育を推進すること               | 217   | 19.0  | 2    | 2    |
| 2 生涯学習など社会教育における男女共同参画の学習機会や学習内容を充実すること | 139   | 12.2  | 4    | 3    |
| 3 男女共同参画に関する情報提供や啓発をすること                | 120   | 10.5  | 5    | 6    |
| 4 子ども連れでも利用しやすい施設を整備すること                | 113   | 9.9   | 6    | 4    |
| 5 育児・介護等のための公的な支援制度を整備すること              | 373   | 32.7  | 1    | 1    |
| 6 男性、女性それぞれが抱えている問題を相談できる体制を整備すること      | 154   | 13.5  | 3    | 5    |
| 7 市の審議会や委員会等に積極的に女性を登用すること              | 70    | 6.1   | 8    | 8    |
| 8 女性の市政、地域活動への参画を推進すること                 | 73    | 6.4   | 7    | 7    |
| 9 その他                                   | 29    | 2.5   | 10   | 11   |
| 無回答                                     | 43    | 3.8   | 9    | 10   |
| 回答者数                                    | 1,142 |       |      |      |

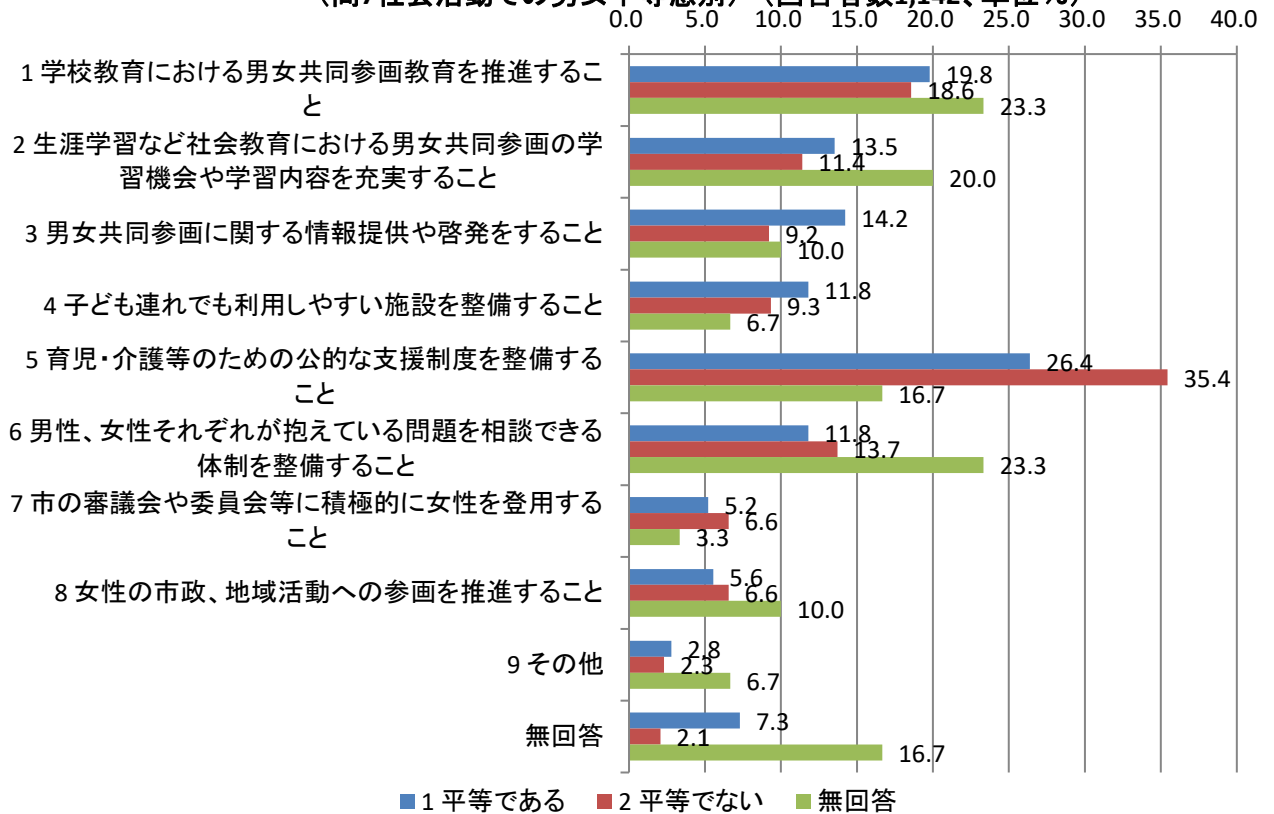
男女共同参画社会の形成を推進するために、あなたが特に重要だと考えること  
(回答者数1,142 単位%)



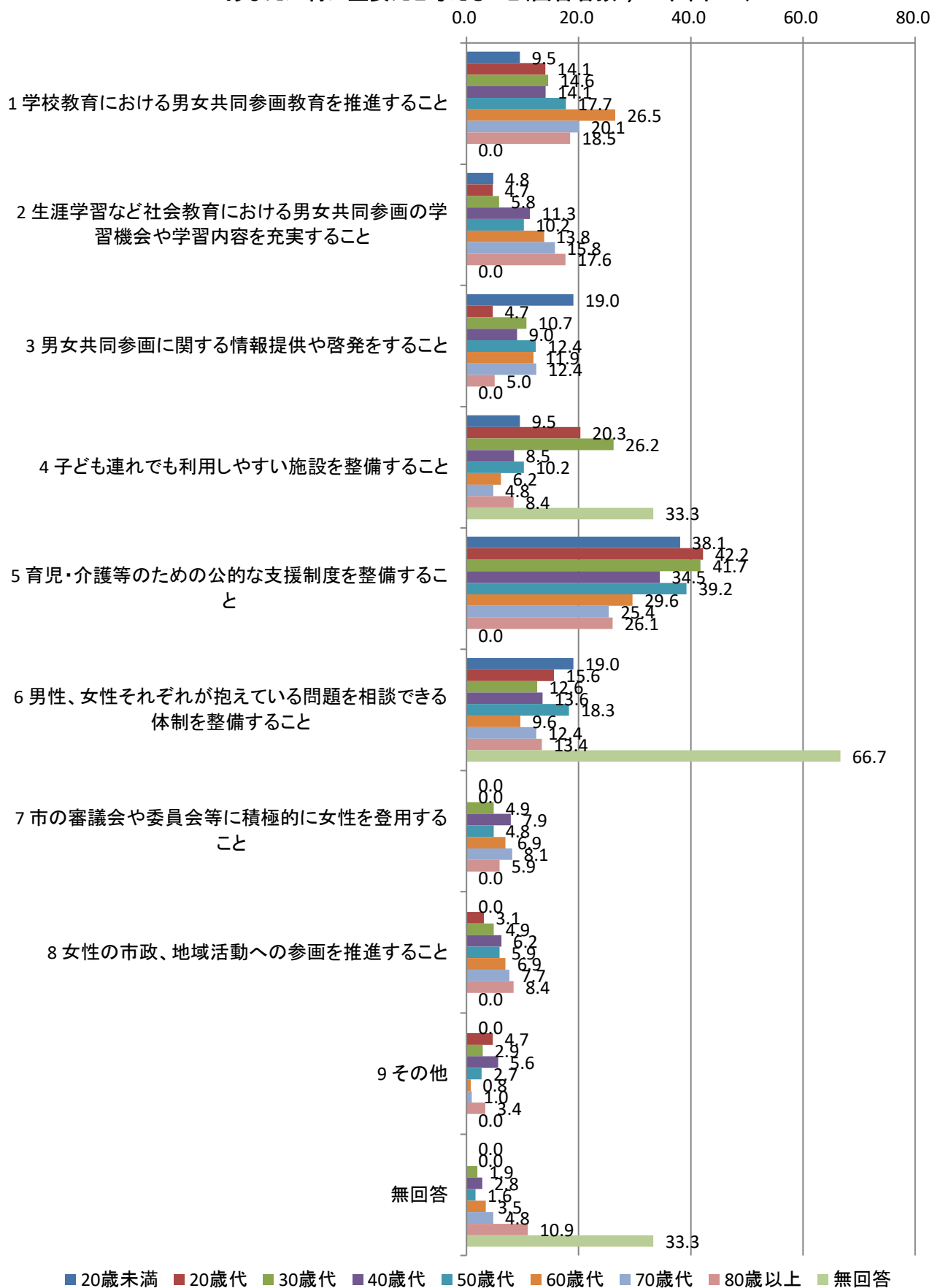
男女別男女共同参画社会の形成を推進するために、  
あなたが特に重要だと考えること(男性511、女性629、無回答2、%)



男女共同参画社会の形成を推進するために、あなたが特に重要だと考えること  
(問7社会活動での男女平等感別) (回答者数1,142、単位%)



年代別男女共同参画社会の形成を推進するために、  
あなたが特に重要だと考えること(回答者数1,142、単位%)



「男女共同参画社会の形成推進のために重要な取組み」では、前回同様「育児・介護等のための公的支援制度を整備すること」が最も多くなっています

前回調査では、「学習会や会議にはパートナーと出席すること」という選択肢が別にあったため、表では前回の各選択肢について「%」でなく「順位」を示してあります。

男女別の各選択肢の割合にほとんど差がない中、「育児・介護等のための公的な支援制度を整備すること」は男性より女性が選ぶ割合が5%近く、問12の「女性が働く上での障害」と同様の意識の違いが表れています。

加えて、問7の社会活動における平等感別との関係においても、「平等である」と回答したグループより、「平等でない」としたグループの方が「育児・介護等のための公的な支援制度を整備すること」を選ぶ割合が9%多くなっています。

また、問7-1で「学校教育が男女平等でない」と回答した割合が、同問の「その他」、「無回答」を除くと最低の10.9%であったことに対し、本問では「学校教育における男女共同参画教育を推進すること」が第2順位となることから、学校教育への期待が高いと思われます。

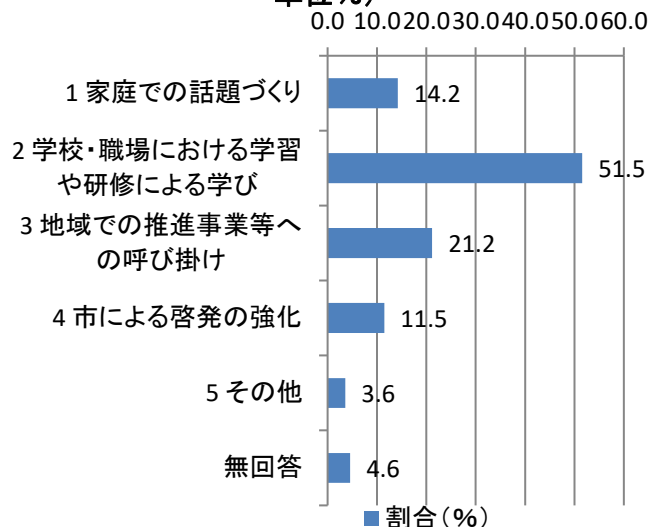
年代別では、「学校教育における男女共同参画教育を推進すること」、「生涯学習など社会教育における男女共同参画の学習機会や学習内容を充実すること」は、年代が上がるにつれて上昇傾向となっています。

また、「介護、育児のための公的な支援制度を整備すること」は、60歳代以下の、それらを必要とする層で各年代がほぼ3割を超えている状況です。

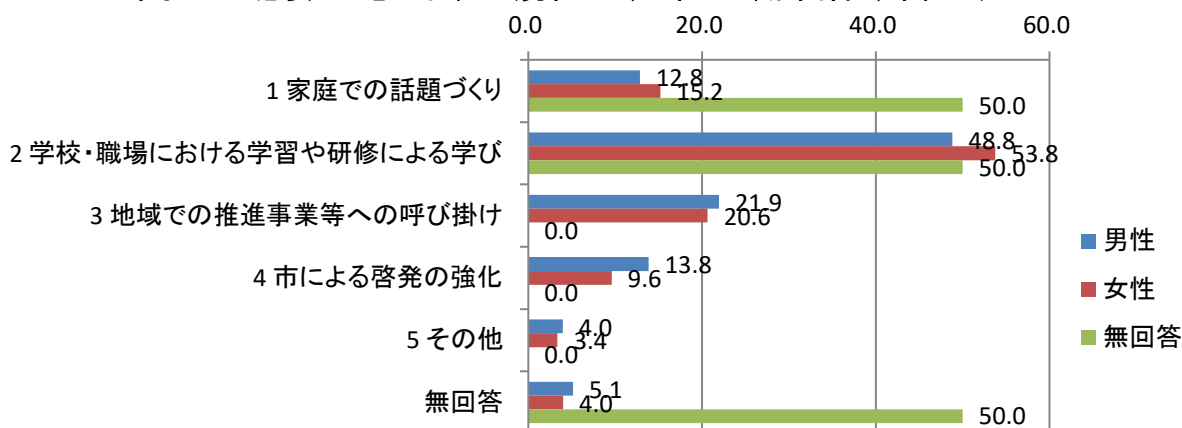
問 22 男女共同参画を進める上で若い世代に参画してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。1つ選んでください。(複数回答 19 名)

|                       | 回答数   | 割合(%) |
|-----------------------|-------|-------|
| 1 家庭での話題づくり           | 161   | 14.2  |
| 2 学校・職場における学習や研修による学び | 584   | 51.5  |
| 3 地域での推進事業等への呼び掛け     | 240   | 21.2  |
| 4 市による啓発の強化           | 130   | 11.5  |
| 5 その他                 | 41    | 3.6   |
| 無回答                   | 52    | 4.6   |
| 回答者数                  | 1,133 | 106.6 |

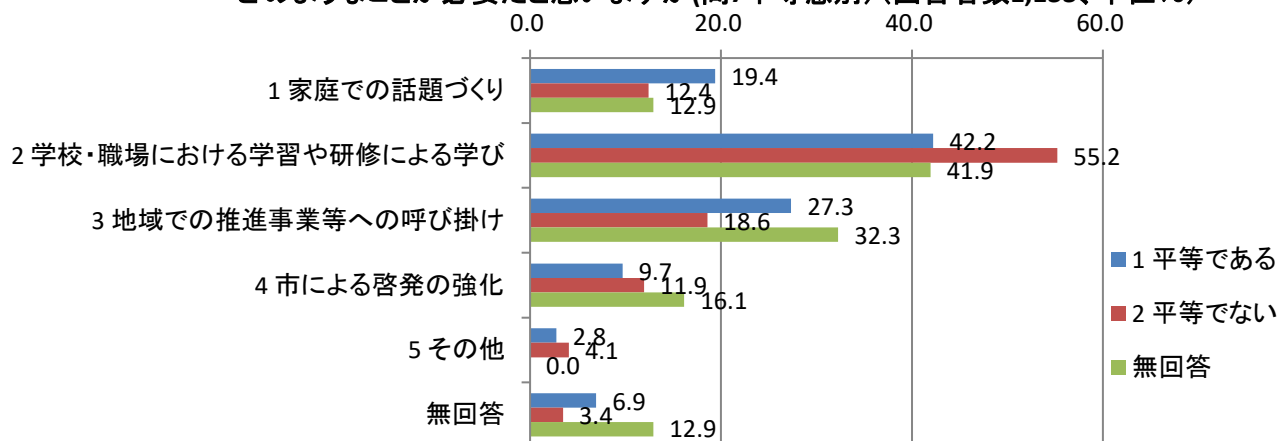
男女共同参画を進める上で若い世代に参画してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか(回答者数1,133、単位%)



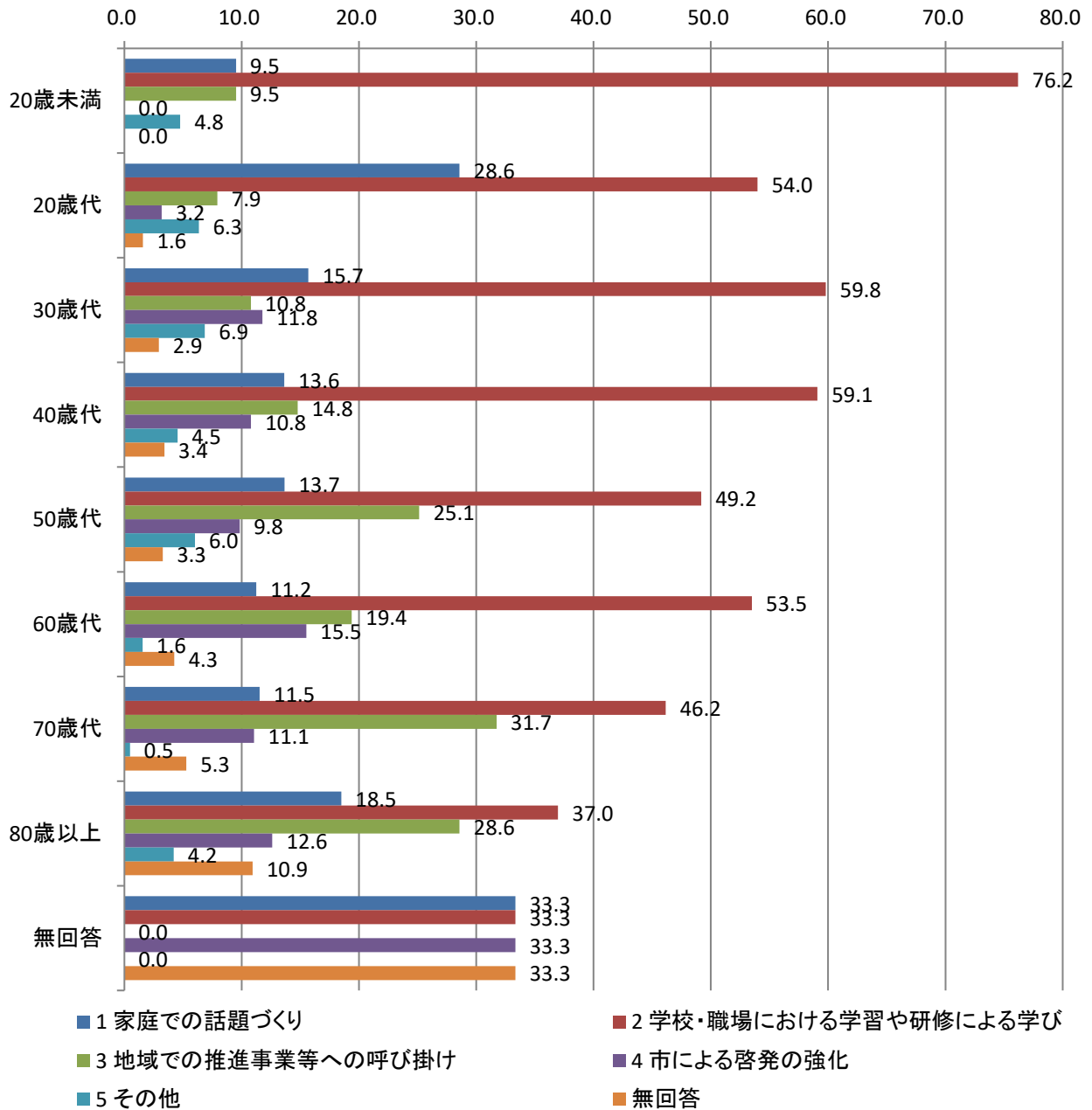
男女別男女共同参画を進める上で若い世代に参画してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか(男性506、女性625、無回答2、単位%)



男女共同参画を進める上で若い世代に参画してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか(問7平等感別)(回答者数1,133、単位%)



年代別男女共同参画を進める上で若い世代に参画してもらうためには、  
 どのようなことが必要だと思いますか(回答者数1,133、単位%)



「男女共同参画を進める上で若い世代に参画してもらうために必要なこと」では、「学校・職場における学習や研修による学び」が全体の半数を超えています。

問7の社会活動における平等感別との関係において、「平等である」と回答したグループと「平等でない」としたグループを比較すると、前者の方が「家庭での話題づくり」、「地域での推進事業等への呼びかけ」といった自発的行動を選ぶ割合が高く、後者は「学校・職場における学習や研修による学び」の受動的行動を選ぶ割合が高い結果となりました。

年代別では、「学校・職場における…」 「家庭での話題づくり」が、年代が上がるにつれて減少傾向となっていますが、「地域での推進事業等への呼びかけ」は年代と共に上昇傾向です。

## 《自由意見等》

設問中の記載欄や「その他」の内容、自由記載欄に寄せられた意見等を掲載します。  
明らかな誤字や脱字は訂正してあります。



**問 7-1 社会活動全般において平等でない  
と思う分野 「その他」の回答 (21 件)**

▼20歳未満 女性 学生 給料等。 ▼20歳代 女性 会社員 皇位継承順位(愛子様が3位又は2位であるべき) ▼20歳代 男性 会社員 女性専用車両、女性割引。 ▼30歳代 男性 公務員 保育現場 ▼30歳代 女性 パート・アルバイト 子育て ▼30歳代 女性 パート・アルバイト 保育園役員。 ▼50歳代 女性 その他 性や能力において違いがあるので、全ての分野で違うのは当然 ▼50歳代 女性 会社員 結婚すると基本は女が夫の姓に変えさせられる。 ▼60歳代 男性 会社員 まったく逆の職場もある(男女の役割)。 ▼60歳代 男性 自営業主・家族従業者 体のづくりがそもそも異なっている。それによる差別がどうしても生じる。 ▼60歳代 女性 その他 女性の中には甘えで責任のなれをする人が多いように思える。 ▼60歳代 男性 その他 何をもって平等、不平等と言うか・・・なかなか難しい。 ▼70歳代 女性 無職 となり組 ▼70歳代 男性 無職 具体的な事例を思い浮かべない ▼70歳代 女性 無職 保育や介護の負担 ▼70歳代 女性 専業主婦 体力的にも女性は弱いと思う ▼70歳代 女性 会社員 行政機関 ▼70歳代 男性 無職 賃金など。 ▼80歳以上 男性 無職 慣行でそうになっているでしょう ▼80歳以上 男性 農林水産業・家族従業者 男女等の政治的な慣行等も考える ▼年齢無回答 性別無回答性 職業無回答 タイリョク、センス。

**問 7-2 社会活動全般において、日頃から  
感じていることや、ご意見、ご経験など  
について (390 件)**

▼20歳未満 女性 学生 職場では特にまだ男女平等とはいえない点があるのではないかと考えています。 ▼20歳未満 男性 学生 特性がもともとちがう。 ▼20歳代 女性 その他 男性か女性かということもそうですが1人1人の現実や状況を見てつき合いをしていない気がします。言葉では言っても行動が伴うことが少ない。良い着地点を見つけられず、問題が起きても平行線のままうやむやになって通過

してしまうことが多いと思います。ジェンダーレスやLGBTなどが話題になるような時代ですから、男や女というよりもさらに、1人1人を見ていくべきではないでしょうか。 ▼20歳代 女性 パート・アルバイト 学校教育では、私が在籍していた中学校では担任の先生が全員男性だった。地域では、男性がメインで女性が下支えしてる。しきたりも同上。職場・政治・法律や制度は、このままだと一億総活躍社会や女性が輝く社会は到底無理と思う。 ▼20歳代 女性 会社員 今は女性が活躍している職場も多くあり、また40、50代でも仕事を女性で続けている方もいて若者の励みにもなる。 ▼20歳代 女性 会社員 産休で休んだりする分、男の人の方が給料が安定し、女の人が復帰するときはパートにならざるを得ないことがまだあるように感じる。育休、産休、子育てをしている人が、スタッフが少ないため、休む時や早く帰るときあまりいい顔をされない。(男のスタッフも) ▼20歳代 女性 会社員 市営のアパートの係や部署に女の人がない。男の人ばかりで、女性の意見がわかってもらえない。建設課でも、相談係に女の人が居ても良いと思う。子育て支援課も父子家庭で相談しやすいように男の人が居ても良いと思う。 ▼20歳代 女性 会社員 事務職で働いているが、力仕事をごくまれにせざるを得なくなった際、それに気づいた男性職員が必ず交代してくれる。よく、女性が働きづらい社会だとかメディアは取り上げるが、私はそうは思わない。時代の流れもあり、職場でも家庭でも男性の女性への手助けは当然のこととなっているし、むしろ男性の方が厳しい状況になっているのではと思う。 ▼20歳代 女性 会社員 就職活動にて女性だからという理由を伝えられたことがある。 ▼20歳代 女性 会社員 職場では育児休暇、育児短縮勤務が多く利用されていますが、仕事が出来た範囲では正職からパート雇用になってしまうことも多いです。(夜勤がある仕事なのですが夜勤が条件になっているようです) そんな所が女性が仕事を続けるハンディになっていると思います。 ▼20歳代 女性 会社員 性差が生じるのは体力や性別の違いから当然だと思うので、平等という言葉の意味が

人それぞれになっているところはあると思う。最近  
は特に周知されてきているところがあるのであまり  
不安はないけど、まだまだ職場等では女性の生活の  
変化に対応できていないのではないかと思う。 ▼  
20歳代 女性 会社員 生活するために精一杯です。  
(給料が安い) ▼20歳代 女性 会社員 男性の  
育休取得が進んでいない。夫が取得したくても会社  
に断られると言っている。 ▼20歳代 女性 会社員  
未だに男性は外で働き、女性は家事・育児といった  
ような固定概念があるように感じる。職場でもノル  
マがあるが、女性は3に対して男性は15と大きく差  
がついていることも正直違和感がある。 ▼20歳代  
女性 学生 共働きでも、まだまだ女性へも家事負担  
が大きいと感じるため。 ▼20歳代 女性 無職 男女  
平等とうたっている社会ではあるが、確かに男性に  
しかできないこと、女性にしかできないことは存在  
する。それを踏まえた上で、どちらも良いところを  
のびのびと活かせる社会になればいいなと思う。そ  
れが男女平等のカチではあるまいか。 ▼20歳代  
女性 無職 男性は男性、女性は女性にしかできない  
役割があるので全く同じことを同じようにというの  
は体力、力、器用さをとって平等は難しいと思う。  
その役割で補えない部分を支え合って平等だと思  
う。 ▼20歳代 男性 会社員 ジェンダーフリーとい  
う考え方をもっと理解できる社会ができれば良い。  
▼20歳代 男性 会社員 ワークライフバランス  
が崩れる可能性が高い。やったところで何?となる。  
▼20歳代 男性 会社員 何となくそう感じるだけ。  
男はこうあるべき、女はこうあるべきと決めつけら  
れている感じ。 ▼20歳代 男性 会社員 家庭内の役  
割は、なんだかんだ言って昔から変わっていないと  
思う。 ▼20歳代 男性 会社員 古くからの一般論が  
根強く残っており、性別による決めつけられた役割  
になっていると感じることがある。若年層の夫婦で  
は家事を分担し始めている。 ▼20歳代 男性 会社  
員 自分自身、男も女も関係ないと思っているが、心  
のどこかで男女平等には考えられていない部分も多  
い気がする。(家は共働きだが、正直大半の家事は奥  
さんに任せてしまっているなど) 職場では、子育て

中の母親の短時間勤務は認められているが正直見る  
目が冷たかったり、そういった人たちが働きやすい  
環境とは言えないことも多い。一方男は子供の関係  
などでは休みをとりづらい。 ▼20歳代 男性 会社  
員 女性の過度な優遇。 ▼20歳代 男性 会社員 男  
だから、女だから、で役割を振っているのではなく、  
出来ること、出来ないことで役割を振った結果では  
ないかと思いました。「イクメン」なんて言葉もあり  
ますし、最近では東京の小池知事といった例もあり  
ます。適材適所で良いのではないかと思います。 ▼  
20歳代 男性 学生 学校でのPTA会長が男性であ  
ることがほとんどであること。もっと女性が会長に  
なることでよりよい学校運営ができるのではと考え  
ます。 ▼30歳代 女性 その他・公務員や医者、表  
立って働く人は女性が少ないと思う。女性にとって  
は特に女医を切実に望む。・女性(子がいる)の働く  
環境が厳しいと思う。できれば福岡市のやりかた(T  
Vで知ったけど)をモデルにして何か作ってほしい。  
▼30歳代 女性 その他 いまだ、職場での役員やト  
ップである人物は男性が多く、女性の意見などは、  
あまり聞き入れてもらえない事が多いように思う。  
▼30歳代 女性 パート・アルバイト PTA等の参加=母  
親というのはあたりまえになっているが、この考え  
は変えていくべきと思う。 ▼30歳代 女性 パート・ア  
ルバイト これから人口は増える事は無く、減っていく  
だけです。高齢の方が増え、数少ない若者は常会に  
入らない人も増えています。自治会の役員等男女平  
等というより、今後は自治会自体が存続していく  
のか疑問です。そもそも「男女平等」の考えを持っ  
ていないのは高齢の方に多い気がします。そういう  
昔の考え方から今に至る訳です。男女共同参画を実  
現していくには、子供達を教える先生方に話をし  
て頂きたいです。子供達にそういう話を話すことによ  
って、これからの未来に偏見のない男女平等とい  
う気持ちを当たり前にした考え方の子を増やすの  
ではないでしょうか。 ▼30歳代 女性 パート・ア  
ルバイト 育児、家事、介護などのため、労働時間も収入も限  
界がある。生活は保育料も高いと感じ、苦しい。子  
どもを産みたくても産みづらい。妊娠したら更に働

けなくなると思うと、生活の為、妊娠できないと思う。強く。一人育てるだけで精一杯。▼30歳代 女性 パートアルバイト 育児休暇が2月に明けると、市内の園を紹介してもらおうと相談したが、未満が全くないの一点張りで取り合ってもらえず。自分で何とかしろと言われ、有明で受入先を見つけたが、当時職場が松本市梓川。送迎も何もかも1人でやらなければと思うと、出来る気がしなかった。結局正規の仕事をやめ、パートとして働いているが、年間収入は今までの半分以下。ほぼ園の保育料で終わってしまう。どうして母が(女) 追いつめられなければいけないのか。どんなに学歴があっても、仕事への意欲があっても行政は寄り添ってサポートしてくれない。それは女が仕事を続けるのはムリだと示しているからではないのか。私は悲しかった。▼30歳代 女性 パートアルバイト 家事は全て女の仕事とされていること。家族よりもまわりの人たちの考えが古く感じる場合があります。▼30歳代 女性 パートアルバイト 小学校の地区の役員を決める時に三九郎等、男手が必要な行事があるから女親しかいない家庭はダメと言われた。▼30歳代 女性 パートアルバイト 職場でパートなどより給料の高い人たちは(男性) 休憩以外に喫煙していたり、スマホをやっている人などいる中で、真面目に仕事をして頑張っているのに、時給で、高い給料をもらっているのにそんなことをしている人を見ながら仕事をするのがバカらしい。パートでも、きちんとやっていたらそれなりに給料がほしい。▼30歳代 女性 パートアルバイト 前職の場に男の仕事、女の仕事と考える人が居て、手を出しにくい場面がよくあった。▼30歳代 女性 パートアルバイト 男尊という地域性を感じる。▼30歳代 女性 パートアルバイト 平等ではないと感じるからこそ、力のいる作業は男性に。とか、細やかな作業は女性に。といった元々もっている当たり前のらしさも大切にしていける場も必要なのではないかと思います。▼30歳代 女性 パートアルバイト 別に平等でないことを不満に思っていない。男と女では造りが違うし、役割はあると思うので全て平等とはいかないと思っています。お互いが感謝を忘れなければ良いのかな

と思います。▼30歳代 女性 パートアルバイト 保育園の送り迎えの時、母親同士で話をしている、父親が送迎をしても、母親達に混じって話をしている所を見かけない。保育園の懇談会は9割以上参加者は母親だったりするので、やはり子育ては母親がすべきと考えられていると思う。▼30歳代 女性 会社員 お茶の用意をする・・・といえ女性の役割的な気がする▼30歳代 女性 会社員 安曇野市に限って言えば「小学校のPTA会長が男性」と決まっていることです。ただでさえなり手がいないのに男性と限ることで、できる人が半分に減ります。能力があり、状況が許せば男女どちらでもいいはず。でも、他の役員はほとんど女性がやっているのもまた不思議なことです。「PTAの仕事は時間に融通がつく専業主婦がやるものだ」とでも思っているのかと聞きたくになります。学校の役員でも地区の役員でも「仕事の休みは不定期で夜勤もあり、定時に帰ってこれない」という人が無理なくできるようにするべきではないでしょうか?もしくは安曇野市内では完全なるワークライフバランスができるよう、時間外労働は一切禁止するか、現状の働き方と旧態依然とした制度の在り方のギャップは、おそらく昔よりも男女を苦しめていると思います。▼30歳代 女性 会社員 会合などでも男性は座っていて女性が用意などに動く。▼30歳代 女性 会社員 共働きの場合、家事、育児は母親に負担がかかってしまう。特に育児。子どもの病気の看病等は母親が仕事を休まざるを得ない。(仕事のキャリア、職場への気遣い等女性に負担がかかる)▼30歳代 女性 会社員 結局、家庭のことは女性がという社会通念があり、女性を苦しめている▼30歳代 女性 会社員 仕事を探していた時に「若い子は結婚したら辞めちゃうからなかなか正社員として採用しにくい」という話を聞いた事がよくあります。また、子供がいると面接の時にどうしても「子供が熱を出したらどうするか」という質問をされます。(仕方がないので「その場合は親に預けられる」と答えましたが…) 男性も育児休暇や有休がとりやすくなれば、そんな質問もされないのでは、と現状はどうしても育児が女性についてきてい

ます。▼30歳代 女性 会社員 自分は産休中で仕事を休んでいますが、会社において女性の活躍の場をよく見かける。発言権やその影響力、昇進の機会等において男女の差はほぼないが、一方で女性がある程度の段階までステップアップしていくと、役職に就くことがない（選択しない）ように感じる。残業が増えたり、責任が大きくなることに対して物理的にチャレンジすることが難しいと思う。（家庭内での女性の役割が大きい）また、育児や介護など男性が協力的になってきているとは思いますが、夫婦間などで女性が働きに出て男性が家に居たりすると「めずらしい。旦那さんはすごい」などの声を聞き、そういった考えを耳にすること自体、まだまだ平等であるとは言えないと思う。

地域、自治体に関しては、まだ関わる機会が少ないため、特に意見はありません。▼30歳代 女性 会社員 女性は子育てで中心的な役割になり仕事が中途半端になりやすい。まだ世間的にも女性が家庭を守るとみられている気がする。▼30歳代 女性 会社員 不平等とは思いますが男に出来るとも思えないので時間の無駄。やりなおすよりはまし。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 ・共働きであっても結局家事は女性のものという考えは変わらない。・専業主婦は楽だというイメージは消えない。（楽ではありません）又、専業主婦はなまけもののイメージが強い。（共働きの主婦が偉くて専業主婦がダメみたいな）▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 ここに書いた所でどうにもならないので……。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 そもそも「平等」の捉え方に個人差がある。まず、これを統一すべき。生まれ持った性差がある以上。男女の役割に違いがあるのは当然と思う。「平等」の言葉のもとにただ等しい条件にするのではなく、公平を意識し、性差を活かすよう心がけるべき。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 まだまだ、家事、育児は女性のみが大変な事が多い。仕事を始めても、女ばかり負担が多く、認知されていない。専業主婦から職場復帰などする時にも、保育園に預けられない（仕事を探しながら預ける所がなく結局社会復帰できない）保育園に入るのに条件が厳しす

ぎる、結局前と変わっていない。もっと皆の意見を聞くべき。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 家庭でもそうですが、私たちの親世代は、女はこうあるべき、嫁だからと決め付けている。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 家庭でも学校行事でも、女性の参加がやはり多く、社会活動で平等、とまではまだまだ言えないと思います。人柄にもよりますが、やはり男性ともし仕事(役員)などでもめてしまった場合は怖いです。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 私の身の周り（特に地域）では、まだまだ男性の方が主役というか、表に立つ機会が多く、どうしても女性の方が裏方に回りがち。特に年配の男性は、女性は裏方という考えの人が多い。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 社会において男女平等ではないと思うけれど、女は出産等で仕事を休んだり、子供の行事で休んだりするので、平等でなくてもいいと思います。そもそも平等に扱うという考えそのものが男女の不平等を大げさにしているように思います。男女にとらわれずに個人個人への対応をきちんとしていればいいと思います。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 出産・育児をした後の社会復帰・どんな仕事につけるのか？子どもの行事ごと等の休暇をとることによってかかる職場への迷惑。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 女性は子供を産むのが当たり前という考え。人それぞれの考え方があると思うから。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 職場での勤務時間、曜日等の時間短縮労働の際、フルタイム社員の方から快く思われていないように感じる。男女の問題ではなく、この場合、同じ女性からで、その女性は50代未婚、子供なし、店長などではなく、一社員なのだが、はっきりと私に「フルタイムで働ける人を本当は会社は必要としている。」等、何の権限もない方に言われた。店長は男性で、むしろ非常に当方に理解下さっている。この場合、男女というよりも子育て経験があるか、ないかの違いによるが……。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 地方の小さな自治体ですし、高齢の者も多いので、男女平等ということが実際行われない・進まないのは仕方がないことだと思う。私は安曇野が地元ではないので、特にそう感じ

るのかも知れません。今妊娠中で、出産を控えています。義母から「子供が産まれたら、夜泣きする間は子供と2人で寝なさい。息子（私の主人）は仕事があるんだから、別の部屋でちゃんと寝かせてあげなさい」と言われています。主人と一緒に寝ると言ってくれているのですが、きっと義母の前述の発言も今回の例にあてはまりますよね？ ▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 夫の近実時間が長い為に、家事と育児をほぼ自分だけでこなしている。女性が家の事を担当するのは男性より向いているとは思いますが、100%となると負担が大きいし、子供の発達にも影響が及ぶだろう。労働内容・時間を短くする為に、異動か転職を検討しているが、そうすれば今度は収入が減ることになり、お金を選ぶか時間を選ぶかという問題も出てくる。妻（私）がパートに出ようとしても保育園の空きが未満児クラスでは近所に無く、諦めることに。昨年東京から家族だけで移住してきたので、頼れる親族もいない。せっかく素晴らしい地に自らやってきたのだから、もっと夫婦で仕事と家庭のバランスをとって楽しく暮らしたい。

▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 民間企業の産休・育休が短か過ぎる。働きに出られるものなら出たいが子どもが小さ過ぎて出られない。経済的に苦しいのに仕事を辞めなければいけない社会の仕組みをなんとかしてもらいたい。

▼30歳代 男性 会社員・職場の管理職は男性社会。古いしきたりは男性が優位になっている。安曇野市長や市の議会も男性社会。

▼30歳代 男性 会社員 安曇野市は子育て支援はまだ不十分。様々な面において優先順位を上げるべきだと思う。周辺の市町村と比較しても遅れている。県外も含めよい取組みを参考にして安曇野市に会うようにアレンジして取り入れてほしい。

▼30歳代 男性 会社員 子育て世代の女性は働きやすい職場が少ない。子供も預ける所も少ないし、預けてまで働くなるといふ風習もおかしい。（時代に合っていない）

▼30歳代 男性 会社員 正社員、パート、アルバイト関係なく、産休育休の日数を増やしてほしい。つわりのときに働くのは辛そうです。正社員、パート、アルバイト関係なく、育児休業給付金を多

めの皆同じ金額にしてほしい。

▼30歳代 男性 会社員 地域の役職は男性が基本引き受けるなどあります。年が上の方ほどそういう考え方かと思います。

▼30歳代 男性 会社員 地区によるが、考え方が古い。新しい意見を取り入れる努力が必要！！

▼30歳代 男性 会社員 特に育児において、女性の負担割合が大きいのが現状だと感じる。長期（3年程度）の育児休業の取れる企業が増えることを期待。

▼30歳代 男性 会社員 年配の方の理解が難しいと思います。特に60歳以上の年代。

▼30歳代 男性 公務員 消防団の勧誘が男性主眼ではないでしょうか？なぜ「女性消防団」があるのに「男性消防団」という呼び方がないのでしょうか？

▼30歳代 男性 公務員 平等平等というが、「機会の平等」なのか、「結果の平等」なのかによって全然話が違う。そもそも男女共同参画が目指しているものはどちらなのか。都合よく使い分けてダブルスタンダードになっていないか。「機会」か「結果」かあるいは使いわけるならその線引きは、それをまずはっきりさせてほしい。たとえば市議には女性が少ないが、「機会」は平等になっている。つまり市議になりたがる女性がそもそも少ないということ。女性側で望んでなりたがらないのに、「結果」を平等にする必要はない。

▼30歳代 男性 公務員 法律等、昔にできたものは男女平等ではないものもあると思う。政治の世界もまだジェンダーフリーとは言えない。マタハラ、セクハラは日常でもあると思う。

▼40歳代 女性 その他・夫の考え方。協力的ではあるが、収入が多い方がえらいと考えている。収入の低い方が家事負担が多くて当たり前、子供、家族のことで仕事を休んだり対応すべきと考えている。2、PTAの参加は母親が多い。参観日も母親。むかしの父兄という言い方や考え方から移行しているが、かたよりに思う。

▼40歳代 女性 その他 地区行事等では必ず料理など水場は女性のみ。それが当たり前という、男性もいるが、そこでずっとやってきた女性の年配の方々の意識が変わってくれないとどうにもならない。率先してやっつけてしまっているし、若い人達にも押し付ける。（自分はそうしてきたからと）

▼40歳代 女

性パート・アルバイト・共働きの家庭ですが、主人は残業で毎日帰りが遅く、家事分担など家庭のことは一切できない。古い家屋が残る土地なので、女性が自治会の役員・役職になる場合、何を言われるかわからないので、やりたくないと思う。▼40歳代 女性パート・アルバイト・職場において役職は大半が男性で占められている（能力に関わらず）・女性の評価は仕事ができるか否かでなく料理の出来や家事でされてしまう（男性の理想像にあてはめている）▼40歳代 女性パート・アルバイト パートから正社員になれない。（子育てのために会社を退職したのに、同じ会社では復帰しにくい）▼40歳代 女性パート・アルバイト パートだから、フルタイムより大した仕事をしていないだろう…という考え方をする人もいる。夕方帰宅し、子供のこと、家事etcをすることは当たり前かもしれないが、当然と思われていることが理解できない。男女平等でないと思う。▼40歳代 女性パート・アルバイト 家庭内での男女平等という考え方でまとめるのは難しい（社会もそうですが）主導的なのは母親になっている（我が家の場合）が、人それぞれ得手不得手があるので、お互いをサポートできればそれでよしと考えるようにしています。人は誰でも自分中心に考えがちなので、平等でありつづけることは永遠の課題だと思います。以前、学校役員を務めました、1年間とても苦痛でした。公立の学校PTAの仕組みに不満を感じます。会議は殆ど女性（母親）。男性（父親）も参加できる工夫があればと感じました。▼40歳代 女性パート・アルバイト 介護も女性がまだ多く、男性も積極的にやってほしい。▼40歳代 女性パート・アルバイト 近年？最近、男女平等だから・・・という事で、男性が何でも、どんな状況でも、女性に同じ事をやらせようとするところが納得いかない。平等と公平は違うと思う。▼40歳代 女性パート・アルバイト 姑と同居していますが、嫁は弱い立場だとつくづく思います。夫は仕事のみ、（家事は手伝ってくれるが姑は私がやらせているとされていて気に入らない様子）私は、家事、子育て、仕事、役員を掛け持って目が回るような忙しさですが（自分も過去のそういう立場にあったのに）姑は何も

してくれません。主人と姑は味方同士で、私一人が孤立しているように感じます。男女平等な社会とは程遠いと思います。若い人だけの家庭ではわかりませんが。▼40歳代 女性パート・アルバイト 公民館などの役員に「女性部」というようなものがある。すべての雑用や片付けなどを担当しているようで、主導権はないような印象だった。▼40歳代 女性パート・アルバイト 公立の職場では表向きは女性の地位は上がった。しかし男性と同じ量の仕事をして、家に帰るとさらに育児・家事をするのは女性のみ。結果、心身に支障をきたし仕事への影響が出てしまい、職場から「だから女はダメだ。」と言われる。男女共同参画を目指すなら職場だけでなく家庭でも完全に男女平等にしないと無理。特に家事をしたことない男性の意識改革が必要。▼40歳代 女性パート・アルバイト 子どもに平日の学校行事は男性の参加者は少ない。共働きの家庭でも、仕事の都合をつけ休み、学校に行くのは女性の方になっている。▼40歳代 女性パート・アルバイト 子供が病気で病院に連れていかなければいけない時に、仕事を休むのは女性。男性と同じように休むといい顔をされないのは一緒なのですが。▼40歳代 女性パート・アルバイト 子供の具合が悪いときは、母親が仕事を休んでいる。▼40歳代 女性パート・アルバイト 私が子供の頃から男女平等の社会ではなかったように思います。特に家庭では昔から女性が家事、育児をする事が当然、男性は仕事をしているという理由で家事、育児にはノータッチだったような気がします。そういう習慣を子供の頃から見てきている世代なので、今現在もそういった考えで生活しているのかなと思います。問6の行事・酒席では女性は裏方に・・・という事も昔からそうだったから当然だと思ってしまう。（昔の女性と今の女性は違いますが）今の女性は、ある程度子育てが終わると、どんどん社会に出られる時代ですので、男性にも家事を手伝ってもらえたら、ありがたいです。▼40歳代 女性パート・アルバイト 自治会の役員等は、忙しく家庭にも影響が出てくるものであり、家庭を担っているのがやはりまだ女性がほとんど（年をとるとよけい）だと思うので、男性がやるように

自然になってしまっていると思います。でもその方が、家庭への負担は減るわけなので、現状ではこのままでもいいのかもしれませんが。必ずしも平等にしなければいけないというわけでもないと思います。ケースバイケースで。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 女性を軽蔑視する方は、まだまだたくさんいます。女性のくせに。女だから。などと言った表現をされる方もいらっしゃいます。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 職場では男性の出世が優先されている。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 男性は「仕事」と言えば帰宅が遅くなるのも外出、外泊もすんなり。女性はそういうわけにはいかない。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 地区の役員では男性がなっていることが多い。副など女性の方がいれば女性の方から見て地区の状況や、ちょっとした立ち話で言われたことが活かしていけるようになると思うので。昔（自分が子供のころ）に比べれば男性もかなり家事、育児を行ってくれていると思う。子供のころからそういう教育を受けているか、母親がそう育ててくれたのか、奥さんに育てられたのかと思う。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 同じ時間で働いていても、家事は女性が担う。もしくは男性は家事を「手伝う」のみ（主体的に動かない）。地域活動の台所仕事は女性がすることになっているようです。社会活動は男女で考えるのではなく「やりたい人、できる人」がするという考え方はできないのか？▼40歳代 女性 パート・アルバイト 日頃から「両親（夫の）介護が必要になったら、仕事を辞めてもらおう」と夫に言われている。▼40歳代 女性 会社員 学校行事や地域の仕事などはほとんど女性で男性は見ない。地域の役は母子・父子家庭は関係ないと言われるので役員は母子家庭でもやっています。男女だけでなく個々の家庭の事情等はほとんど関係ないのかと思うと不安。仕事では平等だからと言って残業を毎日行うのは男女等におかしいのでは。男性は仕事があるからと子供の行事等に出なくていいといった感じがあるのに、女性が同じことをすると周囲の視線は違う感じがします。▼40歳代 女性 会社員 婚姻の、姓はどちらを選択しても良い法律だけど、男性の姓を選ぶことが多い。

▼40歳代 女性 会社員 子どもの行事に父親が参加したくても、仕事の休みがとれず参加できないことが多いと思う。制度が整っても、職場の慣習で制度を利用できない。▼40歳代 女性 会社員 子育てをしてその後、仕事をしようとする時、子供がまだ小さく、急に病気になり、休まなくてはいけない時など、周りの目が気になる。▼40歳代 女性 会社員 社会通念のことに関しては未婚者に対して、男性よりも女性に対して偏見があると思う。独身男性と独身女性と比べて給料は男性の方が多いのに税率に差がないことが平等ではないと思う。▼40歳代 女性 会社員 職場でのお茶くみが女性。そのかわり、力仕事など男性だったり、役割分担が出来ているのでは？！と思う。▼40歳代 女性 会社員 職場にてお茶入れの接客は男性社員は決してやりません。よって、女性は同時に休みを取ることができません（同じフロアで3人事務職）男性より早く出勤して、ポットのお湯を沸かすのが当たり前になっている。家庭では主人に良く協力してもらっています。私の親世代（～80歳）位が意識が変わらないと思います。▼40歳代 女性 会社員 男性→会社があるので地域行事には主に女性まかせ。女性→勤務実績があろうがなかろうが、主人が不在な場合は女性が担うべき風潮がある。逆に地区役員は、「女だから無理」は許容されるので、ケースバイケース。そもそも区単位の行事は時代に合っていないと思われる。今後の課題）いつまでも旧田舎的ルールは無理な時代になってきている。▼40歳代 女性 会社員 同居している。義母義父は昔の人。女が家事をすと思っていて、自分もそうだったという話をくどくどされる。とてもそういった考えを変えるのは難しいと思った。▼40歳代 女性 会社員 年配の方の中には、男だから、女だから、という考え方の人が多いように思う。▼40歳代 女性 会社員 夫が家庭の都合で休みをとるのは難しい状況があり、結局妻が仕事を休む事が多くなる。▼40歳代 女性 公務員 仕事が忙しすぎるため、ワークライフバランスがとれない。結局男性も忙しいので、家庭を夫婦でバランスをとって分担できず、女性がやらざるを得なくなっている。

る。▼40歳代 女性 公務員 仕事をしつつ子育て、家事をしているが、家のことをほとんどすべて自分でやっている状況。なかなかきついです…。▼40歳代 女性 公務員 場は問わず、年配者の固定観念を拭うことはできないと思う。▼40歳代 女性 公務員 地域の役割(役員など)を引き受けるにおいても、家事全般と仕事、PTA活動など、男性に比べて女性の方が様々な役割を背負っているため、活躍などは現実的には困難がある。▼40歳代 女性 公務員 同じよう働いても、やはり子どもの面倒を見るのは母親の方が多い。年休をとるのも女性の方が多く、上司の寛大さがない職場は、男性が進んで子どものために年休を取ることができない。いまだに子育ては女性がすべきと思っている男性が多い。▼40歳代 女性 公務員 保育士や介護に関する仕事、女性が多く就いている職種のお給料が、労力に対して少ないと思う。▼40歳代 女性 自営業主・家族従業者・女性(特に中年・年配の)の方が、女性の社会進出に否定的な発言や態度をとることがある。希望者を募っての啓発活動や教育活動に効力があるとは思えない。集う方々は元々関心のある人だから。関心の無い、否定的な人々の居る所に出向いていかなければ広められないと思う。学校での啓発・教育が確実に広められる方法だと思う。(小・中・高・専・短・大)・会社での啓発・教育をしたことを、広報に載せれば会社のイメージUPになるので企画してほしい。▼40歳代 女性 自営業主・家族従業者 学校での役員なども、決まってはいいないが、女性がするという流れができていし、地域などにおいても、男女の役割みたいなものができてしまっている。共働きの家庭が増えて来ているので、やれる方がやれば良いと思います。▼40歳代 女性 自営業主・家族従業者 男性だからとか女性だからとかではなく、家庭や地域の中でよりその人の力が発揮でき向いている人が活躍できて、周りも協力できればいいと思う。家庭の中で考えると、主婦は家事、育児、地域の行事、お盆やお正月に親戚が集まれば、日常生活+αの労働になるが、お給料が出るわけでもなく、そういったことは女の仕事、嫁の仕事と一人で忙しさを抱える

ことは現実だと思う。外で働いている人には休日がありお給料が出て生活力があるから偉いという考え方、お給料がもらえない主婦は家の事を全てやるのが当たり前でそれが仕事だという考え方には違和感を覚える。▼40歳代 女性 自営業主・家族従業者 問い6-5の質問がおかしくないですか？すでにこの時点で仕事をしていない妻に夫の協力は必要ないという思いが表れているように感じます。家庭は社会の一番小さい単位である以上、家庭のやりくりや子どもの教育については、男女共に等しく協力したり、関わるべきだと思います。PTAや地区の役員など、引き受けたからにはパートナーの協力なしには成り立たないのに。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 いまだに昔ならではの木戸などの慣行が普通に行われている。悪い事とは思わないが、女性にしわ寄せがきている様に思う。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 もともと、男と女は違うもの。全てにおいて平等を求めるのは間違っていると思う。やれる人がやれる事をやれば良いだけの事で、そもそも男女を平等に、とか言っている時点で男と女を分けて考えている証拠だと思う。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 主婦の時は家の事、学校の事、子供の事をやるのが当たり前になり、なかなか職場復帰は難しくなる。職場に戻っても降格などがあり、平等ではないと思う。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 少子高齢、人口減少社会にあって女性の持つ力の活用が極めて重要だと思います。国会議員、県議員、市議員、いずれも女性目線のほうがプラスになることが多いと思います。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 食事の用意は女性がするものだという事は、皆どこかで感じていて、変えることは難しい。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 男性は仕事に従事し、子育て、地域役員等に関わらない人が多い。その場合、同じく仕事をしている妻がこなしている話をよく聞く。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 役員を頼まれても、家にパソコンも無い場合、書類の作成も出来ない人もいる。役員が出来るなら、女性でもいいと思う ▼40歳代 女性 無職 社会(職場)が、仕事量を考えない限り、男女平等は無理だと思います。育児の協



力をしようと思っけていても、家に帰れなければ何もできません。▼40歳代 男性 パート・アルバイト 男女共同参画や男女平等の解釈の考え方が気に入らない。男女差別はよくないが、男女の区別はあっていいはずだ。男性は肉体的に力がある場合が多いし、女性の方が料理や家事が上手な人の方が多い。男女それぞれが得意分野を理解しながら役割分担ができればよいのであって、何でも平等にしようとする社会風潮が間違っているし、行政がそれを後押ししているのが恐ろしいです。▼40歳代 男性 会社員 PTA活動、地域活動の中で役割に差があるように感じている▼40歳代 男性 会社員 アンケートだけですべてを理解しようとするな。もっと見聞きして下さい。こんなの社会から優遇されてないと思っけてない人でも書きたいこと書ける。周りのとこなんて考えない奴ばかりだ。うそでも書ける。実体を知りたいのなら机上で処理しようとするな。そんなの表面上しか見てない証拠。▼40歳代 男性 会社員 そもそも、こういうアンケートを実施したりする時点で全く平等であると言えない意識が社会に定着しているのだと思っけて。子供の頃から性別にかかわらずいろんなことにチャレンジしていく考え方がふつうになってほしい。▼40歳代 男性 会社員 どうしても女性ということ、社会的に偏見がまだあると思っけて(重要な仕事等まかせられない等)▼40歳代 男性 会社員 どんな仕事にも男女平等に働ける社会になった方がよい たとえはトイレ掃除などで男女差別があるように思っけて▼40歳代 男性 会社員 育児をしながらの仕事を出る環境は、国・地域の制度では難しい▼40歳代 男性 会社員 会社での待遇や仕事内容に差は感じます。また「女性らしい」といったしつけや振舞を男性より多く求められるケースが多いような気がします。▼40歳代 男性 会社員 会社は女性管理者は不在です。自分に小・中学生3人の子供があり、妻は7:30~14:30のパートをしております。子供の帰宅に合わせた仕事を選ぶしかなく、朝早く、体への負担も大きい。自分はお出勤前に子供を送り出し、掃除にゴミ出し程度の家事を行っている。しかも夜の帰りは遅いため、妻への負担

は大きい。▼40歳代 男性 会社員 学校の授業参観、地区の行事など、女性の方が多く、まだまだ男性の参加は少ない▼40歳代 男性 会社員 懇親会等の地域の行事の台所仕事の為に女性参加を募る場合が多い。母子家庭については制度をよく聞っけてが、父子家庭の場合はどうなのか聞っけていたことがない。▼40歳代 男性 会社員 根本的な社会のしくみが男性社会として作られている。そのため、その社会に女性の進出を進めたとこで無理がある。男性社会の見直しが先だと思っけて。男性が育児休業を安心して取得できること；家庭の役割を担えるしくみが必要。女性の意識改革も必要であり、社会での責任をきちんと果たすこと。→都合が悪いと育児とか介護を理由に逃げてしまう。▼40歳代 男性 会社員 社会通念、慣行、しきたりによるところが大きく、変える、パワー、リスクを考えると現状維持を選んでしまう。▼40歳代 男性 会社員 女性(母)の方が、子供とのつながりが強い。そのため、働いている方は子供の事で仕事を休んだり、早退しなければならないので、職場での評価にも影響があると感じる。男性は仕事がメインで考える方がまだまだ多い。もっと家庭に入れる環境が必要なのでは?と思っけて。▼40歳代 男性 会社員 女性の側からしか問題にならない事は逆の男女差別では。▼40歳代 男性 会社員 女性向きの仕事は、収入が低く設定されているものが多い気がする。▼40歳代 男性 会社員 職場で、男性なんだから、ああいう事やこういう事ができないといけなると言われたことがある。女性でも決してできない事ではないが。▼40歳代 男性 会社員 職場にいて、女性は結婚や出産を機に部署を移動することが慣例となっておりキャリア形成しづらい。▼40歳代 男性 会社員 責任ある立場にある方は、男性であることが多い。▼40歳代 男性 会社員 地域の行事で、女性がやって当たりまえという役割がある。▼40歳代 男性 会社員 地域活動に女性の参加が少なく感じる事がある。▼40歳代 男性 会社員 賃金の格差、区長が男ばかり。▼40歳代 男性 会社員 能力が高くて女性も出世し辛い(職場で)。女性の意見に聞っけて耳を持たない男性が多い。男性が

育児のために、会社を休むことを理解されない。▼40歳代 男性 会社員 平等とは言っても現実問題として社会通念的に女性と男性では差があると思います。▼40歳代 男性 会社員 問6-7でも答えたように、地域の行事（お祭り・隣組）などで地元にて家から通勤している人が役員など参加し、地域外の仕事で収入をとって仕事をしている人が参加できない。定年退職されてから地域に参加するのでは、年齢格差が出たり、力仕事が出た時など腰痛持ちだからできない等、「差」が出る。収入の「差」も!!▼40歳代 男性 公務員 男女の役割を固定化する価値観や女性の社会進出を妨げる性偏見については嫌悪感を感じるが、男らしさを望む男性や、子育てや家事に専念したい女性の価値観を否定する動きになってはいけません。▼40歳代 男性 公務員 男女平等はムズかしい。一般的に「力仕事は男性にお願い」などもあり、どこまでが平等となるのかわからない。▼40歳代 男性 公務員 例えば、身体が不自由な人への対応が自己満足みたになっているようなケースがあるように思いますし、生き物としての機能みたいな部分で平等的に扱えない場合も有り、心がけていても感情的な問題は残ると思うので、難しい問題だと思っています。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 あなたたちは仕事としてアンケートを作っているのだから、実生活を知らない。言葉あそびをしているだけにこのアンケートを作っているとは思えない。あなたたちは予算でお金が出ているが、みんなは自分の力でお金を作っていることを知った方がいい。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 男女の性差がある以上、平等である必要性を感じられない。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 地域の行事や会合において、話し合いや役員は男性が行い、女性は祭事の準備や裏方をしている。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 都合が悪い時だけ「女性だから」ということを持ち出す女性が気になる。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 病院等で年配の男性が、待ち時間が長い等で看護師（女性）に文句を言っている光景をよく見る。▼40歳代 男性 農林水産業・家族従業者 問6-5共働きでは協力

し合う。とありますが、そもそも独身なら進んで家事、育児をしないとイケない。この質問自体、差別的で。▼50歳代 女性 その他 そもそも社会が平等ではないのに・・・。男女の平等とは何かを改めて考えさせられました。同じ仕事をして同じ評価は当たり前、女性の社会進出もいい。平等もいい。でも結婚して子育てするのが損な社会を作ってはいけません。▼50歳代 女性 その他 引っ越してきたばかりなので、安曇野市のことは全くわかりませんが、恐らく共通しているのは暗黙の了解で様々な場において自由な発言権を封じられる傾向があること。▼50歳代 女性 パート・アルバイト この時期の地区の役員決め・・・いつも苦痛です。地区の行事も参加する人は少なく、人権講習会などは各役員が分担して出席するなど・・・意味がないような気がします。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 何回か地域の役員を受けて活動しましたが、地域では常に裏方の仕事が多く、廃止してもよいと思われる行事等も多々ありました。尚、活動していく上で、家族の協力がなくと快く役を引き受けられないのが現状です。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 会社で正社員はとらないとされ、女性はパート扱いなのに、男性は社員として受け入れられている。パートは仕事時間の変更をするのはおかしいと言われたりする。男性社員には若くて子供が産まれたら給料を上げて、パートには家族手当すらない。工場が多いが、内容は男性は上位に置かれている感じがする。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 私の地区では、古くからいた人が地区の役員を占めている。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 職場で責任ある役になると残業もやむを得ない時もある。女性は家事、家族の事もあり、仕事に重きは置けないと思う。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 地域役員等、やれる状況にあれば女性でもいいと思う。ただし、介護等、これまで一切家事等をしてきていない男性に任せることが困難なため、女性への負担が大きくなってしまふ。男女にできることを分担することがベストとなり、男性が役員になっていることもあると思う。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 当たり前という考えがあるから改善しない。▼50歳代 女性

パート・アルバイト 特に年齢の上の男性は男尊女卑の考え方が強い。挨拶しても無視する男の人がいる。 ▼50歳代 女性 パート・アルバイト 役員会は夕方からの開催が多く、主婦が出掛けていくには、夕食の用意、洗濯物の処理、子供の事など前倒しの作業が多いため、家族の協力が必要なので、役員は男性にお願いしたいと思うのですが…男性役員が多い会議は、男性中心の考え方で進行しまいがちで…それはそれで残念。 ▼50歳代 女性 会社員 ・介護に追われるのは女性・義父母の考えは「女は家に居るもの。年寄りの面倒は嫁が見るもの」という考え方(現在同居) ▼50歳代 女性 会社員 すごい労働の差があるわけではなくても、男女の給与の差があると思う。職場でも家庭でもお茶の用意、清掃や洗濯は女性の仕事と決められている感じだ。 ▼50歳代 女性 会社員 家庭では、育児家事は全般、女性中心で男性は仕事中心。学校の役員は女性が多い。職場でも子供の具合が悪い時、女性が休むパターンが当たり前で男性が休むとイメージが悪く見られる。昔からの考えが根付いているのでなかなか変えていく事は容易ではない。 ▼50歳代 女性 会社員 建前と本音が違う。女性に対しての言葉のはしばしに女性蔑視を感じる。市役所に行っても女性に対しての対応と男性が言った場合の対応の違いも感じる。他の県外ではこのようなことはなかった。江戸時代にタイムスリップしたみたいでグローバルの社会の中でもっと勉強して考えるべきだと思う。 ▼50歳代 女性 会社員 今の40歳以上の男は、何と言おうと変わらないと思う。(そのように育ってきたから) ▼50歳代 女性 会社員 市政に関わる女性が少ないと思う。 ▼50歳代 女性 会社員 市役所では、役職に女性がつく事が多く、男女平等を感じるが、私の会社の中では役職に就く女性はひとりもいないので。又、給与面でも差別を感じる。その反面、女性が上に立つ為の知識等においては、女性自身も努力が足りないと思う。 ▼50歳代 女性 会社員 職場について、男性と女性とでは力の差もあり向いている仕事、向いていない仕事があると思うから。 ▼50歳代 女性 会社員 地域において、年配の方は男女とわず男性はこう、女

性はこう、と決め付けたものの見方をする方が多い。 ▼50歳代 女性 職業無回答 なぜか男性の方が指導力がある。 ▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 古くからの慣習にとらわれることなく、男性女性ともかぎらない可能性を活かせる機会があってほしい。女性の役職登用に関しては、本当に能力がある方ならよいが、社会的関心や数合わせに無理やり登用したりすることのないよう望む。 ▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 今までは子供の事に関する事は母(女性)が行事等主にやってきました。地区長、班長など地域選出の人は男性がやってきました。これも事務職など定年まで責任をもってバリバリやってきた女の人だってできる事だと思います。子どもの行事も、男性(父親、おじいちゃん)参加がもっとあっても有りだと思えます。私は姑から女の子を生んだ時「なんで女なんか生んだだい？私は男が良かった。女なんか何の役にも立たないじゃないか」とはっきり言われて、大変悲しい思いをしました。でも今の姑はそんな事思いもしないと思えます。教育は大事だと思います。 ▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 私の姑世代が第一線を退いてからは、男女の役割が少しずつ変化してきたように思います。 ▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 自治会や団体の代表者の仕事は、今まで男性の価値観で作られた制度や力関係の中で生まれるものですから、女性が役に就いたとしてもかえってマイナスになると思います。既存の制度や力関係を変化させることは望ましいことですが、男性にその意志がなければ不可能でしょう。 ▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 女性の政治家は視野が狭いなど言われる事が多い。また、都会に比べ、まだまだこの地域では、社会通念、しきたりなど、男女平等でないことが多く残っていると思う。ただ、子供にとって母親というものはとても大切で、幼子の間はその親子の時間を大切にとれる環境を整えることをお願いしたい。 ▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 女性は裏方であるという考え方は、中高年世代ではいまだ根強いが、若い世代ではドライに割り切って、介護は行政サービスを活用し、子育てでは同居や近くに住む祖父母に頼むなど、ちゃっかりしていると

感じる人が多い。今の50~60代は親の介護をし、孫の世話に追われ、将来は自分の介護は子供たちを頼れないであろう非常に割に合わない世代であるように思う。▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 身体上の理由で役割を果たせないで、男性が大きな役職となる地域で助かることもあった。▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 男性が出来る事、女性が出来る事が違う事も多いので、社会活動全般において、男女平等にしなければならないとはあまり思わないし、こだわらない。ただ、家庭でも仕事場でも男女協力して行動するのが良い事だと思っています。▼50歳代 女性 農林水産業・家族従業者 介護を家庭でする場合、汚物の洗濯は嫁がするのが当たり前という考えの人が多すぎる。夫に姉や妹がいても、口は出しても汚物の洗濯は1回もしてくれない。女同志でもこのような時代。男性と女性の関係となれば、なおさら女性の方が損する事、嫌な思いをする事は多い。▼50歳代 男性 会社員 男女共同参画という何かと「男が・・・」と言われるが、女性からの提案、提言も必要だと考える。男からの提案の文句を言う、ダメ出しをするだけでなく、前向きで男女両方を考えた提案を女性に期待する。▼50歳代 男性 会社員 7-1の7について、やはり年配の一部の方に、男性優位の考え方が残っているように思う（60代以上）。▼50歳代 男性 会社員 家庭では話し合いが重要と感じています。▼50歳代 男性 会社員 仕事はできるが、家庭の事情で休みが多くなる為、管理職になれない場合が多いと思う。日赤奉仕団→女性の担当 等々が決められている。▼50歳代 男性 会社員 自治活動や地域の役員等が当たり前に行われているが、現実では共働き社会の中で負担になっている。また、全就労人口の過半数がサービス業関連という所から、土・日・祭の活動については無理もあるかと思う。したがって、男女参画は否定しないが、まず優先課題として地域役員等への住民に多大な負担を軽減させる事が先決と考えます。▼50歳代 男性 会社員 収入面や仕事の評価など、男性>女性を感じることは多々ある。よって、家庭では男性が収入の柱となり、女性はパートなどで、家

事、子供の面倒（育児）を見ることになるパターンになる。▼50歳代 男性 会社員 女性の指導者が少ない。▼50歳代 男性 会社員 職場、家庭では少しずつ平等な雰囲気を感じるが増えてきたが、社会通念・慣行・しきたりはあまり感じられない。その様な中、全てにおいて平等、同じ社会活動でなくても良いと思います。（負担が平等であれば良いのでは？）▼50歳代 男性 会社員 昔からの考え方を進化出来ていないようなところがあると思う。もっと平等と言うなら性別など問う事はない。同じ人間と言う見方をすれば良い ▼50歳代 男性 会社員 大手企業でも男女の賃金格差がある。女性はなかなか出世コースに行けない。▼50歳代 男性 会社員 男女平等とは何かを。具体的に何かをもっと啓発することが必要だと思います。▼50歳代 男性 会社員 男性が育休をとると、会社では肩身が狭い思いを感じる。初任給、給与など女性の方が低い。女性の管理職が少ない。女性は家事、子育てをするもの。と言う男性が多い。▼50歳代 男性 会社員 男性に出来る事、出来ない事はあるし、女性にも。女性・男性の区別はする必要がある。▼50歳代 男性 会社員 地域の慣行などで平等でない場面は良く見られる。特に年配者の言動など強く感じることも多い。▼50歳代 男性 会社員 地域の役を改める時、世帯主が代表者になることが多く、その人ができない時は妻がいても、他の世帯主へ順番が回ってしまい、同じ人が何度も受けるようになってしまう、世帯の内義理への出席の際、女性が出ていっても世帯主がいなくてその後冷たい対応をされる。▼50歳代 男性 会社員 地域の役員などは、女性はできない。男性がやるのが当たり前という社会通念がある。男女共同参画社会の考え方は、年代に差がある。高年齢層ほど、意識が低いと感じる。▼50歳代 男性 会社員 地区の役員の依頼は女性をと指定している実態がある。▼50歳代 男性 会社員 町内を見ても、女性自身が「自分は裏方でよい」と思っている方がまだまだ多いと感じます。▼50歳代 男性 会社員 鉄道的女性専用車両。▼50歳代 男性 会社員 病院などでは女性の方が活発、元気。▼50歳代 男性 公務員

体力面での性差は当然あるので、お互いが認め合い尊重することで平等な社会が築けると思う。お互いを理解することが大切だと思う。▼50歳代 男性 公務員 地区役員を決める際に、慣行とかしきたりで男性が役員をやることが多い。もっと女性にも地区・地域にかかわって頂きたい。特に専業主婦の方に参加してほしい。▼50歳代 男性 職業無回答 以前は自分も男がやるべき、女性がやるべきとかの考えがとても強かったのですが、テレビ、映画、新聞などで男女平等の考える情報を見たり聞いたりする内に、自分も男女平等の考えがめばえてきました。これから先ももっともその考えが深くなると思いますが、一方で男性社会が長く続いてきたのでそれなりの時間もかかるなァーと感じます。▼50歳代 男性 無職・会社、職場に於いては、まだ女性に対する考えが不平等に思えます。これからは男女を問わず社会に進出すべきと考えます。国→県→市→企業がもっと女性を理解し、女性が進出しやすい場を作って行くべきだと思います。▼50歳代 男性 無職 現在特になし。▼60歳代 女性 その他 家庭内でも地域社会でもジェンダー性が打解されていない。これからは性にとらわれない活動（家庭内も含め）ができるよう意識改革の機会が必要だと思う。▼60歳代 女性 その他 子供のいじめ＝パワハラと同じ位あると思う。無くしたいですネ。▼60歳代 女性 パート・アルバイト・例、ボランティア活動以前と今の時代で変わっている。内容を見直し必要。

- ・公民館活動の内容も高齢者が多くなってきた。今に何が必要か考えていく

▼60歳代 女性 パート・アルバイト それぞれの仕事の内容や考え方によります。家庭において家族の理解や協力が無いと同等にはならないと思います。私の職場は小さい子供がいて保育園に行くとアルバイトに来ている人はすごく協力的で手厚くかばわれていて、社員の私から見るとすごく差別されています。アルバイトだからといってクレーム対応もないし、効率なども関係なく、自由に働いています。おしゃべりしていても注意されません。社員はなかなか有休もとれなく差別を感じています。パワハラなどを怖がっているように

も思います。老若や男女の差はどうしてもあります。体が違いますから、性格的の違いもあるから。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 育ってきた環境にもよると思いますが、男性は女性に対して常に上に居たいという意識が強いように思います。特に年齢が上がるに従い強いのでは。30代20代の息子夫婦を見ると全くそういうことはなく、何事も2人で意見を出し合って決め、お互いを尊重しあっているように見えます。まず、意識改革が必要ですね。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 今の家はほとんど共働きをしていると思うので、行事、家事、育児等は協力して行う。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 実際に家庭や地域の実権を握るのは高齢者です。その高齢者の考えが、変わらない内は、まだ無理だと思います。その子供もやはりその影響を受けるのは仕方無いと思います。社会が、根気よく根付かせるしかないと思います。共働きしていても子供を見るのは女性と言う人も多いです。家で夕食をお父さんが作っている家庭が、実際にありますか？たまたま、作る時があるだけだと思いますが。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 女性でも能力のある人はそれなりの役職につくべきだ。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 職場でも地域でも、どうにもトップのリーダーは、男性が多い。悪いとは思ってはいないが、女性側にも頼ってれば、楽だ、安心だという気持ちが少しあるような気がする。私の場合が、自分が育ってきた環境のせいだと思う。若い人に期待したい。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 男は仕事して帰れば家の手伝いと育児はしなくてよいという考えです。私が子育ての時は地域になかなか馴染めなく孤独でとてもストレスがたまりました。子供を安心して預けてでかけられるそんな所があったら1時間でも自分の時間がとれたらどんなにいいかと思ったものでした。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 男女平等と言いながらも男が決め女が従うが当たり前の考えあり。特に年配の人は、昔からの決め事を重くみる。女性の意見を聞こうとしない。▼60歳代 女性 会社員 ①まだ男が稼いで女が家を守るという考えが残っている。②「また女の先生か」というPTAの声。「女の先生は良く休

む」。③男は家族を食べさせるだけ稼がなければいけない。出産、育児のためには休職でなく退職した方がいい。退職すれば正規職員に戻れない。④シングルマザーの家庭への偏見。何でも男女平等はあり得ない。女でなければできない出産。3才児神話の浸透。▼60歳代 女性 会社員 現在、まだ昔のなごりが残っている気がします。力仕事など男性にはかなわない所がある。▼60歳代 女性 会社員 問6 7について・女性が自治会、地域の役員をする事に夫はこころよく思わない傾向はあると思う・女性が夫より前に出ることを好まないように思う▼60歳代 女性 自営業主・家族従業者 まだまだ女性の意見や他から移転してきた人の意見が通らない▼60歳代 女性 自営業主・家族従業者 家事・育児や介護は女がするのが当たり前という考えの人が多く、本人は頑張っているのに、それを怠っていると非難される。子供のことについては、母親のしつけが悪いと言われた。▼60歳代 女性 自営業主・家族従業者 家庭では女性の意見を聞かない。必ず「おまえは」という。▼60歳代 女性 自営業主・家族従業者 我が家でも、どちらかと言えば亭主関白の方だと思います。もちろん生活費を家に居れているのは主人なので、文句は言えないと思うんですが（働いていた時）外で一生懸命働いているのですから子育て、家事のことは全部やって当たり前という考えでした。でも、今の若い人達はもっと割り切っていますね、それはいい事だと思います。やはり、子育ては二人の子どもであるという事、お互い出来るところは助け合って育てるべきだと思います。また夫婦生活も、お互い話し合って決めて行けば家事のこともどちらがやってもいいと思っています。ただ、女性の方が細やかな気遣いや目の前の事にはすぐに動けますが大きな目で世の中を見る力は（もちろん人によって違いがあると思う）男性より少し劣っていると思うので、全て平等という事にはならないと思う（その人によって向き・不向きがある）。▼60歳代 女性 自営業主・家族従業者 全てが平等という事ではなく、男性、女性に関わらず、その場における個人の能力・性の能力に似合った評価をすべきだと思う。平等ではな

い事例もありでいいのではいか？と思う。▼60歳代 女性 自営業主・家族従業者 地域の役員で上に立つ方は、男性と決めている事。▼60歳代 女性 自営業主・家族従業者 地域の役員など特にそう思います。▼60歳代 女性 職業無回答 結婚などに関して差別を感じる。男性主体が多く、女性が発言しにくく感じる。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 これからの若い人は、すべて男女平等でやってほしいと思います。が、我々60代は、どちらかという主人に頼って生きてきましたので、少しもったいない事をしたなと今になって思っています。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 安曇野市全体に男性のトップリーダーが多いと思う。（地区、企業、その他の職場）▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 現在、働いていない為時々主人にパワハラを受けている。「1円も稼げないくせに」「のうのと、ただ何もせず生きていて気楽なものだ」「外の雑草とりより家の掃除だろう」と数えきれない程のストレスを感じる言葉が多すぎる。主人が仕事で受けているストレスを「働いていない主婦」に対し返す形になっており、根本は忙しいストレスで重労働するはけ口が無い為不満が家庭に向けられているのかも考えられる。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 今頃ですと、雪かきなど、いっしょにしてくださる方もおりますが、自宅前も雪かきせず見ているもする気がない方。自宅前だけという事もできず、雪が降る度に道路だけでも20cmぐらいはしなければならぬ。（せめて休みの日ぐらいはと思うこともあります）。私の家だけでなく、玄関先や近くに犬の散歩で尿をされ、フンも置いていく、庭は猫のトイレになってしまい、自分の家が汚れなければ良いという人が多いように思う、真面目な人が何も言えない事が多い。相手を思いやる心が大切だと思います。それが不平等をなくすことだと思います。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 子育ては妻・夫でやる事は当たり前であるが、男性女性は皆同等ではあっても同質ではない。子育ては女性・男性の持ち味でしっかり育てて下さい。脳内物質が異なるので気が付く箇所が違う。生活についての気づき方は、多くは女性の方がすぐれているので、子供

のしつけ等細やかな部分は女性が適していると思う。今、女性の活躍が素晴らしいが子育ては本当に大変だし仕事を持つ女性は皆大変。これに対する温かい言葉や家事へのサポートは男性がやって当たり前です。男は厨房に入らず、延々と続き、是正されそうにない。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 自治会に入らない世帯が多すぎると思う（30代世帯）区費や役員を避けるためなのか、疑問に思う。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 女性が女性の味方ではない。女性が女性の足を引っ張る、古い考えの女性が多い。若い女性を育てた方が良い。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 女性でも能力のある人は、積極的に出て頂くことで女性の立場の改善に繋がると思います。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 男だから、女だからと言うのではなく、地元の間人だから、移住者だからと言うのではなく、自分がしてほしいと思う事を他人にも出来る社会になればと思います。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 男女平等が全て良いわけではないと思います。男性の役割、女性の役割それぞれ大切なこともあります。家庭は特に父親の愛情と母親の愛情はそれぞれ違い、両方が合わさって子育て・家庭を築くことが重要だと思います。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 男女平等な社会はなかなかむずかしい。制度がととのっても各々の中にある古くからの考え方に支配されてなかなか前にすすめない面も多い。制度を作るのも男女同一の比率ではないので、そこから問題があると思う。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 地域の集会など女性は自分の意見をはっきり発言しづらい状況にある。女というだけで、ひとりの人間としての意見という見方をしてもらえない。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 隣組の法事などで主人が仕事で出られない時主人の代理で出席と隣組の1人に「何で父ちゃんが出席しないのか？」と言われ女性では力不足で、相手に失礼と受け取られるような発言をされ、不快な気持ちになったことがありました。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 例えば地域の役員を決める時も習慣からでしょうか、男性で当たり前という考え方の様な気がします。又、会議や行事等、男性の出席、女

性の出席と分かれることもある。▼60歳代 女性 農林水産業・家族従業者 許せる範囲で男女共、若い内から仕事に励み、職場内、地域内で知識、教養を付けた中、活動が自然と身に付くような環境の中で育ち、育てられて行く事が大事な事だと思う。男女と言っている事自体が差別用語の気がします。▼60歳代 女性 農林水産業・家族従業者 男性は婿として結婚すれば、養子となり、相続を受けられるが、女性の場合そうではないところ。▼60歳代 女性 無職 あまり意識的には考えませんが、年代によっても異なってくると思います。私たちの世代は感じる方が多いと思いますが男女平等も夫婦の間での理解により少しは違ってくると思う。若い人達はこうと言うわけでもなく、せざるを得ない時代になっている。特に思うには、私自身も同じくですが、もう少し世の中の事を知る必要があり、知識を学ぶことも大事な事であるし、少しでも知己での共同の中で学ぶことの大切さを思います。男性も女性も女性でしかできない、考えられないことの大切さを知っていると思います。共に歩みより学び合い感謝の気持ちで過ごしたいと思います。▼60歳代 女性 無職 この年（65歳）になりますけど、家事は女性の方がするものだと、私も夫（68歳）もたぶん思っています。家庭で小さい時から、男女問わずお手伝い等して、一人でもなんでもできる大人になるようにした方が、将来本人も、パートナーも楽しく生活できると思います。そのような教育が必要だと思いません。仕事の面では、私は女性の職場で、男女共に働いた事がなく、よくわかりません。男・女はもちろんですが、人に対する思いやりの心が大切だと思います。▼60歳代 女性 無職 むりやり役員に選ばれ、たいへんでした。▼60歳代 女性 無職 現職時代、給料の手当部分に差があった。遺族年金も、夫の年金はもらえるが、妻が死亡したときは、夫はもらえないと聞く？家事はどうしても女性中心となる。長年実施しているので、今、交代は無理がある。若いころより（結婚時）やる事が大切と思う。その点、今の若い人々は共にやっている人が多い。▼60歳代 女性 無職

天下り。▼60歳代 女性 無職 夫、子供のいる女性が仕事を持っている場合でも、家事を全て引き受けている家庭が多いと感じている。疑問に思うが間違いないのか？意識を変えるべきだと思うのだが。▼60歳代 男性 その他 県外からの移住（とはいえ、もう30余年になります）教育県長野というイメージで来ると、存外、たいていは訳もなく男がエラそうにしているなあ・・・。と思い続けています。たぶん、教員さん方がエラそうだからそうなる・・・。というのが私の考える原因です。特に、退職教員さん方の妙な空エバリは、目に余りますね。▼60歳代 男性 その他 地区の区長・公民館長等、女性でも出来る人はいるが選考しないし、女性の方も消極的である。市役所でも、もっと女性登用を推進の宣伝をする→区の役員等(女性管理職は能力がある人は市役所でもやる事)。JAの女性総代のように何%とか半強制的にしても良い。▼60歳代 男性 その他 長野県の人には伝統的なことを重んじる傾向が見られ、保守的な考えの人が多くではないかと他県から来た私としては思いました▼60歳代 男性 パート・アルバイト 行動、考え方しっかりした女性は多い。社会に積極的に出ていくべき。▼60歳代 男性 パート・アルバイト 社会活動全般において、まだまだ女性が仕事と家庭を両立できないでいると思います。▼60歳代 男性 パート・アルバイト 親の介護、子育てをみれば女性の負担が多いと思う。家族で話し合い負担の軽減をしてできるだけバランスをとっていききたい。▼60歳代 男性 パート・アルバイト 平等と表向きは言っている現実何かと女性の方がまだまだ立場が弱い感じがしてます▼60歳代 男性 会社員・職場→昇格について男女の差がある。女性の仕事内容に差がある。・地域→慰労会などにおいて、女性が準備・盛り付けするのは当たり前という観念がある。・政治→地方では、女性議員だからと軽く思われている面があると思う。▼60歳代 男性 会社員 あまりにも男女平等と訴えています但未だ女性全体がその意識がないと思う。最後には女だから、女にそんなことさせるの？という言葉が出る。しかし日本ではまだ社会全体がそのレベルには無いと思う。急がなくても良いと思

います。▼60歳代 男性 会社員 銀行に女性支店長が着任した時、地域の人が「この地域を軽く見ているのか」と言っているのを聞いた→その後女性支店長の努力で払拭。農協の支所長に女性が着任した時「これからこの地区はどうなるんだい」と不安げに言っていた。地区の役員は、男と決まっていると皆が思っている。中にはできる女性もいるのだが。経済が地域（昔は結婚式、葬式も地域が助け合ってやっていたし、そうせざるを得なかったが）から家庭になってきて、地域に出ていくのが面倒になっている。▼60歳代 男性 会社員 自分は都会からの1ターン者です。20数年前にこちらに移り住みましたが、その頃より長野県の女性の地位は低いと感じていました。男性の意識はその頃よりあまり変わっていないと思えません。こちらでは伴侶を「嫁」とか「うちの嫁」のように表現しますが、都会ではまず言いません。いまだになじめない言い方です。▼60歳代 男性 会社員 社会活動全般において男女平等な社会が良いが、女性の能力がなければ平等にはできないと思う。▼60歳代 男性 会社員 社会的には男性優位の風潮があるが、公の役員を見ると、女性は全ての年代が積極的に参画している状況が見られるが、男性は殆どが定年退職後の高齢者が多く、若い人や仕事をしている年代の参画が少ないように感じる。直す方がよい。▼60歳代 男性 会社員 女性の社会参画意識、意欲が足りない部分を参加、貢献したいという意識があってもその力を十分に発揮させられない社会の両面がある▼60歳代 男性 会社員 常会や公民館の役員がずっと若い人になってきている。そんな中、70代、80代の年寄りが昔の経験から口うるさいことを言うので役員のみなり手がいない。年寄りには、前向きなアドバイスはいいが、文句は言わないようにしてほしい。▼60歳代 男性 会社員 職種、賃金(待遇等)。▼60歳代 男性 会社員 男女の給料の格差。職場でなにかと私は主婦だからと言う。▼60歳代 男性 会社員 男女共同参画を学習してきている年代が中心になってきているので、昔と比べ意識は変わってきているが、現実には子育てや介護は女性による所が大きいので、支援体制の整備



が必要。元気な安曇野を作るには女性の力が原動力。  
▼60歳代 男性 会社員 地域役員は平等ではない感じがする。  
▼60歳代 男性 会社員 地区女性部の年間行事に公民館等の掃除があります。年3回くらいです。隣組夫さん全員でやれば早く終わるのに以前から思っているのですが、妻も同じ考えなのですが、なかなか言い出せなくて今日まで来ています。ずっと前から続いている事なので、誰も疑問に思わないのかな、ちなみに私たちは移り住んで20年を過ぎました。  
▼60歳代 男性 会社員 都合が良い時、悪い時も(男女平等)で、ごまかしていることが多い。本来女性は肉体的には男より劣るのだから、その点での男女平等は無い。肉体的にハードな役割は男性が率先するべき。母親(小さい子のいる)は夜の会議等の役員会に出すべきではないと思うので、出来るだけ役員選考から除外するべきと思うが、(皆がやっている男女平等)で強引に登用される場面が多いと思う→女性は40代後半くらいからがベスト。  
▼60歳代 男性 会社員 乳幼児をかかえた若い母親等が出産以前と同じ職場復帰する事が保育所等の関係でなかなかむずかしい。父親の育休も実際取りにくい。  
▼60歳代 男性 公務員 自治会とか区の役員の場合、女性の意見はあまり聞きってもらえない。学校の役員、行事についても、女性の方が子供が喜ぶ。我が家では掃除、洗濯は男がたまにやっている。力仕事を女性にやらせるのは無理だと思う。  
▼60歳代 男性 公務員 日本には男性優位の文化がある、これを全面否定するのではなくて(むしろ難しい)、自発的な形での「平等」を目指したい。なんて西洋的は根づかない。  
▼60歳代 男性 自営業主・家族従業者 具体的には男性が家事をする事の抵抗感をなくすことが大事だと思います。仕事と家事のどちらも、同じように大切だと考える価値観があつてこそ、男女平等な社会に向かっていけるでしょうか。  
▼60歳代 男性 自営業主・家族従業者 女性は雑用が多く下積みだ。  
▼60歳代 男性 職業無回答 社会全般に感じます。  
▼60歳代 男性 農林水産業・家族従業者 もっと女性が自覚すべき。  
▼60歳代 男性 農林水産業・家族従業者 近年男女平等の意識は強く

なっているが職場では女性の方が責任感に欠ける。女性の方が世代を越えたつきあいができにくいと思われる。  
▼60歳代 男性 農林水産業・家族従業者 女性の子育ての負担を少なくする為に、保育園等の施設の充実、金銭的な支援が重要で、働く場所を増やす。(子育て支援)  
▼60歳代 男性 農林水産業・家族従業者 男でも女でもできる人はやる、できない人は極力頑張る、これで良いと思います。当地区において区の仕事を頼まれた方はそれだけで気に病み、自分の農業すらできない状態におちいつています。まとまらない文章ですが、無理せず無茶せずゆっくりと男女共同参画に向かっていきたいと思いません、長い間に作られた習慣を変えていくことはなかなか難しいですが。  
▼60歳代 男性 農林水産業・家族従業者 地域役員については、現状では多すぎると思う。男か女ではなく、適性が有るか無いかで判断するべき。  
▼60歳代 男性 無職 重要度の高い役員は(会社、地域も)ほとんど男性が選出されている。神社や祭りに関することは、男性が中心になりすぎている。女性の参画で、伝統の継承がされやすいのでは。  
▼60歳代 男性 無職 出産による退職をしなければならない。1会社の不理解、2社会制度の不備、3生活の保護・子育て支援の不足母子家庭の貧困。1社会制度の不備、2職場・企業的不理解。  
▼60歳代 男性 無職 女性の公民館長、区長、市長などもっと出て欲しい。  
▼60歳代 男性 無職 女性の政治家が少ない。家事全般を女性がやるのが当たり前と思っている人が多い。職場でも、男性の方が昇格等優先されている。地域の会合、行事等がある場合、女性は裏方に回っている。  
▼60歳代 男性 無職 職場では男女平等とは言っているものの、未だ男性主導の元、配置や賃金で行われている。  
▼60歳代 男性 無職 職場の経営者層、管理者層の意識が低い委。これが原因で、育休の申請や職場復帰の困難に至り、結果として男性の育児・介護への関わりが少なくなっている。  
▼60歳代 男性 無職 地域の各役員体制の中で、男性、女性でなければならないような通念で出来上がっている。例えば神社の氏子役員等は男性のみであるし、保健師やケアマネージャ

ーさんは女性が多数である。区長や社会福祉協議会長は男性が多く、日赤奉仕団等は女性が多い。▼70歳代 男性 無職 地方では、昔からこうしたもんだという暗黙の役割分担（男女）がある。これらは明確な理由はないが、かといって、すべて悪いともいえない。祭りにしろ、正月行事、盆行事にしろ、男女の分担が明確だから良しとすべきところもあるが、一般社会では、バスの運転手、消防士、自衛隊などへの女性参加が増えている。官公庁、一般などいろいろな分野でこれからは、女性ならではの参加の方法を工夫すべき時代になってきた。少子高齢化と併せて考えたい。又、男女高齢者の活用も大切である。十分に能力を持った高齢者（働きたいけど職場がない）もたくさんいる。▼70歳代 女性 その他 社会通念が男性が有利的に見える。▼70歳代 女性 その他 女性の意識改革 男性に任せておいた方が楽だから、等。村の役員は男性主体が当たり前。習慣に従った方がいいというのが実情。女性の適任者がいたら押し出して女性も後押しするようにしなくてはと思う。男性の協力がまず必要だと思う ▼70歳代 女性 その他 男女共同参画については、ずっと以前から目にしていましたが、私の住む地区では、反映されているのかは疑問に思います。自治会の役員は、年の順に（男性で）、対外役員（JA）も男性でが現状かと思います。閉鎖的考え方が多い様に思います。問い21の3、情報提供や啓発、問い22、3は呼びかけが大切かと思います。▼70歳代 女性 パート・アルバイト 会合等の意見で女性の発言を軽く聞いて重視しない所がある。▼70歳代 女性 会社員 行政、議員、企業の上級クラスなどの女性のしめる割合が少ないと感じます。それは法律や制度の充実と幼少からの家庭や学校教育の中で人としての生き方を男女ともに話題や教育として続けて行くことが大切と思う。そのことによって家族どうし、また他人とも理解し合えるようになる。▼70歳代 女性 自営業主・家族従業者 夫の年代では、男女共同参画と言っても「今さら」と考えを改めそうもありません。私も波風を立てたくないなので、時々嫌味を言う程度で家庭内の共同参画は諦めています。職場では私の

若い頃とは格段に良くなっていると思います。▼70歳代 女性 自営業主・家族従業者 保守的な地域だと思う。代々続くプライドが意外と高く新しいものが目に見えて入らない気がします。▼70歳代 女性 職業無回答 女性は子育てをし、家事をやり、それに仕事までついて、男性よりすごきたいへんである。男性の仕事に打ち込めるのは、家に奥さんがいて何もかもどうぞというようにやってくれるために勤められるのだと大きい声でさげびたい。いかに女性がたいへんだと言うことを・・・▼70歳代 女性 専業主婦・主夫・男女平等は職業にもよります。今の日本、男女平等よりも、生活の不平等が多すぎると思っています。国、県、地方公務員の優遇、休みの多い事、何とも悲しいところです。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫・地域にもよると思うが、女性がトップ役員だと、人間関係が難しいと思う。まだまだ、女のくせに生意気だとか言われると思う。・全員の意見をまとめるのは、いざという時、決着する場合、半ば強制的にやれるのはやっぱり男性だとスムーズにまとまると思うが、女性がよほど強くないと難しいと思う。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫・同等と思いたい理想はあるが、「女性として女性の分野である」と固定観念で動いてしまう。・家庭においても影の力、当たり前として働く気持ちが高い▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 70年の専業主婦として生きてきて、いい妻であり、いいお母さんでいることだけで人生を送って来てしまったようです。後悔はありませんが、社会がもっと女性に開かれていればもっともっと世の中の役に立つことをしたかったし、挑戦してみたかった。次の人生があるとしたら自分の人生を生きたい！▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 どうしても男社会です。女のくせになど、よく聞きます。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 もう年齢的に高齢になってきて余り表に出なくなって消極的になっている自分に気がつきます。常会などの集まりに参加してみると、男の人たちも一生懸命和気あいあいと協力しあっているのを見ると、私たちの若い頃と大分変わっていると思います。女性が社会に進出するのが当たり前で男の人の考え

も本当に協力的になってきていると感じています。

▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 安曇野市に住むようになってまだ年数が浅いので細かいことが分かりませんが、今の状態がこのまま平穩で進んでもらいたい。景観、しきたり等教育には今以上の力を入れて、小中学校をレベルアップに向けて欲しいと思っています。

▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 我家では娘、息子夫婦それぞれ共働きをしております。それが可能になったのは、保育園等の確保、職場での育休制度が充実していたからだと思います。但し家庭においてはどうしても女性の方に負担がかかっています。夫が管理職である為か帰宅時間が遅く、家事、育児は80%位が女性にかかっていますが…。負担が50%ではなくてもお互いに出来る事を話し合いながら生活出来れば良いと思います。問6 7については、夫の理解が最大であると…（社会通念、慣行、しきたり）なかなか改められません。女は家への思いが強くて。

▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 学校とか地域の役員を決定する時にはその分野の知り合いが集まって前もって根まわしを行いすでに決まっていることが多い。多かったというべきか現状はどうなっているか知らない。

▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 高齢でも、地域の役職を引き受けても、責任感を持ちやる気になって、自分の為にもなる。

▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 高齢の男性の中にはまだ女性は食事を作り、家事全般をきちんとするのが当然の事と思っている人が多いように思います。

▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 人にもよりますが、男の特性でもあるのか、女から言われる事に抵抗を感じるらしく、意見を交わし合うことを好まない。今の子供達は教育現場で教育されているので、これからは変わっていくと思う。職場の体制が女性対応になることが難しい？対応が進む会社が増えてほしい。地域の会合に女性を参加させる事、女性も興味を持つ事、年齢にも関係すると思うが、若い人達は少しずつ平等に近づいていると思う。

▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 昔は嫁の立場で、農作業と子育てをやりながら仕事でしたが、今は保育園などへお願い出来るので、良い事です。農家にし

ろ勤めの人にしろ、お互いに手を出し合ってやる事です。

▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 男女共同参画社会になるのは昭和50年以後に生まれた男性達からは苦勞ないと思っています。現在の50代は努力し、それより年長者は苦勞しても無理でしょう。こちらが疲れます。若い人達に希望を託しています。

▼70歳代 女性 農林水産業・家族従業者 今まで区長、副区長、各種役員は男性です。又、神社や寺役員等も同じ。女性は男性に家庭でも教育面でも協力して欲しいといつも思っています。男性の方は、プライドが邪魔する。不器用。一歩から始めてはいかがでしょうか。女性だって小池都知事さんのような方がいるかも！

▼70歳代 女性 農林水産業・家族従業者 社会通念と慣行、職場などなど平等とは思えないことが多々ある。

▼70歳代 女性 無職・市議会放映野次がとび女性議が思うように話す事出来ず場面あり静かに話を聞く。・新築若い人達仲間入りしいろいろの面で簡素化される中長老人の一声で間に立った組長はこまる事が多くなってきた。・あらゆる職場、家庭、地域における人間の頭の柔軟性望む。

▼70歳代 女性 無職 10数年前に市外より（東京）引っ越して来ましたが、色々な場面で今で言う「いじめ」（パワハラ）とも思える場面が色々とありました。あの家の女は何様。地域になじんでいこうと思って、その都度、がまん和努力を重ねました。今は地域の皆様と仲良く出来て又、公民館等、他色々な会の会長にさせていただいてます。市外より転居する家が増えています。親切にしたい。ここは昔からとか、300年前も続いていた地区とか（確かにそうですが）生意気だと！！女のくせに。ひどいときは「どこの馬の骨（？）とか？住みにくいと思いましたよ。具体的に書けなくてすみません。

▼70歳代 女性 無職 家庭では主婦の力が大切。子供の為にも母親は大事。

▼70歳代 女性 無職 今までが男社会であるため。

▼70歳代 女性 無職 自治会の役員は本当に必要な役なのか、旧来のまま継続してきていることが多いのではないかと。高齢化が進んでこれらの役をこなせないと思う。自治会は市から補助を受けているのであれば、本当に必要最小限の活動に留めるべ

きで、その他の活動は同好会にすればよい。▼70歳代 女性 無職 昭和の時代からしたら現在では男女平等の社会になって来たと思いますが、まだ村社会では女性の意見が軽く受け止められる事も多いと感じます ▼70歳代 女性 無職 常会長、区長、宮総代等女性があまり見られない。▼70歳代 女性 無職 地域で高齢者同士と一緒に仲良く生活できる場所があればよいと思う。▼70歳代 女性 無職 長男夫婦と同居していますが、自分が育てた子供と思えないほど、休日はエプロンをかけて「ババなにたべたい？」と家族のごはんを作ってくれます。2人の孫は、この姿を見て、当たり前のように育っていくのでしょうか。長女夫婦も同様で、婿さんは料理大好き人間です。▼70歳代 女性 無職 民生委員が男性の時と女性の時では地区の役割が違う。新年会が男性と婦人分が別に行う。経費のむだ使いだと思う。▼70歳代 男性 その他 ・年代間における男女共同参画に対する理解度にかかなりの差がある。・将来的には若年層から男女共同参画の理解度を進め、長期的に改善していくのがベターと思う。▼70歳代 男性 その他 なぜ今頃このようなアンケートをするのか。安曇野市民に男が、女がというような考えを持つ人が多いのですか？遅れているのではないのですか？男女共同参画等はもう当たり前ではないのかと思う。今更問題にすること自体がおかしいと思う。▼70歳代 男性 パートアルバイト 女性の議員や役員を増やす制度を作った方がいい（日本は少なすぎる）▼70歳代 男性 会社員 現在は男女間に差はありません。特に病院に行けば働いている人は女性が多く見られます。地区の会議も女性の出席が多いです。ただ、育児、介護は男性より女性の方が性格上向いているので、その時期は男性女性は差があります。男は働き、女は家にいます。▼70歳代 男性 会社員 問7-1の分野のごとく、男・女の体力差、男女それぞれ持った本来の感性の違いから一概に「男女平等」は語れず、それぞれの分野での「男女平等」を議論しないといけないと思います。併せて平等の意味を議論してはどうかと思います。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 1 男性上位（優位）があ

りまえ（美德）と考えている人が多いと思う。特に年配者（親）にその感が強く子供の自立を妨げその結果平等性を失っているのでは・・・親バカ的思考。2 酒席等に於ける裏方仕事については女性にも責任の一把があると思う。率先してやるのが「良し」とは思わないが男性にも声をかけたらいかか・・・。3 女性は全般的にもっと声を出してほしい。「有言実行」的行動を多くしてほしい。決して恥ずかしくないから、女性の「こまやかさ」等を活用してほしい。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 70歳過ぎの人達には、家庭では女が内を守るもの。子供を育てるもの。職場では雑用に精を出すもの、外に出たら静かに出しゃばらないもの、等のイメージが消えていない。頭ではわかっているけど割り切れないものだ。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 宴席や地域の会等では必然的に女性が容易や片付け等まだまだ平等でない。若い者が積極的に行動する事が望ましい。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 自治会、地域の役員に私の方では女性の区役員も出ているので良い事と思われる。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 女性が前に出過ぎないこと。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 女性は自ら役員等の引受けを拒否する人がまだ多い。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 退職したものです、以前の職場は管理職は男性が90%以上、女性はわずかでした。制度はあるのですが、実情はなかなか進まなかった。法律や制度も整いつつあるが、実態はなかなか進んでいません。▼70歳代 男性 無職 ・労働内容が等しければ、賃金も同一にすべきと思います。（同一労働同一賃金の考え方）・女性政治家がまだ少ないように感じます。▼70歳代 男性 無職 1若いころは音は勤め、妻は家庭・子育てが当たり前とっていましたが、今は、それが間違っていることを感じます。2職場での女性管理職が少ない事、地域においては区長の女性が極めて少ない事なども問題化と思います。3地域では女性役員が少なく、又、なり手がありません。▼70歳代 男性 無職 いまだに差別あり。賃金・給料の差別あり。女性の長生きあり、も

っと力を出せる環境を。▼70歳代 男性 無職 家事、仕事、行事等にみられがち。▼70歳代 男性 無職 家庭は5世代4…1世代でも共同生活であり、子供の頃からしつけの1つであり教育していく。学校にもとりいれてください。▼70歳代 男性 無職 過去からの社会的な慣習から男女の役目等が身体に染みついていると思える。この事により職場であり、社会的に対応する場合でも、男の仕事、女の仕事と本人も周りもその枠から脱皮できない状況であり、子供の頃からの社会的概念を打破する教育が必要と思える。▼70歳代 男性 無職 区長、役職、男性が多いです。▼70歳代 男性 無職 国、県、各市町村における議員の数。特に区長、班長の数。▼70歳代 男性 無職 国政においても民間においても女性の進出に無理しているように思う。男も女も出来る役割があると思う。その人の器に合った活躍ができれば良い。▼70歳代 男性 無職 市長を2年毎、男女交替する制度を設け、女性目線で全ての事をやってみるのも一考かと考える。市政に於いて、各部署男女交替でトップを任せする必要あり。女性大統領、女性天皇を実現可能な世の中、思い切って女性に託せよ ▼70歳代 男性 無職 少なくともはなったが、家父長的な感覚の家も残っていて、男女不平等を古くから住んでいるとの特権意識同様に、家訓の如く主張する家庭もある。地区役員、公民館活動などにこういった意識が反映されがちである。歴史的な認識の上に立った不平等感の解消を図る取り組みができると良いと思う。目につきにくい不平等、人権感覚の欠如などのてこ入れが肝要です。▼70歳代 男性 無職 少子、子どもが少ない中国が1人っ子政策で失敗のように子供が少ないことは世の中において何をずるにも支障が起きている。私の自治会でも140軒ありながら小学生が3人しか居なく伝統行事でもできません。女性が子供を産まなく、産休や退職をすると再就職が難しい。企業主や政策が悪いからで異性も理解することが大切です。▼70歳代 男性 無職 昔の人間ですから。家も共働きでしたから協力しました。▼70歳代 男性 無職 伝統及び慣行は大事だが、現代に合った論議が必要であると思う ▼70

歳代 男性 無職 都市部の状況と比べると、慣行や歴史的しきたりが強く残っている為、平等とは言えないが、女性サイドも当然と思っている。▼70歳代 男性 無職 漠然と感じているだけで、さあ、と改めて言われても話せるようなことが思い浮かばない。ただ、現在の世相は、女性は威張る特権があり、男性はただ無理解を通して悪者であるとの批判的立場にあると思われる。▼70歳代 男性 無職 役員を選考するさい、始めから絶対に受けないという態度をとっている。その理由は、役員の仕事が家事に影響を与えるので困るということである。その対策として、配偶者は「家事は分担するから安心して受諾するよう」会合前に話しておくことが必要と思います。▼80歳以上 女性 その他 1 自分の時代のことを思えば、子供達の生活を見てみると、家事、仕事の面で本当に平等になったと思う。2 お互いに趣味と仕事の両立を理解し合っ、ストレスを溜めないようにしていることも、素晴らしいと思う。3 時代の流れで、携帯電話の発達で、会話が少なくなったことが、老人には淋しい。▼80歳以上 女性 その他 地域的に昔から男尊女卑の根が深く、人にもよりますが後継者の話が出たり、家の中で不都合なことが生じると嫁のせいになされたり、子供が少し自分（親）の道を進まないと妻のせいにしたり、何か地域で計画を立てて業務、施行するにも、女性より男性を頭にした方が良いという意見があったり、夫の一生は妻によって大きく変わってしまったなどとしゅうとが言っていたこともありました。▼80歳以上 女性 自営業主・家族従業者 隣組の世帯数の差が10戸以上もあり、編成したらと会を開きました。絶対出来ると思う人が多いのに戸数の多い方2~3人の反対意見で駄目になりかけでは大勢の人が残念がりましたが今もそのままです。4戸の場合、組長が4年に1回まわってきてそのたびに区の役を受けなければならず何かいいやり方があればと思います。▼80歳以上 女性 専業主婦・主夫 高齢者はもう無理です。▼80歳以上 女性 専業主婦・主夫 夫は自分の出身地が世界一良い所と思っており、退職後、定住しています。運転をしなくなったので

あづみんを利用しています。電話連絡しないと予約できないのは面倒です。時間によっては断られることも多々あります。私は親と夫の職業により転居すること22回。バスの運行のない町に住むのは初めてです。しかし、あづみん、タクシーの女性運転手さんの心くばり、緻密さに感服しています。ありがとうございます。▼80歳以上 女性 農林水産業・家族従業者 食事、掃除などは女性の負担となっている。▼80歳以上 女性 農林水産業・家族従業者 年寄りです市の現状がわからないから何とも言えない。▼80歳以上 女性 無職 小学校へ通学する時のバス乗車について、中学生はダメという閉鎖的な社会現象はいかがなものか。▼80歳以上 女性 無職 男でなければ出来ない事もある。▼80歳以上 女性 無職 男性中心の社会になっている。▼80歳以上 女性 無職 地区の役員などの出席で役員名は夫の名前なのに妻が出席活動する。年度始めの役員選出の場面に妻が出席で、役を逃げる様子が見られる。12の様子から、家庭では夫婦一体でよい様に見えるが個人の人格が確立されていないことが感じられる。社会通念・慣行・しきたりから、男・女個人の人格づくりが必要。▼80歳以上 女性 無職 町会の役は男しよに任せておけばいい。班長（5軒）の役は、細かい地道なことなので女しよ（男しよでも）よいのではという慣習がありますね。女の方が大役を受けると、男の人が家の中で代わって何かしたり、もしくは家の中のことをがまんする状況ができるし。▼80歳以上 男性 職業無回答 結婚の際、男女別姓を認めない限り、平等は解決しない。アパルト・ヘイトをなくすこと。▼80歳以上 男性 農林水産業・家族従業者 1国家公務員について。昔の武士は今官僚。国民の公僕であり乍ら、御上と思わせ民間に再就職することを天下り。この言葉からして公僕の意を解せぬ思い上がりも甚だしい。こんな官吏にしてしまった責任は重い。2教育（家庭）親の子どもに対する知的要求のために子供の人権無視。目線で話さず子供のためのルールを敷きこなしている親が都会程多く見られる。▼80歳以上 男性 農林水産業・家族従業者 男女を問わず個人個人

の特性があるので活動も行動も異なると思う。一括に形に当てることは無理があり、それぞれの特性を認めての上で最大努力し合うことが男女平等と思う。▼80歳以上 男性 農林水産業・家族従業者 農作業の場合機会の仕様によるから一概に言えない。ピーバー、草刈り機、散粒機等は女性でもよい。仕事によりけり。殺虫剤、殺菌剤等は女性でも十分（ただし大型機を除く）▼80歳以上 男性 無職 一般的には共働きによって家計が成り立っている。子供のしつけが専業主婦の方がしっかりとできるのではない。家庭での行事や酒席は昔程ではないにしても女性が引き受ける日本のしきたりもあるほど大切である。夫の収入で十分な生活ができたとしたらほとんどの女性は諸問題について、どれほど不満を持っているだろうか。▼80歳以上 男性 無職 現状では、特に社会通念、慣行（特に地域社会）・しきたりの中では地域の役職は男性が担うという面が、現状では強いと思っている▼80歳以上 男性 無職 今は表立ったところへは出席していないが、古くからの慣わしは変わらないと思う。▼80歳以上 男性 無職 私ども若い時代は、不平等であったが、最近平等になってきたので驚く程だ。女性はもっと表へ出て活躍を希望します。▼80歳以上 男性 無職 自治会の責任者（役員）はほとんど男性である。▼80歳以上 男性 無職 社会通念慣行しきたりでそうになっているが、どのようにして直していけばよいでしょう。国、県、市町村で指針を願いたい。▼80歳以上 男性 無職 女性はもっと積極的に行動するとよい。▼80歳以上 男性 無職 職の収入差、仕事差、待遇面での格差等々▼80歳以上 男性 無職 男女全く同一の事を交代で行うことがよいとは思わない。ジェンダー特性を生かした分担で、理解し合えるなら、不平等とは思わない。▼80歳以上 男性 無職 地域活動に於いて、役職の任命に男女別適、不適があるが、運用推進には、女性がよい感じにいる▼80歳以上 男性 無職 問7-1での政治において先ず平等でないというのは、例えば市会議員や県会議員、国会議員の女性議員が先進国の中でも日本は極端に少ないこと。またそのことは地域における

種々の役員に女性の少なさと符合する。地区における例えば区長に選ばれる女性はほとんどどの区でも皆無ではないか。区長ばかりではない、あらゆる区の役員、公民館長、氏子総代、農協関係、常会長、祭典委員長、隣組長などすべての「長」のつく役職は男性である。地区の総会でそれらの役員を決めるのだが、ある役のいくつかは回り番で決めるのが慣例になっているが、その番に当たる家の男性は総会に出席しない、又は女性を出席させて役員の際を逃れるという風潮が多い。このことは、男性自身の考え方も大いに問題である。▼年齢無回答 性別無回答 職業無回答 生物として生まれて男女の役割があり、完全に男女平等はむり。太古よりの自然の摂理。男女とは言いが、女男とは言わない。

**問 8 男性の家事・育児・介護への関わりを進めていくために必要なこと「その他」の回答 (32件)**

▼女性 30歳代 その他 企業などが労働者に仕事量を減らし、プライベート時間を持てるようにする。  
▼女性 30歳代 パート・アルバイト 男性も関わりたいと思っているが、出来ないのは職場、社会、行政が半強制的に実行していかないから。  
▼女性 30歳代 専業主婦・主夫 日々子供を見ているのは母で、どれだけ大変かとか色々な大変な事をわかる機会があればいいなど。  
▼女性 40歳代 その他 今の子育て世代が子供たちに対し、男女平等である家庭の姿又思想を伝えて行く。  
▼女性 40歳代 会社員 ゆとりのある生活ができるだけの収入が時短勤務でもらえないと厳しい。  
▼女性 40歳代 会社員 給料保障の問題。  
▼女性 40歳代 公務員 実際に上司が年休等を取って見本となること。  
▼女性 40歳代 専業主婦・主夫 やれるならやれば良い。  
▼女性 50歳代 会社員 それぞれの性の特性をお互いが理解すること。  
▼女性 50歳代 専業主婦・主夫 労働時間短縮や各種休暇制度を当然取得できる仕事現場の雰囲気づくり。  
▼女性 50歳代 農林水産業・家族従業者 介護は嫁がするのが当たり前という考え方を改めること。  
▼女性 60歳代 その他 平等にしすぎるとお互いワガママになってしまうと思う。お互いが期待

しすぎてしまう。▼女性 60歳代 会社員 女性が、出産、育児で職場を離れても正規職員として戻れる会社内の組織づくり。  
▼女性 60歳代 専業主婦・主夫 家庭は愛の学校だと学びました。家庭のあり方を考える事が重要だと思います。  
▼女性 60歳代 専業主婦・主夫 問7の様に男性が家事を手伝えない程重労働過ぎる場合もあり、会社自体の体制改善も必要（子供がいないためよくわかりませんが）。  
▼女性 60歳代 無職 私の考えがまだ甘いのか、あまり男性だから、女性だからという区別をすることから隔たりを作ってしまう。夫婦でも色々な形があります。女性の活躍できる部分を少しずつ与えて社会性を持てるようになったら良いと思う。  
▼女性 70歳代 専業主婦・主夫 各々の家庭環境等により生活状況が違うので、生き方が自由だ！男性は子育て家事のお手伝いは必要だが、子育て家事などは女性が主体の方がよいと思う。  
▼男性 20歳代 会社員 社会全体でサービスを低下させ、給与、雇用を流動的なものから固定的なものへ移行すること。  
▼男性 30歳代 公務員 自分の周囲では少ないと感じるケースがあまりないのでわかりません。  
▼男性 40歳代 会社員 地域の古い慣習を改めるための啓発活動。  
▼男性 40歳代 会社員 必要なものナシ。  
▼男性 40歳代 自営業主・家族従業者 経営者、管理職の価値観を変えないと無理。  
▼男性 40歳代 農林水産業・家族従業者 主夫をする。  
▼男性 50歳代 会社員 「子は国の宝」という意識の向上活動、啓発活動。  
▼男性 60歳代 その他 勤務先が強制的にならないと出来ない。  
▼男性 60歳代 会社員 問7でも書きましたが自然に任せればよいと思う。  
▼男性 60歳代 職業無回答 賃金や労働時間の問題が大きいと思います。  
▼男性 60歳代 無職 学習して覚える道ではない。人の道である。  
▼男性 60歳代 無職 企業の考え方を变えること←政治・行政の責任不足。  
▼男性 70歳代 農林水産業・家族従業者 夫婦(男女)で多くの活動、行動を一緒に行うこと(連帯責任や義務の向上を図る)。  
▼男性 70歳代 無職 65歳の定年制を廃止しもう少し延長する。  
▼男性 70歳代 無職 性によってそれぞれの特性があり、そ

れによりお互いに分担しあっている特性を活かし、支え合っていくのが真の共同参画であると思う。

## 問 12 女性が働く上で、障害となっていること「その他」の回答 (45件)

▼20歳代 女性 専業主婦・主夫 安心して働ける環境。 ▼20歳代 男性 会社員 主人の収入。 ▼20歳代 男性 会社員 本人の能力。 ▼30歳代 女性 パート・アルバイト 学校行事等で休みが多いので職場的に対応できないとか。 ▼30歳代 女性 会社員 ライフワークバランス、やることが多すぎて女性がつぶれる。 ▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 身内が近くにいない家庭に全然やさしくない市だと思います。もっと保育士を増やして下さい。今年、3歳と0歳を保育所に入れますが、別々になりました。どうかしてほしい。あっちもこっちも行ってもらえない。仕事の時間、家庭の時間が減る。こういうアンケートとる暇あるなら、目先の問題をまず解決してほしいです。保育所に関して市はどういう風に言っているか知りませんが、「待機児童0」なんて絶対言わないで欲しい。負担は市民に来ています。 ▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 夫の育児に対する姿勢、知識の浅さ、対応の稚拙さによる子供への心配。 ▼30歳代 男性 会社員 なし。 ▼30歳代 男性 会社員 未満児保育の施設の改善、保育士の待遇改善。(塩尻市は進んでいる) ▼30歳代 男性 公務員 中小企業が多いこと。 ▼40歳代 女性 その他 出産。 ▼40歳代 女性 その他 労働時間が短いと働く場所がなかなかない。 ▼40歳代 女性 パート・アルバイト 家族の意識。 ▼40歳代 女性 パート・アルバイト 会社などが、産休など、とりやすくしてほしい。また、仕事に戻れる様にしてほしい。 ▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 子供がいると、なかなか採用されなかったり、復帰しようとする頃には親の介護が必要になったり、仕事だけに集中するのが難しいのでは。 ▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 出産。 ▼40歳代 男性 会社員 育児施設が高額。 ▼40歳代 男性 会社員 会社自体。 ▼40歳代 男性 会社員 出産。 ▼40歳代 男性 会社員 出産。 ▼40歳代 男性 会社員 特に障害はナイ。 ▼40歳代 男性 会社員 夫の労働条件(家庭(家事や

介護を行えない))。 ▼40歳代 男性 会社員 本人の気持ち。 ▼40歳代 男性 公務員 男性の考え方? ▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 寛容な社会でないため。 ▼50歳代 女性 その他 能力による自由さと支援が足りない。 ▼50歳代 女性 会社員 一度退職してしまうと、再就職が困難なため、我慢して両立せざるを得ない。 ▼50歳代 女性 会社員 急な通院で休む事。24時間対応の病院がない。病気の時に見てくれる育児施設があると嬉しい。以前使用して、良かった。 ▼50歳代 女性 農林水産業・家族従業者 保育園や小学校、中学校のPTA役員、保護者会役員の仕事が大変すぎる。 ▼50歳代 男性 会社員 家族内にての理解、→家計を支える方向性を共有することが第一。 ▼50歳代 男性 公務員 社会は職場の意識。 ▼50歳代 男性 自営業主・家族従業者 自己の意識改革。 ▼60歳代 女性 会社員 トップに立つ人間の心の改革。自分の家庭が男尊女卑でいる為。 ▼60歳代 男性 公務員 就業制度、年功序列制度。 ▼60歳代 男性 無職 企業の不理解と、社会制度、支援の不備。 ▼60歳代 男性 無職 社会全体の問題。個々の問題ではない。 ▼60歳代 男性 無職 職場環境。 ▼70歳代 女性 その他 産後母乳で育てる為には、母親。乳児が安心しておだやかに母の腕に抱かれる環境は大切だと思う。3年位は安心して子育てができる社会環境が良いと思います。 ▼70歳代 女性 会社員 共働きの場合の子供の病気の時の施設がないこと。核家族(遠方)と近隣関係の希薄から頼むことがむずかしい現状と時代の変化。 ▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 どんな仕事であっても男性の給金はもっと上げるべきだと思います。そうすれば女性は家庭を守り無理して会社勤めをしないで子供を産み育てることができると思います。もちろん、女性も社会で活躍は必要ですけどね。 ▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 過去において、医師として活動してきました。現在はボランティアをやっています。 ▼70歳代 女性 無職 社会ではなく企業の理解があまりないのでは? ▼80歳以上 女性 農林水産業・家族従業者 自分が働いたから。 ▼80歳以上 女性 無職 わからない。 ▼80歳以上 男性



無職 乳幼児保育施設の充足の現状を知らない。

**問 21 男女共同参画社会の形成を推進するために必要なこと「その他」の回答  
25 件**

▼20歳代 女性 その他 身近な所から、男女間の差を減らす歩み寄りをする。 ▼20歳代 女性 会社員 役職者以上の年齢の方々の考えを改めること。 ▼20歳代 男性 会社員 高水準の教育、討論の普及、女性は被差別という考えをやめること。 ▼30歳代 女性 会社員 女性1人の収入で家族が文化的に生活できるようにすること。 ▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 選べない。 ▼30歳代 男性 公務員 男女共同参画の意識が低い高齢世代がいなくなること(=時間がある程度解決してくれる)。 ▼40歳代 女性 パート・アルバイト 出産適齢期に関する正しい知識を女性が持つこと。 ▼40歳代 女性 パート・アルバイト 日常的に男性も台所に入り、子供のオムツをかえることを当たり前として生活する。 ▼40歳代 女性 会社員 世代交代 ▼40歳代 女性 会社員 賃金体制を含め、そもそも平等化な社会が成立しているのか。稼ぎが平等になると男女格差は少なくなるのでは。 ▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 男女共にお互いの特性を理解しようと努め、尊重することが基本だと思う。それがあって初めて男女共同参画の啓発や学習が生きてくると思う。 ▼40歳代 男性 パート・アルバイト 男女の違いを知り、お互いの得手不得手を助け合ったり協力し合ったりする必要があることを学ぶこと。 ▼40歳代 男性 会社員 女性優先等はまぎれもないきれいごと。そういった偏見を排除すること。 ▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 今のままでいい。公務員の仕事づくりはやめた方がいい。 ▼40歳代 男性 農林水産業・家族従業者 知的な財産を増やす事、学習、資源、技術等。 ▼50歳代 女性 その他 男女がどうのではなく、男には男の、女には女の良さがあるのだから、能力に応じて必要な部署に埋めていただきたい。 ▼50歳代 女性 会社員 この様に肩肘張ってやることではないと思う。 ▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 尊厳を持って人と接することができる人間に育てる子育て。 ▼50歳代 女性

農林水産業・家族従業者 実際にある体験をした人の話を聞ける講演会に気楽に行って聞けるような雰囲気を作る。 ▼50歳代 男性 会社員 全てにおいて男女差を法で無くす。 ▼60歳代 男性 公務員 同一労働同一賃金制度。 ▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 共同参画と言っても男性は男性としての体、女性は女性としての体で使命の下に生まれてくるから男性は男性としての役目、女性は女性としての役目を果たすことがまず基本だと思います。 ▼70歳代 男性 無職 脳みその柔らかい幼少期から学校・家庭で教育しなければダメだと思います。 ▼80歳以上 女性 無職 456のあたり、女性、男性でも個の能力によって個人差あると思う。教育での体験、経験、実践が大切。 ▼80歳以上 女性 無職 わからない。

**問 22 男女共同参画を進める上で若い世代に参画してもらうために必要なこと「その他」の回答 32 件**

▼20歳未満 女性 学生 若い世代対象の男女共同参画に関するイベントなどの開催等。 ▼20歳代 女性 会社員 育児支援を利用しやすい環境づくり、情報提供。 ▼20歳代 女性 会社員 今の30代以下は学校でべんきょうしてきているため、ある程度は分かっているように思うので、若い世代でない所で理解してもらえたらと思う。 ▼20歳代 女性 会社員 自ら必要性を感じるべき。 ▼20歳代 女性 専業主婦・主夫 そもそも今の若い人は男だから女だからという考えはないと思う。若者の意見を聞いたりしてくれる所が必要。 ▼30歳代 女性 会社員 わかりやすく簡単な言葉でPR、伝える。 ▼30歳代 女性 会社員 社会、企業、組織での実際を発信していくこと。 ▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 選べない。 ▼30歳代 男性 会社員 自分もそうですが、何かメリットがないと若い世代は動かない。現状でいっぱいなので。 ▼30歳代 男性 会社員 進める必要があると思わない。能力に応じて判断して仕事を分担すればいいと思う。 ▼40歳代 女性 その他 わかりません。 ▼40歳代 女性 パート・アルバイト 若い世代の方が受け入れやすいのでは。むしろ市内の公的機関で働く上の方や、企業の役職の方の意識はどのなの

ですか。▼40歳代 女性 会社員 21と同じ。並びに、男女そのものの適性や生物学的な役割を踏まえる。お互いを尊重する意識づけ（教育）の充実化が必要と思われる。▼40歳代 男性 会社員 国による啓発の強化。▼40歳代 男性 会社員 若い世代の収入増。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 今のままでいい。▼50歳代 女性 その他 まずは、男女それぞれのいい点、悪い点その人なりを見るべきなので男女共同の言葉は必要なのか？▼50歳代 女性 パート・アルバイト 若い母親が参加しやすい環境を整える事。▼50歳代 女性 会社員 コマーシャル、メディアの力は必要に思う。▼50歳代 女性 会社員 深く考えたことがない。▼50歳代 男性 会社員 「違い認識した上でお互いに尊重しあうこと」を学習する機会づくり。▼50歳代 男性 会社員 核になる若いリーダーの育成とその人を中心とした周辺地域の情報発信、企画の新しさ。▼50歳代 男性 会社員 市民に対する意識改革。▼50歳代 男性 会社員 全てにおいて男女差を法で無くす。▼50歳代 男性 会社員 必要性を理解してもらう必要あり。問題意識。▼50歳代 男性 会社員 問21項目5が必要。▼60歳代 男性 その他 稼ぎ時期の若い世代（20～30代）の方々は時間を作るのが困難とされます。国政でもここが肝で…良案は無さそうですね…。▼60歳代 男性 その他 職場での半強制的な研修・会議が積極的になる事。給料をもらっている所が、地域に係る事を推進しないと。▼60歳代 男性 公務員 若い世代はもう大丈夫。問題ない。▼60歳代 男性 無職 生活が安定できる支援、就職の保障。▼80歳以上 女性 無職 わからない。▼80歳以上 女性 無職 若い人の勉強する場が欲しい。昔の母親学級のようなもの。

### 男女共同参画についての自由意見

278件

▼20歳未満 男性 無職 このアンケートに答えるだけで男女共同参画について考える時間を持たた。若い世代に参加を促すのであれば、学校教育において男女共同参画について考える時間をとるだけでも効

果があると思う。しかしあくまでも絶対的な正解がある訳ではないと思うので、難しいことだと思う。だからこそより多くの人意見が求められると思う。▼20歳代 女性 その他 共働きであってもなくても、家庭のことは同じ家で生活をしている以上は、どのような状況にあっても、協力して行くべきであると思います。最近ではもはや男性、女性を飛び越え、1人1人を考えて生活する時代です。それは外国人であっても同じこと。表での会話のみで、心の中の会話をできないような状態では、家族との会話もままなりません。家族内での会話がなく、社会でも心の会話を求めない現状が男女の差や個人の差を広げるばかりです。まずは口にした会話よりも、心で感じている真実を読み解くことから、1人1人の交流が始まると思います。▼20歳代 女性 パート・アルバイト あまり関係ないが、最近、性同一性障害やLGBTに対してパートナーシップ制度を導入する自治体もあり、その人たちにも生きやすく、ありのままの姿で輝ける社会を作っていってほしい。そういう多性性も含め、理解が広がるように協力を惜しまないで下さい。▼20歳代 女性 会社員 ひとりひとりの意識を変えていくことが社会の変化につながると思います。▼20歳代 女性 会社員 時代は大きく変化している。「育メン」という言葉が新たにできてきているように、今の若者の考えは昔と大きく変わっている。今の20代、30代の親世代が、やはり変化している環境を受け入れ、適応していく必要があるのではないだろうか。▼20歳代 女性 会社員 自分の経験上、育児のために家でこもって大変な思い(孤独・不安など)をしている母親が多いと思います。テレビなどでは、男性の育休取得が多く報道されるようになりましたが、実際は取得したくても認められない事も多く、母親の負担が軽減されていないのが現状です。女性が家庭と仕事を両立させ、心身共に健康に過ごすことで家庭も明るくなり、社会も活気が出てくると思います。子育て世代が住みやすいと感じられる安曇野市にしたいです。▼20歳代 女性 公務員 「女だから」ということで嫌な思いをしたということは、あまりないように感じます。

▼20歳代 女性 無職 まずは上に立つ者の意識から。男女ともどものびのびと人生を組み立てることのできる地域づくりに期待しています。 ▼20歳代 男性 会社員 社会や男性側ばかりに原因を求めるのはそろそろやめるべきではないでしょうか。「女性だから」ではなく、個人の能力（性差で能力を含め）で役職などの重要なものは考えたほうが良いと思います。行政としては、教育面やディベート能力の発展に尽力してほしいと思います。 ▼20歳代 男性 学生 市民一人一人が、「男性だから～であるべき、女性だから～であるべき」といような固定観念を捨てることから始めないといけないと思う。何事もそうだが、「～で当たり前」のような固い考え方は視野を狭くする。 ▼20歳代 男性 学生 若い世代ではあまり問題ではないと思う。学校での教育がしっかりできていれば子どもはそのまま育っていくので。むしろ、年長者、上に立つ人たちが教育を受けるべきでは？ ▼20歳代 男性 学生 男女平等と言葉では言っているが、実際はまだまだ平等ではないと感じる。20代よりも若い世代では、男性が上、女性が下などという考えはないように感じるが、働き世代の40～60代の人ではそのような考えがあるように感じる。すぐには改善できないと思うので少しずつでも本当の平等になるように取り組むべきだと考えます。また、若い世代にも同じように教えていかなければならないと感じます。 ▼20歳代 男性 公務員 一番は重要な問題となっている少子化が進行しないようにすること、女性が社会に進出することでさらに悪化が予想され不安です。 ▼30歳代 女性 その他 まだまだ難しいと思うが障害者もうまく地域になじみ、意見や活動に活かしたらと思う。(分野としては別かもしれないが…障害者の中にも男女の差を感じることもあるし)。みんなそれぞれ活動と参加を充実するためにはやはりプライベート、自由な時間を少しでも増やし余裕が出るようにするのがいいと思う。 ▼30歳代 女性 パートアルバイト 「女だから」という言葉に助けられたこともあります、大半は「女だから」という言葉に「あーやっぱり」と思っている女性は多いと思います。

男性と同じようにとは言いませんが、1人のヒトとして1人の人生として行政も社会も職場も扱って下さることを願っています。是非、めんどくささらず、私を含め、1人1人が自分の意見をしっかり述べられる社会になっていけばと思います。 ▼30歳代 女性 パートアルバイト 「男女共同参画」という言葉自体をもう少し広く、分かりやすく、一般的に見聞きする市、世界になっていけば良いなと思いました。 ▼30歳代 女性 パートアルバイト 女性、男性、それぞれ体力、能力も差があるので、お互いの特性を認めあって、どちらかが押し付けることなく理解し合えるようになると思うと思います。 ▼30歳代 女性 パートアルバイト 男女共同参画を進めるには、なかなか簡単には行かないと思います。子供達は親の姿を見て育ちます。小さな頃からお父さんは仕事へ行き、お母さんは家にいて家の事をしている姿を見ているのです。でも、そういう家庭ばかりでなかったら？子供の目に映る男女の形は変わってくると思います。やはり、「子供のうちから」が大事だと思います。 ▼30歳代 女性 パートアルバイト 要介護者を介護している者も保育料免除制度あってほしい！！ ▼30歳代 女性 会社員 まだ身近（特に30代後半～）な男性の中には「女性は家庭」という考え方があり、自分自身も行動範囲が狭められています。社会などは、大きい企業では男女平等や育児に対しての考え方が変化し、働きやすい環境にあります、女性でもワーク・ライフ・バランスを保てるような男性の育成や学習などが欲しいです。妊娠のタイミングで、保健センターでのパパママ学級時など、男性の意識に変化をもたらしてくれるような内容があると、産後うつや育児ノイローゼも減るような気がします。 ▼30歳代 女性 会社員 育児の偏り、子供がいての働きにくさは、子供が出来てから実感しました。現在は正社員として働ける場がありますが、行事等の日が近い場合、また休まなくちゃ…という申し訳ないような気持ちになることがあります。今の職場は早く休ませてくれますが、そういった会社だけとは限らないので、育児中はパートをするしかないのかなと、これでは現状育児を担っている母親はなかなか働き

にくいなと感じます。子供がいる事は悪ではないのに、子供のために休むことは眉をひそめられる、その風潮はまだあると思います。▼30歳代 女性 会社員 男女共同参画で女性優遇にするのは違うと思うが、女性の負担を考慮した仕組み必要。公務員は3年育休のため、世間一般の女性からはズレた恵まれた環境であることを念頭に置いて、特に育児のことは考えてほしい。(市の職員が色々検討すめると思うので) ▼30歳代 女性 会社員 男女共同参画と言葉だけは良いが、結局現実是非常に難しいことがあると感じています。私自身、正規で育休を1年とり、仕事復帰しましたが、家事、育児、仕事の両立が大変で、夫も協力してはくれましたが、結局オーバーワークで自分がうつ病になってしまいました。仕事も新人というわけではないので責任のある仕事もある中、家に帰れば休む暇もなく。夫の協力だけでは解決できないと思います(共倒れになります)子供が小学生になるまでは会社での時短を義務化する等、核家族がほとんどの時代、体制整備されることを望みます。▼30歳代 女性 会社員 男女共同参画の考え方や活動はとても良いと思う。実際に誰もが平等と思える社会にするにはまだまだ時間がかかると思うが、自分たちの世代はその過渡期にあるのだと思うと将来に期待したい。私個人としては、子供を育てていく中で、家庭の中で積極的に行動してくれる男の子、また社会に出て活躍してくれるような女の子、そしてそれぞれの在り方を尊重してお互い助けあえるような考えを持つ人間に成長してもらいたいと思う。▼30歳代 女性 会社員 男女共同参画推進のために、なぜ国際交流や多文化共生が大切なのか、理由がよく分かりませんでした。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 10年ほど前に比べたら良くなっているところもあるけれど、まだまだ改められているものが少ない。本気になってこれからの世代の為に改革を進めてほしい。このままでは、今の子供たちが不安の残る未来にしかない。住みやすい環境づくりをお願いしたい。何年たっても変わらなければ、アンケートの意味がない。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 7-2のとおり。▼30

歳代 女性 専業主婦・主夫 核家族だからこそ、夫の育児協力=妻への理解、子育てに対する深い知識は必要だと思います。今ある妊娠中の両親学級の他、是非父親学級(父として、夫としての役割を学ぶ場)も設けていただけるといいと思います。産後も子供の〇ヶ月、〇歳検診のように父親も子供をリアルタイムで把握できたり、知識を深めたりできる父親教室もあると、育児への考え方、ひいては妻への理解も良い方向へ変わっていくのではと思っています。市や行政からの言葉の力のほうが男性も素直に言葉を受け入れてくれるはずなので…。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 子どもが家にいる間は、帰宅時「おかえり」と出迎えてあげたい。「行ってらっしゃい」と送り出してあげたい。と考えています。ですが、それを可能にする為には、限られた仕事しかなく、学校の突然の休みに対応することも、核家族には難しいことです。仕事でのキャリアか、子どもとの時間か。学校・教育機関での母親の生の声を聞くことが出来る授業があると、自分はどうしたいのか?と考える機会になると思います。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 私は女なので、男性の「男らしい所」に惹かれます。なので、男性・女性だからという考え方が良くないとは思いません。子育て支援等の充実はありがたいと思います。安曇野市は、出産祝いもないし、子育てには少し力がそそがれていない気がします。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 女性でも未婚のうちや子供が大きくなったら自由に活動しやすいと思う。子供が小さいうちは、自分一人では一緒に外出すること自体が大変。一時保育やファミリーサポートはお金がかかるので、たまにしか使えない。「出産をしたら母親が主に面倒を見るのは当たり前」確かにそうだが、家でも外でもほぼ1日中自由が無い。活動する機会がなかなか持てないということを、男性や未婚の女性に知らせてもらえたら、母親の孤独感等が無くなるのではと思います。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 女性の積極的な参画を期待するには、まず保育施設を整備すること。私も働きたいのに保育園に子供を預けることが出来ず、3年待ってやっと保育園が決まった。介

護の現場もそうだと思うが、老人ホームも良いけれど、まずは保育施設ではないのか。子供を預ける場所が無い事には、活躍したくても出来ない女性が多数居ると思う。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 特にないです。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 問い22についてですが、若い世代というより高齢の方の意識改革が必要なのではないでしょうか。今の20代、30代の男性はある程度育児への参加も積極的だと思いますが、それに口を出す親世代より上が問題かなあ・・・と思います。やはり親に色々言われると無下にする訳にもいかず、多少男性をたてるようになってしまう気がします。あと、「子供は3歳になるまでは手元で親が育てた方がよい」という風習。そうすると・・・女性は当分働けません。▼30歳代 女性 専業主婦・主夫 良く分からない。行政でどんなに力を入れても結局のところ、個人個人の考え方が変わらない限り何も変わらない気がします。▼30歳代 男性 会社員 このようなアンケートを年1回は市民に対して行って頂きたい。▼30歳代 男性 会社員 この問題については、日本の歴史や文化と密接な関係もあるので、小学校から男女共同参画について学習する必要があると思います。また、社会構造や各種法律も整備されないと現実的に男性が育児に参加しづらい社会であることは事実です。その後の出世や社会的責任などを考えると、急に休んだり、家事を重要視するあまり、収入が大幅に下がるなど、細かい所で昔の習慣が残っているので、難しい問題だとは思いますが。私も頑張りますが、行政の方、みんなで取り組み、努力しなければ解決しないと思います。▼30歳代 男性 会社員 もっと育児休暇をとりやすい環境にしてほしい。子どもがいる家庭には手厚く助成金がほしい。▼30歳代 男性 会社員 近年の少子化問題の是正も含め、男女共に長期育休を取りやすく、復帰プログラムの充実を企業にお願いしたい。それが男女共同参画につながっていくと考えます。▼30歳代 男性 会社員 周知する努力をするべきだと思います。人まかせは、あまり良くない。▼30歳代 男性 会社員 男女平等という事は、大変難しい問題ではありますが、男性には男性の女性には

女性の悩みや考え方の違いがあると思うので、お互いが歩みよっていける社会になっていけば男女共同参画がうまくいってくれるような気がします。出来れば問題を相談できる場所があると良いかと思えます。▼30歳代 男性 公務員 「不平等」や「格差」によって不利益(?)を被っている立場の人が、それをよしとしているかどうかが大切。不満ならば解決すべきだし、それでよいと思うなら何かする必要はない。「主婦」は不平等だから全員働きなさい。として環境を整備したら、はたして、何割が喜ぶのか?主婦でいたい人も多いのではないのか?地域の役を女性がやらないのは、本当に環境のせいなのか?女性自身が面倒だから避けている側面はないのか?「機会」を平等にしてお残る不平等について、本当に「結果」の平等を求めることが正しいのか?そういった疑問に答えられる、定義をしっかりと計画にしてほしい。▼30歳代 男性 公務員 市で行う全ての事業について、一定のルールを定めてはどうでしょうか。(男女がバランソ良く働いている企業に入札するなどで優遇する)男性の家庭進出についても、力を入れて啓発して下さい。家事に参加させてもらえない男性も多く、問題です。▼30歳代 男性 公務員 男女という意識を取り払い、能力により、適材適所で色々選定すべき。▼40歳代 女性 その他 やりたくはないけど、地区の役員とかは仕方ないと思う。夫がいなくてやるしかない。▼40歳代 女性 その他 子どもを産むことは女性しかできない事のため、すべて平等にはならないと思います。その人らしくの部分、色々なことの向き・不向きになると思います。お互いを認め合えることが、お互いを理解しあえることが、人それぞれの幸せになるのかと思います。男女共同参画は、その一つかと思います。▼40歳代 女性 その他 男女平等の考えは難しく、古き良き時代がお手本とはまったくならない。人類の生き方になってゆくのはいかがなものか。子供は母を求める時期があり、男性らしく、女性らしくある面では生きた方が良い事もある。仕事に関しては、男性だから、女性だからではなく、能力的に平等、対等であるべきだと思う。能力給制度などは賛成で

す。中間世代の男女が深く考え行動する事が大切。子供と今世代を作り上げたお年寄りがすこやかに過ごせる世間であってほしいです。▼40歳代 女性 パート・アルバイト このアンケートが届くまで男女共同参画を知りませんでした。皆に知ってもらう為、アンケートを基に推進して下さい。時代が変わってきているので昔はあであった、こうだったと言わず、男女共同参画がいい事だと思った。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 家庭の中でも子供に対して（孫に対して）女の子だからとか、男の子だからと言って「あーしろ」「こーしろ」と言っていることがある。高齢者の男性あたりが地区や社会に出て、自分が頑張っていた頃とは違うんだなあと分かってもらえる教育をしてもらうようなことがあれば……。孫に色々言う度に「今はそういう時代じゃないよ」と言っても全然理解しないし、聞かないので、他の人に言ってもらえれば、少しは分かってもらえるとも思うので。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 子育てをしながら働く女性も必要とされるべきだとは思いますが、それで休みが多くなると実際には同職の負担は増える。同じ女性としても、力になりたい気持ちと、不平等な気持ちが生まれてしまう。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 子供のいる女性が仕事ができるようになるには、職場だったり、産休がしっかりとれ、また戻れる環境がしっかり整った組織だと思うので、そういう会社が増えてほしい。後、育児施設も増え、0歳児から見てもらえると仕事ができる人も思う。環境づくりと保障ですよ。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 主人は働かされすぎです。よっぽど具合が悪いとき以外は、夜9時前に家にいることはありません。夜ごはんと一緒に家族で食べられるぐらいには帰ってこれたらいいのに。出張や転勤等、企業側に考えかたを改めてもらいたい。家族がバラバラにならないよう、おちついて暮らせるようになる社会だといいですね、春の異動シーズンがこわいです。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 女性は男性ほど力もなく、できないこともあると思います。男性と女性が全く同じことをするのは無理だと思いますが、教育の中で育児のことなど小さいうちから

教えていけば一緒に子育てできるのではないのでしょうか。育児は父、母が助け合い行うものだと思います。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 都心ではLGBTの方など暮らしやすく、受け入れてくれる体制が整いつつありますが、地方はまだまだ差別的な考えをする人が多く、悲しいです。マイノリティの人たちが暮らしやすい、男女共に尊重される市にしてほしい。▼40歳代 女性 パート・アルバイト 平等は結構だが男女の区別は必要である。女性の社会進出ありき、では少子化は解決しない。性別差を無視していたずらに「男女平等」をうたうのは違うと思います。▼40歳代 女性 会社員 このような調査をしなければならぬ現状に情けなさを覚えます。男女の枠ではなく、個の適性が尊重されるのが当たり前の世の中になってほしい。▼40歳代 女性 会社員 以前より男女格差は感じられず、日本全体としては減ってきたように思います。ただ、「地域」としてはまだ変化にまで至っていないと思います。加えて、男女共同参画といいつつ、どちらかと言えば女性の声ばかりが大きくなりがちで男性（こと夫の立場）の平等性が欠け、このアンケートにもそれが伺えます。それから、国際交流との共生推進ですが同じ議論、議題に何故拳がるのか説明不足です。（政策に沿っているのでしょうか）私としては切り離して考えた方がよいと感じました。▼40歳代 女性 会社員 考え方が大切なので子供の頃からの教育が大切だと思う。教育されてきたことが「社会に出て生かされる」といった社会づくりがされていればこれから先いいのではないかと思います。▼40歳代 女性 会社員 国や自治体が主体となり、育児、介護の負担を減らすべき働きかけが大変重要だと思う。▼40歳代 女性 会社員 女性は出産に伴い仕事を辞めなければならない。中小企業では産休をとることは難しい。育児がひと段落し、再就職するにしても、学校行事や地域の役職などを考え、長時間働くことができないので、男性と女性の役割が決まってしまうと思う。男性も、育児の為に休みをとりやすくしたり、女性の社会復帰がスムーズにできる仕組みができるといい。▼40歳代 女性 会社

員 性別ではなく、個人としての能力を最大の引き出せる社会作りをお願いします。▼40歳代 女性 会社員 男性女性、性差があり、腕力の違い等、他は得意不得意あることですが、人間として共通する部分は同じ待遇や気持ちの持ち方、思いやりのしかたがあると思います。▼40歳代 女性 公務員 市役所にお勤めの方々自身は、どのような活動をされているのでしょうか。紙面だけで、市民はどのような・・・とまとめて報告するだけでなく、市役所職員の方々がまずは安曇野市の代表として、こんな取り組みをしている・・・と市役所内外でアピールしていくのはどうでしょうか。もし、すでに行っているのならすみません。全く伝わってきていませんでした。たとえば、男性職員の子どものための看護休暇実施率や、年次休暇取得率など。▼40歳代 女性 公務員 男女それぞれにいろいろな考えを持っていると思います。しかしまだまだ、多くの女性は慣習、しきたり、社会通念などから自らの考えを発信できない環境に置かれていると思います。しかし、一つ一つ原因を追究し、分析し、具体的解決策を立ててコツコツ取り組むことが大切と考えています。市の今の取り組みに対して大きく期待します。▼40歳代 女性 自営業主・家族従業者 1ターンでこちらに来て、出産・子育てをしています。夫は育児にも家事にも協力的で大変助かりましたが、そうでなければ2人目、3人目を考えることはできなかったと思います。男女共同参画はもちろん大切ですが、それ以外にも子育てしやすい環境を早々に整備して欲しいと切実に願います。▼40歳代 女性 自営業主・家族従業者 このアンケート取組んではじめて、男女共同参画についてよく理解できました。あまり深く考えたことがなかったので、これから若い世代の人達が、よりよく生きていけるよう、正しく教育できる場所の提供をよろしくをお願いします。▼40歳代 女性 自営業主・家族従業者 安曇野市役所・市政での現状の報告もしてほしい。現状の把握・課題・進展を詳らかにしていくことによって、市民の関心があがり、先駆けとしての手本になっていただきたい。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 出産という大仕事を行え

るのが女性だけである以上、それに伴う仕事や家庭、社会全体において、不平等さを感じるのは仕方がない事だと思う。それを損と捉えるか得（幸せなこと）と捉えるかは人それぞれなので、男・女に関係なく生きたい様に生きられる社会になれば良いと思う。生理もありますしね。男性に出来て女性に出来ない事、またはその逆も含めて「男だから」「女だから」という考え方がなくなることはないと思います。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 色々な差別が無くならないのと同じで、男女共同、男女平等にはとても難しい。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 成熟した思考のもとに、男女共同参画も成り立つと思う。一部の人にありがちな、感情が先に立って主張ばかりしても、意味を成さないと思う。一個人として、責任のある考え行動ができ、権利ばかり主張しない大人であれば十分可能だと思う。（個人的な意見ですが、私自信は職場でも責任ある仕事を任されたり、きちんと扱ってもらった経験しかないので、地域でどうかは詳しくはわかりかねますが、そういう場も存在しています。家庭の中でも、お互いを尊重し、特に役割は決めていなくても、その時の状況でやりくりしています。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 男女共同参画という言葉は初めて知りました。これを機に勉強してみます。▼40歳代 女性 専業主婦・主夫 地域習慣なのか地方ならではの、まだ男女共同参画という言葉と言うより男尊女卑の考えがまだ強く残っていると感じる。▼40歳代 女性 農林水産業・家族従業者 性別や人種などではなく個人を大切にしたい社会の実現を。▼40歳代 男性 パート・アルバイト 男女平等という言い方が混乱を生んでいると思います。先にも書いたように、男・女の区別があり、それぞれ得手不得手があることを知り、それを生かすことが必要です。どんなに教えても料理が下手な男はいるし、男よりも力が強い女もいます。行政や社会風潮が一方向的「一律に」男女平等、男女参画を後押ししているのが恐ろしいです。そのうち「男女」という書き方も女性差別につながるからと「女男」となったり、世界で最も国家の歴史が長く、秩序が安定している日本の風習が男女平等の

もに壊されていくのではないかと思います。男には男の、女には女の役割があることを大前提に考える必要があります。▼40歳代 男性 会社員 30代まで（子供が少し大きくなるまで）は男は外で女は家という考えが大半を占めていました。男のくせに無職という偏見。世間体にかけてしまう自分がいました。40代になり、下の子供が小学生になると、妻と家族を守るのに男女の差、役割分担（男は外で女は家）などにとらわれなくなった気がしています。▼40歳代 男性 会社員 このアンケートの一部に意味が解らない質問がある。市役所の中で、このアンケートを市民に出す前にしっかりと確認されているのかが疑問に感じる。せっかくのアンケートなので配布する前にしっかりと練ってもらいたい。▼40歳代 男性 会社員 とにかくこのアンケートを集計したから満足しないでほしい。これがあなたたちの仕事ではない。もっと足を運んで見聞と情報を集めましょう。それが面倒臭いというのであれば、あなたの方の本気度はその程度です。永久に変わりません。▼40歳代 男性 会社員 安曇野市内での女性活躍状況の「見える化」を積極的に行うべきと考えられます。又、5年、10年後はこうなっていきたいという目標数値の公表とその目標に向けた具体策を発表すると良いと考えます。男女共同参画の言葉だけが先行しており、より具体的な活動や結果、又は反省点が見えていないと感じます。▼40歳代 男性 会社員 何もかもが平等にというのはムリがある。役割があって当然。そこで、男女共同というなら社会全体を変えなくてはならない。根本的な所を変えてからの話。▼40歳代 男性 会社員 海外で実施されている、女性が社会に入りやすいしくみを導入するべきだと思う。これが進まないのは、古い考えを持っている人達が上にいる事に他ならない。若いうちから、この考え方を浸透させていくことが遠い様だが、これしかないと思う。そういった意見んで、学校などでその考え方を取り入れて学ぶことが必要だと思う。▼40歳代 男性 会社員 最近、冬において、オーストラリア、中国、韓国、東南アジアなどからスキー・ス

ノーボードを楽しむ旅行者がいるので、そこからアプローチをして安曇野市のPR（移住・定住・文化）したらどうでしょう。

白馬村、さては長野県までも取り込み、議論をするのではなく、対話などでうまいおしどころを探ってみてはどうでしょう。▼40歳代 男性 会社員 最初は多少強引でも、学校・職場・地域での啓発・学習を強制的にでも行わないと関心のない人はいつまでも参加しない。▼40歳代 男性 会社員 子育て世代の収入を増やして、明るく楽しい社会にする。▼40歳代 男性 会社員 市政のみで発信しても届かない部分はある。企業ぐるみでやっていかなければ動けない。ただし平均的な取り組みが出来るかは業績にも比例するので、大手から打診してみてもどうか。▼40歳代 男性 会社員 私自身はあまり必要性を感じません。男女は違うものであり、自ずと得手不得手があります。各人が得意な事好きな事を生かせる社会が理想だと思います。ですが100%満たせるはずはなく、ある程度「男だからこれはできるだろう」「女性だからこれはやめておこう」という考え＝配慮が生じるのは仕方がないのでは。それでも私の知らない所で差別があるのなら、ぜひ進めて下さい。▼40歳代 男性 会社員 女性が社会に出ることはいい事だとは思いますが、少子化が進むだけだと思うし、子供が犠牲になると思う。せめて1歳になるまでは、確実に育児休暇が取得できる世の中にしてほしい。会社に戻るために母乳をやめるなど、子供が犠牲になることはおかしい。女性にしかできない育児もある。なぜ、そんなにも女性が社会に出ることを世の中が言うのか、少し悲しい気もある。ゆったりと子育てできる世の中にしてほしい。女性が社会の出るということは育児、家事、社会まして地域の役まで担う必要があるのなら女性ばかりの負担が増えるだけでは？女性にしかできない事（妊娠、出産、育児）があるように、すべて平等という訳にはいかないと。そんなにも女性ばかりが負担増になることを市が進めていきたいのですか？女性が出産、育児に力を注げる世の中にしていただきたいです。それも社会参加ではないですか？▼40歳代 男性 会社員



男女は対等であるべきだと思います。折角良い活動なのに残念ながら私は「男女共同参画」を知りませんでした。もっともっと、周知出来る活動を期待します。▼40歳代 男性 会社員 男女共同参画を進めていくにはとても大きなパワーが必要だと思います。多少強引でも市の役員や委員の数を男女同数にする等大胆な行動が必要だと考えます。▼40歳代 男性 会社員 男女共同参画社会の必要性は理解できるが、具体的な社会像が見えない。言葉では女性の社会進出を！男性の育児参加を！などと言われるが、それがどのような社会なのかが想像できない。アメリカのようになることが良いことなのかが分からない。今の現状がとてつもなく悪いわけではないため、わざわざ変えていく必要がどこまであるのか不明である。分かりやすい説明と理想像（理想的な社会）の提示が必要ではないか。▼40歳代 男性 会社員 男性優位の社会の考え方を改めなくてはならないと思う。確かに災害現場等、危険な場所への女性の参加は賛成できないが、角ばった地域や家庭を丸くするには女性の力は必須だと思います。▼40歳代 男性 公務員 高齢化社会の中で、介護福祉に目が向きがちになるのは致し方ない面もあるが、政治や行政とは未来をつくるものであり、未来とは子どもである。子ども福祉にこそ力を注ぐべきであり保育園や学童が充実すれば、女性の社会進出が進みやすくなり、結果として男女の性差は小さくなるのではないのでしょうか。▼40歳代 男性 公務員 女性が働きやすい職場、育児がし易い環境を整えることが必要である。また、家庭の協力、支え合う気持ちが大切である。▼40歳代 男性 公務員 男女共同参画は大切な事だが、女性に働いてもらって税金をとらないとやっていけない日本を言葉巧みに総活躍社会と言っている人に踊らされている。女性が社会に出ることは良い事のように思うが、家庭は女性にも働いてお金をとってもらわないと成り立たず、各家庭に地域の役を担う余裕がない事が増えていると感じる。つまり、男性も女性もそこまで働かなくてももっと余裕のある社会にすべきで、その仕組みを政治がやって、その後の話である。▼40歳代 男性 自

営業主・家族従業者 あまり建前が優先されないよう希望します。

いろんな働き方、生活の方法がありますが、安曇野市は多様性に対し寛容でないように感じます。その上での男女共同参画と思います。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 意味がない。その人の能力が発揮できる人作りをすればいい。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 市民の声はどこまで反映されるか疑問である。市庁舎も結局豊科に作られたし！税金はいくらでもあると思っている役所の考えに？だから、この男女共同参画も絵にかいたもちと一緒になると思う！色々言わないで、まずは実践してもらいたい！▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 男女共同参画の前に、知育活動への参加は必要ではないでしょうか。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 男女平等ということばにとらわれず、それぞれの能力が発揮しやすい環境を作り、一つ一つの課題を明確にし、クリアすることで重要な役割を見出してゆくべきではないかと思います。▼40歳代 男性 自営業主・家族従業者 偏向した考えの答えですみません。ただし、共働き世代が多くなったり、女性にもっと活躍していただかなくてはならなくなってきたと思います。実質的には女性は社会の中心であるため、あまり無理に女性を押し上げなくてもいいのではと考えます。男女関係なくできる者が助け合っていけばいいと思います。▼40歳代 男性 農林水産業・家族従業者 独身者の事を何も考えていない。暇な人たちが理屈を並べているように思える。▼50歳代 女性 その他 男性でも女性的な人や、料理、洗濯、家事が得意な方もあるし、女性でもパワフルでバリバリ力仕事でもなんでもこなせる方もいらっしゃる。年齢、性別を越えて、古代建築のように様々なクセのある木を組み合わせる大きな視点と土壌がまず必要かな。まずは男女という視点をなくすことでは？▼50歳代 女性 パート・アルバイト 何でも平等にとっても、限りがあると思いますが、少しの思いやりや協力によって、考えが違ってくると思います。まだまだ社会全体がうわべだけの平等をうたっていると思います。女性が家計を支えている家

庭もありますが、男性上位の社会は変わっていないと思います。1人1人の考えが変化しないと、社会全体も変わらないと思います。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 今回初めて知った、男女共同参画という言葉の重みを考える機会を与えてもらい、ありがたい。長い間、あたりまえと思っていたことが、異議を唱えるべきというのも、何だか悲しく思ってしまった。それぞれの解釈を変えていく作業はむずかしいですが意識改革が少しでも進むことを願いたい。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 子育てをしながら、自分の能力を発揮、活躍できる為、保育施設の充実、預かり体制を整える。学校へ入ったならば児童館施設拡大、そして6年生まで通える様、配慮できたらと思います。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 女性が社会に出ることも大切ですが、それに伴って0才から保育園に子供達がどんどん行くのはどうかな？と思う。子供達の立場で考えるといいのでしょうか？家に居ても世話をできないと施設に入らせるお年寄りも幸せかな。家が一番いいのでは？と思う。▼50歳代 女性 パート・アルバイト 身体の違いもあるし、全てにおいて同じ様にはいかないのが現実。それぞれの良い所を認め合い、感謝の心を忘れない様にしていきたい。▼50歳代 女性 会社員 この様に難しく考えなくても、最近の若い女性は男性よりずっと元気で積極的。むしろ男女差よりも世代差の方が問題。40代以上の男性の意識を変えることが特に重要に思う。女性の社会進出の妨げになっているのは中年以上の男性と女性だと思う。▼50歳代 女性 会社員 安曇野市のリーダーシップとなるご担当の方達の今後のご活躍に期待しております。▼50歳代 女性 会社員 県外から来た人たちはすでに女性が役職についている人たちが多かったのを見ていたのでなぜ男女共同参画とよく言うのかと思いました。私自身も小学校高学年で友達のお母さんが校長先生になったとか聞いていたし、女性がいろいろな場所で男性と同じように働いていたので普通だと感じていました。あまりにこちらに来てこの違いが不思議でした。▼50歳代 女性 会社員 人間として、協力、思いやり、助け合いの気持ちを持つ必要があると思

ます。▼50歳代 女性 会社員 男性、女性で区別するのではなく、市政に女性を、ただ投入するのはふさわしくなく、質であると思う。単純に女性にこだわる必要なし。一般的に、男性より女性の方が誠実でこつこつタイプが多い。▼50歳代 女性 会社員 地域や市だけで男女共同参画社会を目指しても実現的ではなく、学校や職場等、普段身を置く場所での環境が整わないと、生活していく上で理想と現実のギャップが大きくなると思う。▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 このようなアンケートを作成するよりも、もっと別の事にお金を使って下さい。私は心が狭いので、妊婦の仕事姿を見るととても不愉快です。(特に女性アナウンサー) ▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 行政の支援体制を整える事も大切だが、一人一人が少しずつ歩み寄って負担を分け合うような意識改革が必要だと思います。暮らしやすい町作りを自分たちで行う事が大切でしょう。▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 子供が健全に育つためのものであってほしい。▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 私の世代は女は女らしく、男は男らしくと教育されてきました。子どもの時受けた教育、考えはなかなか変えられないものだと思います。若い世代の人達には、皆人間が平等で、いろんな人がいる。それを認め合えるように教育などがんばってほしいです。▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 戦争など、力で統率しようとする事全てに反対です。男女共同参画においても基本的な人権の尊重であると思います。▼50歳代 女性 専業主婦・主夫 男女共にひとりひとりの人間として、持ち合わせているものを発揮できる社会になっていくことはとても素晴らしいと思うが、現実的ではないように思ってしまうのは、この地に根付く古い考え方のような気がしてしまうのは、たぶん私だけではないような気がする。▼50歳代 女性 農林水産業・家族従業者・女性の方が収入が多い夫婦なら、夫が仕事をやめて家事をしてもいいと思うが、世間ではそれを認める人が少ない。若い人たちが、年配の人に気を遣い、あまり自分の意見を言わない事が多い。▼50歳代 女性 無職 考え方の傾向・適性、体力体格の差など、男女そ

れぞれが元来持ち合わせているものがあるので、一概に平等を語るのは難しいと思う。物事を自由に選択挑戦できて、その場所で等しくかたよらず能力に応じた環境があれば良いと思う。私達の子ども時代と比べると女性の地位向上は大きい、主婦どっぴりの私には仕事を持つ女性の内情には疎く実情は感じ取れてないと思う。▼50歳代 男性 パート・アルバイト 私は男性単身家庭です。地域活動にも参加した事もなく、仕事、生活だけで精一杯の状態です。アパートの多い地域の生活の中で、地域活動参加のアンケートもありましたが、単身家庭では生活だけで手一杯である状態で周りに気遣う余裕等ありません。男女共同参画とは、結婚してこそ平等性を感じることが出来るものではないでしょうか。問い7-2も同等の意見です。▼50歳代 男性 会社員 アンケートの結果から何をすることが重要であると考えます。方向性を誤ると何も変わらず終わることが多いので良い対策の実行をお願いします。▼50歳代 男性 会社員 なぜ、男女共同参画と言った特別なことが必要なのか？本質は、何なのか。難しいと思うことは何なのか、十分に理解し問題意識を持つことが大切です。抽象的、極論では成り立ちません。何かおかしいのか？どうあるべきか？ただし、男女特有のものがあるので、個性を大事にする必要があります。▼50歳代 男性 会社員 ゆとり（お金・時間等々）がないと難しい問題では。▼50歳代 男性 会社員 自由時間の増長と課題提供（後者は重要）。▼50歳代 男性 会社員 身近な部分から改善していく点で、地域要職の選任時の男女差の解消を市のガイドラインとして提示して欲しい。市民への多様な情報発信について、日本語のみの情報が多すぎる。もっと多くの言語に訳された情報が必要、又、国ごとのコミュニティに市の職員がもっと参画し、市の意向を伝える機会を作った方が良い。▼50歳代 男性 会社員 男女の違いで出産は変えがたい現実である。この差をどの様に捉えるのか。ここに差がある事を認識して全てを同じく考えようとする事はナンセンス。ましてこの大きな問題を企業に押しつけることはいかかなものか。▼50歳代 男性 会社員 男女平

等にこだわりがあるなら1人の人間として見て女性だから出来ないとか男だから出来ないと分ける事なく人間として見れば良い事だと思う。▼50歳代 男性 会社員 都会では保育園の建設にも住民反対があるとの事。国家の社会保障の面からも問題である。男性がいい、女性がいいと言う前に家庭内での教育が重要。かつて家庭内で行われていた、人間として当たり前の教育（あいさつ、礼儀等）が、やがて学校に求められ、今では会社に求められる。▼50歳代 男性 公務員 企業内での女性の推進的な活用や人材育成が第一歩。育児、介護等は個別の問題であり画一的に解決できない。シングルマザーは弱者と位置づけ対応を早急に行う。▼50歳代 男性 自営業主・家族従業者 当然女性にしか出来ない事、男性にしか出来ない事はあります。出来ないからやれないのです。それが差別とか不平等とかではなく、それをやろうと思ひ努力する事、それは個人の考え方の違いではないでしょうか。たとえば子供の母乳を与える女性、すごく重いものを動かす男性。▼50歳代 男性 職業無回答 情報発信や啓発をもっとしていく事が重要だと思います。自分自身も考え方が変わるのに時間がかかりました。人それぞれタイミングがあると思います。なかなか忙しかったり、まわりのかんきょうで聞く耳を持たない時もあります。つねに情報発信をしつづければタイミングがあえば「なるほど」となると思います。本人が納得しなければなかなか根付かないと思います。▼60歳代 女性 その他 極端な選択はできないが、育児に関しては本能的な母親愛が必要。家族は母親をしっかり支えてやる環境が必要ではないか。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 学校での教育から教えてほしいと思います。また大人達も地域やいろんな場に出て学ぶべきと思いますが・・・▼60歳代 女性 パート・アルバイト 女性はまだまだ自由ではない。家父長制度は生きている。嫁は一生嫁で、一個人の人格はいまだに認められていない。自分達の子どもに、平等教育を受けさせて、きっと100年後くらいには、少しは平等になっている気がする。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 小学校からの教育をしっかり、人間(男

性と女性)としてお互いの特性を生かした考え方をしたら自然にお互いを思いやる人間となるのではないのでしょうか。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 昔とはちがい、男、女1人暮らしが増え、だれでも家事や介護をやらなくてははいけませんし、町内の役員も老人だって独身だって受けなくてはいけない時代です。できないなんて言ってもらえません。補助できる機関があればいいと思います。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 男女共同参画は、今の10~20代のこれから安曇野で活躍していつくれるだろう若い人達に推進できるよう、行政も若者が住みたくなる、安心して両親が共同参画しながら子育てできる安曇野にしてもらいたい。▼60歳代 女性 パート・アルバイト 父親が普通に家事をしている家で育った息子は、家事を自然にするらしい。うちの夫は父親が全く家事をしなかったので、洗い場に皿を溜めて平気である。(妻の私は仕事に出ている)家事は生きる上での最低の生活作業。家、学校で子供のうちから学ばせて欲しい。▼60歳代 女性 会社員 安曇野市でも昔から住んでいる人達の中に男尊女卑の考え方や風習があり、年配の人の考え方は変わることはないので月日が経過しないとだめでしょうね。▼60歳代 女性 会社員 男女共同参画という言葉が地域で何人の人が知っていますか?安曇野市でこんなに一生懸命になっていることをもっと知らせるべきです。少しずつでも、子供のうちから父と母は同等なんだ、父の良さ、母の良さを家庭の中で自覚できるような、そんな取り組みをして欲しいと思います。▼60歳代 女性 自営業主・家族従業者 まずは個人個人の考えを変える。とくに70~80代の考えを変えないと若い人が社会に出にくい。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 あらゆる所で差別なく、お互いを認め、助け合い、支え合う、まずは地域からだんだんと大きな輪になっていければいいと思います。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 これからの若い人には、すべてにおいて男女平等であり、又、その人の能力が発揮できる社会になってほしいものですね。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 まったくこの言葉のことを知りませんでした。PCなど色々なメディア

が多様化する世の中でも、現在も根強い男女不平等があると思います。移住の際、安曇野(長野県)は男尊地区だと聞きました。社会でもそうならば、会社自体も有能な女性は差別なく働ける場を作って下さい。男女差別は子供のときからの教育も大きい為、もっと自由な考えを持てる様学校教育を充実させて下さい。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 意識を変えていくのは時間がかかりますよネ!女性の中にも大変な仕事は男性に!と言うズルい面が多くあり、共同参画というと女性の地位UPのイメージがあるが、まずは女性が甘えない事だと思う。偏見はよくない。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 何でも男女同じではないと思う?男性にしかやり辛い事とか女性ではやりにくい事が有る、男・女が良く話し合う事お大切。人間だから、互いに良く話し合い、互いに認め合う事。互いに助け合う事。(他国の方が入ったら見回る)▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 堅苦しい雰囲気もなくして気軽に参加出来るにはどうしたらよいかを考えている。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 女性で活動して下さる方が増えることで女性の立場を政策などに生かしていただけたらと思います。外国での成功例などに学ぶ事が必要。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 職場の環境が変わることが一番と思う。(上司の品格、人間性、頭が良いなどの、女性だからなどの考え方。)▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 真に男女共同参画を実現したいと思う人達が集まれる環境である事。トップは、平等な心の持ち主である事。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 男女共同という言葉に抵抗を感じる。特に男女という言葉を使わなくても、普通にやれば良い。その場その場でやれる人がやれば良い。いまだに有識者の方でも、女性がお茶を入れてくれるのを待ち、飲み終わった茶碗も方付けしない人はたくさんいるでしょう。レジェンドの解消は日本では至難です。性別に区分せず、出来ることを出来る人がする。ちなみに我が家は夫74歳、妻69歳。妻は時間のある時に作り置き料理作りに専念。毎朝夫が先に起き、暖をとって朝食の支度、昼夜は妻が準備、各々の食後は夫が方付け。雪かき、草とり、枝切り、ゴミ捨て、台

所の生ごみ捨てはすべて夫。漬物は2人で、洗濯を干すのは一緒。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 地域をなんとかして元気にしたい。年よりが多くなり年々行事に参加する人が少なくなり淋しいです。家族にいる女性が進んで参加できる様になったらいいと思う。▼60歳代 女性 専業主婦・主夫 日本の文化にて共同参画はなかなか困難を要すると思います。しかし、時代と共に考えていかななくてはならない事だと思います。学校教育、地域、職場で学習する事で理解して頂き、男女ともに共同することがよりよい生活が出来、よりよい社会になっていく事を実感する。▼60歳代 女性 農林水産業・家族従業者 現在の参画役員には諸グループの代表が行っているが、役員だけで終わるのではなく、若い世代に重点を置き、あたりまえの活動になっていって欲しいです。▼60歳代 女性 農林水産業・家族従業者 男性だから、女性だからといわず、お互いに認め合いやれる人がやれば良いと思う。▼60歳代 女性 無職 男性と女性は、体や脳の構造が根本的に違うのだから、特性を活かした上で考えるべきである。▼60歳代 女性 無職 年代によっても男女協働参画の意識が違う。若い世代は共に協力しあいながら頑張っています。社会性を持ち、地域での活動を大切に若い世代の役に立ちたいと年配者は手伝いができたらと思いますが、それにしても市との協働が地域で大切だと思います。▼60歳代 男性 その他「三步進んで二歩下がる」この繰り返しが大切だと思う。今までと違ったことを言うのはなかなか……。▼60歳代 男性 その他 政治家は別ですが、市として強制的に出来る事はやらなければ、改革は出来ないと思う。給料をもらっている所が一番効果がある。消防団員でも会社の理解がないと活動が出来ないのと同じである。▼60歳代 男性 その他 男女共同参画して過ごしやすい安曇野にしたいものです。▼60歳代 男性 その他 丁度、先日バリバリお仕事をしている40代の女性と(ネイティブ信州)お話しする機会があり、「どうして長野は女性管理職が少ないの?」とおたずねしたところ、「女性自体にそういうポジティブな考えを持つ人が少ないのでしょうか。う

ーん。そこそこ仕事していれば良い。と言うのかなあ。」とおっしゃってました。この辺に理由がありそうですね。

こうした普通の方々、啓発事業(フォーラムとか)をいくらやっても、足を運ばないのじゃないのかしら。これも、今の所、良案は浮かびません。せっかくのアンケートなのに、力不足、知恵不足……。申し訳ありません。▼60歳代 男性 その他 日本の人口が減少するのでもっと多くの外国人の人に来てもらったほうが良いのではとっております。▼60歳代 男性 会社員 急に女性を表に出そうとすると反発がある。若い頃から女性を育て、この人ならこの仕事は大丈夫、キッチンとできることを任せていくこと。ちょっとしたことでキッチンと育成すれば地域のリーダーとなれる。年寄りの批判にも耐えられるよう相談窓口があるといい。良い人をつぶさないように。▼60歳代 男性 会社員 市民の多くの方々、男女共同参画という文字に興味がないと思う。何をやっているのかも(市の政策など)わかっていないと思う。もっと地域に根ざした啓発が必要では。▼60歳代 男性 会社員 社会の考え方を考える事が第一と考える。女性の目線を、アイデアをもっと大事にするように男性からはほんとうに必要な発想は出ないと思う。▼60歳代 男性 会社員 若い世代への参画よりは年の大きな人、中高年への教育研修が必要ではないか。▼60歳代 男性 会社員 女性の地域活動への参画により、進め方、内容などに変化があると思う。▼60歳代 男性 会社員 男らしさ、女らしさ、と男だから、女だからとが根本的に違います。お互いに協力できる事は例えそれが男らしい事でも、女らしい事でも積極的に携わっていく事が大事であると思います。だから垣根を越えて行く人が多く出たら、世の中も少しは楽しく思えてくるのではないのでしょうか。新しい発見があるかもしれません。実は料理が楽しみになったとか。▼60歳代 男性 会社員 無理に男女共同参画を進めるべきではない。基本的に男と女の役割は違う。ただし、女性でも男性のようなしっかりした考えの人もあるし、男性でも主夫が合っている人もいます。人それぞれ

れ、いろいろな人がいるから社会が成り立っている。役所がわざと方向性を出すのは間違っている。▼60歳代 男性 自営業主・家族従業者 お互いの思いやりの心があれば、男女は関係ない。▼60歳代 男性 自営業主・家族従業者 他人の意見や、社会的な習慣にとらわれることが多く、それぞれの個人や家族で自分たちに合うライフスタイルを作り上げてゆく大切さを、共成出来るような社会に向かって信じています。実社会では、新しい風が吹いています。問題点ばかりのべ立てる報道の在り方は、逆に古臭さを感じています。▼60歳代 男性 自営業主・家族従業者 男・女というより個人の力が重要ではないですか？▼60歳代 男性 職業無回答 確かにそれについては必要であると考えます。ただ、社会的に施設や環境が整備されていない現状では無理と考えます。▼60歳代 男性 職業無回答 打ち上げ花火に終わらせず、地味でも長続きが大事と思います。▼60歳代 男性 農林水産業・家族従業者 子供の頃からの学習により、意識を若いうちから向上させる。▼60歳代 男性 農林水産業・家族従業者 市としての活動、今後に期待します。▼60歳代 男性 農林水産業・家族従業者 人類の誕生以来、長い間に作られた生活環境、男女の肉体的なもの、精神的なもの、これを短期間で変化させていくことは大変なことです。私は男は男らしく、女は女らしくで良いと思います。ただ差別的な考えは排除すべきです。行政の中で色々な委員会等がありますが、女性の人材をもって発掘して下さい。それぞれの地域に沢山の人が埋まっています。現状、偏りすぎていると思います。行政もこの人に依頼しておけば無難ではなく、もっと適した人はいないかと足を使って探して下さい。▼60歳代 男性 農林水産業・家族従業者 男女というくくりで考えるのをやめ、個人的な適性を基本に考える。女性でも育児、料理等が出来ない人もいます。男性でもそれらは難なくこなす人もいます。▼60歳代 男性 無職 1大企業の責任を考えさせる。責任を負わせること。2女性、母子家庭への支援を増やすこと。3税制上から企業への啓発や制度を強制的に変えていくこと。▼60歳代 男性 無

職 いろいろな理由によりすべて公平に男女共同参画にはむずかしいかもしれませんが、近づけていく環境は作れると思います。すべての人が理解して協力する気持ちさえあればだと思えます。▼60歳代 男性 無職 たとえば10年くらいのロードマップを作り、その間試験的に色々なことを試してみる。そこから課題も出てくるように思う。あまり理想に走らず、試行錯誤の上、定着させていくものように思われる。地方ではまだまだ男女役割分担が固定されていることが多い。それらは暗黙の了解である事が多く、色々じっくり話し合えば、新しい仕組みが話し合える余地は十分にある。▼60歳代 男性 無職 安曇野市が、どれほど真剣に考えているが、どれだけやる気があるのか、今後の取り組みに注目されたい。▼60歳代 男性 無職 私も男女共同参画はとても良い事だと考えております。前向きに進めてください。▼60歳代 男性 無職 長い歴史の中で培われた男女の役割分担というのは、男女の特性を生かしたそれなりの思い意味があると思います。もちろん共同参画社会には賛成ですが、このことはじっくりと時間と年月をかけて進めていくべきことと考えます。▼60歳代 男性 無職 問い21の1～8まで全て重要である。1つやれば良いではない。共同参画は机上で考える事ではなく、(こんな事やりましたではなく)全部やって底辺を広げる事が必要。役所も住民も大変な事、今の社会(自分主義)では無理なのではないか。毎日が会議、学習の場所。▼70歳代 女性 その他 世代の交代によって自然にあたりまえの時代になると思う。▼70歳代 女性 その他 問い7-2の考えです。介護について。親の最後の面倒は子どもが、という考えが少なくなってきていて淋しく思います。やはり育ててもらった親は子どもが責任を持ってという指導が欲しいです、親にも責任があります。▼70歳代 女性 会社員 古代から近代と人の働き方人生設計が全然変わってきているので、そんな中男女共同参画(男女平等)が出来る基本のところは、子育て(成人まで)、介護のきめこまやかな公的な支援(施設含め)制度を充実することからだと思います。それから家庭・学校での幼少

からの話題づくりと教育と思います。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 お互い協力しあう事が大事だと思いました。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 まだまだ同等ではありません。古い考えの人が多いです。どんどん共同参画を進めて下さい。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 飲み会でのサラダを取り分けると周囲への気配りがよくできるとたたえるような風土が安曇野にはいまだにあるようだ。そんな所に男女共同参画事業が推進できるだろうか？▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 学校などで教育し、若者が男女関係なく意見を出し合える環境が出来れば、女性も学習して様々な機会に参画し、平等に生きられる方法を作り上げられるのでは。参画したいと思える為の知識・経験・意志が大切かとも思います。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 基本的には、男だから女だからという差別的な事は、ひと昔前なら色々問題あったと思うが、今の社会は大分差がないと思われるが、それが本音か建前かスッキリしない部分があるとされる。御苦勞様です。頑張ってください。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 最初は隣組等小さなところから始めていきたい。子供の小さい内は母親が子育ては当たり前です。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 私が医師として活動していたのは国立大学及び海外の大学です。安曇野市に移ってからはほとんど医師として働いていません。現在、ボランティアをやっています。年齢と体調により、責任の持てる状態ではありません。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 私共の若い頃からみれば女性の地位は向上していると思います。女性も男性と同じように働く家事などの負担が多く子供の数が少なくなるのが心配ですね。高齢の者に当たってしまいよい考えもできませんでした。お許し下さい。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 若夫婦と同居していますが、男女共同参画という事に関心がないように思いました。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 全ての物事、仕事に女性が男性と同じに出来るとは思わないので、共同にする範囲が良い方向に考えられた上でのことで在ったらいいと思います。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 男女の役割分担が決まっていた時代

に生きた者です。男女共同参画については時代の流れによってだんだん実現していくのではないかと思います。▼70歳代 女性 専業主婦・主夫 男性、女性、年より、子供、いろいろな方たちの思いをまとめるためには、いろいろな人たちが参画できるようになったらいいかな、弱い立場の方への思いやりのできる社会になるために。この企画をされた方に感謝します。▼70歳代 女性 農林水産業・家族従業者 健康推進委員の役員のとときに感じたことは、食に関すること、介護、教育は女性が8割を占めている。男性が選出されていない。公民館事業、認知症（誰しも関心あり）講座等、男性も大分集まる。※地区の役員会、農協（地権者懇談会、寺院、神社）すべて男性が多い80~90%以上。教育の場を借り、又市政での取り上げに期待する。※私も共同参画に出席したことあり、是非そうして頂きたいと思いますが、考えを変えないと！！と感じました。▼70歳代 女性 農林水産業・家族従業者 自治会、地域の役員役職は出来る限り協力したい。役員役職も同じ人ばかりなのになると負担が大変なので、出来る限り協力し合ってやっていきたい。徹底的に役員等やらない方もいますが、役員に負担がいくようだといけないので、地域に住む以上、助け合うことが大切です。たとえささやかであっても、出来る事はやっていきたいと思います。▼70歳代 女性 農林水産業・家族従業者 男女共同参画は大事な事だと思っておりますが、むやみやたらに急速に体制だけを整えるのではなくそれぞれ自身の力と意識が大切であると思う。▼70歳代 女性 無職 以前（12年程前）に出席した事がありましたが女性は家庭でやる事が一杯あると思います。意見を述べる事と、やる事が伴わない様に思われます。▼70歳代 女性 無職 何もありません。▼70歳代 女性 無職 外国籍の女性はとても自律していて日本人の一部の女性は見習ったらいいと思う。女性も男性ももっと平等だと言う事を意識して欲しい。学校教育の中で今以上に学習、研修が必要だと思います。企業は出産女性にもっと理解をして下さい。▼70歳代 女性 無職 高齢者が安心して暮らせる地域づくり。▼70歳代 女性 無

職 私達の地域では20年、30年この地に住んでも長老達にとっては「きた者はだまっている」の地域です。若い人達が自由に伸びのびとした生活が早く来るよう考えを柔軟にしてくれる時が来るのを望みません。支え合い社会は遠い地域です。▼70歳代 女性 無職 笑う門には福来ると言われるように、話題のある家庭には知識が増えると思います。何事も芽生える家庭が社会への出発点として地域の社会を強化していく様、願っています。▼70歳代 女性 無職 男女にこだわる事なく、仕事も家事も出来ることは自分でやる。これからは家庭でも学校でも子供たちに男の子の子ではなく、仕事でも家事でも意識させて出来るように。得意な事は家事でも仕事でも出来る事が望ましいと思います。(男女にではなく、個人。男が女になりたい人が多いですね。)▼70歳代 女性 無職 男女を問わず、又若人、高齢者を問わず皆が気軽に参加出来る企画、施設を充実したら良いと思います。住まいの近くに気軽に集まる事が出来る公民館等の改修をして欲しい、今ある公民館は古い、きたないので。若いお母さんが参加出来る企画をすると、子どもがついてくるので地域が活性化するので施設の体制を整えることが良いと思う。▼70歳代 女性 無職 長く活動を続けて行ってほしい。▼70歳代 男性 その他・啓発、教育活動を進めると同様に身近なところから理解度を進める。すなわち、親がしっかりした考えを持ち子に伝え、孫の時代へと家庭内でまず取り組んでいく事により達成されていくと思う。・外国籍の人達と交流を進め異文化を理解していくことも重要。▼70歳代 男性 その他 実力のある人が男性でも女性でも活躍したら良いのではと思う。この様なことを問題にすることがおかしいのではないのでしょうか？男女関係なく若い人の活躍を期待します。現実差別はないと思っている。能力のある人が活躍すれば良いのでは。▼70歳代 男性 パート・アルバイト 自治会の役員・仕事が多すぎる。本来市の仕事ではないか。わずかな補助金を渡して市は各自治会に丸投げと思う。必要なことは感じるが、集約すべきである。このままでは各自治会に不参加せざるを得ない。▼70歳代 男性 パ

ート・アルバイト 自分達だけが、平和で安全で暮らせたら良いという考え方を変えて、世の中、大変な人たちが居るということ(世界も)思って。何かできることを考え、行動に移していきたい。お金等が無理でも、ボランティアとか労働奉仕とか、思いやり、助け合いの気持ちで少しでも皆で力を出し合いたい。そんなイベントも良いかも？▼70歳代 男性 パート・アルバイト 数年でできるとは思っていない。時間がかかる。▼70歳代 男性 会社員 男女共同参画役員の手当は必要です。今は話を聞くだけで、たまには見学とかスポーツをしたら良いと思います。ある程度予算を付けて楽しくやるのも必要だと思います。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 「自ら進んで明かりをつける」を主眼に置き、参加、参画しやすい雰囲気作りを考えてみたい。1 身近で小グループにおける参画。2 親子、夫婦同時参加の企画を考える。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 育児、介護について若い時の研修を多く持ち男女共同参画について若い年代より普及していく。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 高齢化社会にあって男女共同参画の必要性は理解できるが、女性が仕事を求める理由は主に経済的なことが大半だと考える。昔から「二足のわらじは履けない」と言われているが、何事も両立することは困難だと思う。どこかにしわ寄せが生ずる事は必致であるとも思う。願わくば所得を増やし(給与等)子育てや家事に安心して専念出来る環境づくりが得策と思う。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 市の活性化のため女性の参画を多く進めることを希望します。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 自分も思いますが何らかの集会に集まると人の話ばかり(陰口)を良く聞くので、自分も別の集会では何か言われていると思うかもと思えば、集会にはあまり出たくない。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 特にありません。▼70歳代 男性 農林水産業・家族従業者 日本の現代社会は行政が思っているより男女平等が進行しており、「市が男女共同参画計画を策定する」など奇異に感じる。一番遅れているのが市町村ではないかと思う。▼70歳代 男性 無



職 1 独身の女性を参加させる行事には、交通の便、食事等に配慮し、個々の行事に相応しい知名度のある、若手女性や男性を参加させることが参加者の意欲をかきたてると思います。

2 既婚の成人男女の行事(イベント研修会・会合ほか)への参加を促すには、参加してもマイナスにならない工夫をあらかじめ広報しておくことが大切かと思えます。(駐車場の確保や意向を把握してからの各種行事の開催で、本人が癒され、プラスの気持ちになれる発言が採用され、又は参考とされ、対策に生かされるなど・・・) 3 無作為に抽選されたことがうれしく思っています。ありがとうございました。  
▼70歳代 男性 無職 テレワークの推進。規制緩和による貧富の拡大が最も悪い。がそれを言っても眼前の問題に対処できない。子供は母性の愛情による健全な育ちが最も大事である。昔流行った、悪平等な、何でも同じな画一的な思考は、人間の生物としての自然な生存になじまない面がある。▼70歳代 男性 無職 安倍総理は管理職の女性比率を数値で目標としているが、数値が目標ではいけないと思う。比較には数値が必要だが、それより一人一人がそれぞれの立場で充実した生活をし、意見を発することができているのかどうかをよく見て評価するのがよいと思う。▼70歳代 男性 無職 育児については、0~3歳までは、母親による(原則として)。3歳以降は義務教育とする。賃金アップ(特に女性)が必要。男女共同参画については上記原則による国政の推進が必要。▼70歳代 男性 無職 一人一人の人権尊重、平等(仕事、給料などなど)余裕のある労働生活にただす。▼70歳代 男性 無職 個々の人間性を認め「男だから女だから」の発想をやめる事が基本です、(これが前提です)▼70歳代 男性 無職 国や県、市地域が参画に向けて強力なリーダーシップを取り除背が働きやすい職場環境を作り女性に働きやすいようにし、昔につくった36協定も作り直し残業など国が積極的に介入すべきである。▼70歳代 男性 無職 市自体が共同参画を推進したいと思っているか。まずそれが第一歩。それなら次はどうすべきか。が二歩目。住民の応募者を各地

域 20~50名ずつ選んでその中でどうやったら前進できるかディスカッションをして、出来る事から実施してみる。又その先進国から情報を得てマネしてみるのも良い。▼70歳代 男性 無職 私にも40~50代の娘がおりますが、社会に認められて生活できる事が有難く思っています。皆様の御活躍をお祈りします。▼70歳代 男性 無職 女性の発言機会を多くし、慣習を弱める行動を優先させる。(区や常会レベルで)▼70歳代 男性 無職 男、女に関わらずなんでもやれば良い。いままでの古い考え方は捨てること。▼70歳代 男性 無職 男性、女性、老人わずかな年金なのに介護保険料を差し引かれ、田畑もない独居老人にどうやって生活せよというのか、行政がもっと低年金者に説明を求めます。▼70歳代 男性 無職 働き方の改善が必要(男・女)、強制力のある法整備を行う。▼70歳代 男性 無職 問題があるように改めて会議等をもたなくても、男女の区別なく職についてその後実力があり、やる気があれば性別には関係ないと思います。甘えを外に出すことは幹部の資格がないと思い、やめた方がよいと判断する。この問題を外に出すことによって差別があるように思います。受ける人が良ければ男女関係ないと思います。▼80歳以上 女性 その他昔から田舎には古い風習があり、その殻から抜け出すことは、根本から変えることは、ある年齢に達するとむりだと思えます。古い考えや、風習を子供の頃から教え、自分という人間を探せるように、どういう行動をとったら、社会、地域を改善できるのか考えられる時間をたびたびもうけていかれたらいかがでしょう。▼80歳以上 女性 自営業主・家族従業者 私自身意見を言いたいがなかなか出来なです(男女共にの会)。女性同士ではたくさんのいい意見がありますが、今の若い方は大分理解し実行している様に見受けられます。▼80歳以上 女性 専業主婦・主夫 こんな老人にアンケートをいただきありがとうございました。▼80歳以上 女性 専業主婦・主夫 今まで、男女共同参画という言葉自体遠いものとして見ている人が多いと思います。もう少し身近に感じるような誰もが入り易い所から推進すべ

きと思います。▼80歳以上 女性 専業主婦・主夫  
今まで何を言っても少数意見としてとりあげていただきませんでした。私はもう80歳を過ぎましたのでただ静かにすごしたいと思っております。どこへ出かけるにもタクシーです。あづみんは予約だそうです。温泉券を頂いても一度も行ったことはありません、アンケートには関係ないことですみません。  
▼80歳以上 女性 専業主婦・主夫 若い人達に期待します。▼80歳以上 女性 専業主婦・主夫 良くテレビで見ますが、共働きの場合、男性が休んで子供を遊ばせたりしています。女性の苦勞が分かって良いかと思っています。▼80歳以上 女性 農林水産業・家族従業者 80才台になって思う事は、嫁いだ頃は男の人の前を歩いてはいけない。余り歯を出して笑ってはいけない。口ごたえをしてはいけない等。数に書ききれない程の事を経験して今日に至っています。今の若い人を見るととてもいきいきとしていて両親で子供と遊ぶ姿。こんな若い世代の人が沢山見受けられるので、これからも男女共同参画についても大いに希望を持って行かれんぢやないかと祈ります。▼80歳以上 女性 農林水産業・家族従業者 家にばかりいたのでは、わからない事ばかりです。▼80歳以上 女性 農林水産業・家族従業者 学校教育、地域、職場などで男女共同参画について話し合う機会を作る。▼80歳以上 女性 農林水産業・家族従業者 昔は、男女共同参画については何もなかったのですが、今は色々と社会が変わってインターネット、スマホと変わっています。私たちにはわかりません。▼80歳以上 女性 無職 0歳児でも預けて職場復帰できることとか、お父さんが育児休暇、介護休暇をとっても職場に復帰できたり、その後もいいポストもめぐってくるような会社があればいいが。アンケートの主旨とは違うかもしれないが人によっては家事が好きとか、逆に社交的な人とか、個人差があるので一律は難しいかも。そういう個人差を、少しは減らす意味で、学校教育も大切ですね。▼80歳以上 女性 無職 80代以上の人にアンケートはあまり意見がないと思います。介護を受けていない人対象にした方が良い。▼80歳以上

女性 無職 アンケートの人選に問題があると思います。▼80歳以上 女性 無職 まだまだ田舎は男性の方がわがままである。80才を過ぎると少し問題がわかりにくい。書いておきましたが、判断をしてください。▼80歳以上 女性 無職 寄る年波でよくわかりません。ご協力出来なくて申し訳ありません。○をしたのも自己判断です。▼80歳以上 女性 無職 自分は一市民として、ただ(平凡)に暮らしている→何かしてみたい向上心→意識向上を手助けし、参加しやすい雰囲気を作る→常に相手を認め合う(男女共)→私は人口分の1の役割と責任を与えられている自覚を育てる・・・こんなことを考えてみました。▼80歳以上 女性 無職 徐々に男性も協力してくれる様な傾向になっていると思います。▼80歳以上 女性 無職 少しずつ理解。長い目で取り組む。▼80歳以上 女性 無職 世界の女性議員数を統計した資料を見ると日本の女性議員数は世界157位とあり、この資料から思われることは、日本の過去の歴史のあり方から、今にして社会通念、しきたりを変えることはなかなか難しいと思います。しかし、中学、高校が男女共学となった以後の年齢層からは大きな変化がされています。職場、地域での研修で、しきたりや上司の考えが変われば、男女共同参画問題が1人1人の人格が活かされ、希望ある社会となるのではないかと思っています。▼80歳以上 女性 無職 地区の役員は当番制なら仕方なし。▼80歳以上 男性 農林水産業・家族従業者 この種のアンケートが必要と思わない。▼80歳以上 男性 農林水産業・家族従業者 家庭学校職場市と共同して推進する。▼80歳以上 男性 農林水産業・家族従業者 共同参画は社会に男女が存在する限り取り組む課題であり、同取組については地域について話し合うべきことだと思う。▼80歳以上 男性 農林水産業・家族従業者 男女共同参画と言っても各家庭にはそれぞれの事情があり経済状態、人間構成により一様ではありません。個性、特徴があります。その中で参画の意義その他話し合い充分理解した上で行動に移す肝要と思う。▼80歳以上 男性 農林水産業・家族従業者 男性も女性も社会的、地域の

立場考え推進事業に入り考えを啓発することと思う。  
▼80 歳以上 男性 無職 お互いが思いやりの心を持つことが必要（男性・女性）。 ▼80 歳以上 男性 無職 我が小国で、資源が無い為、国を豊かにする為政治が良くない。ノルウェー、スウェーデン国の様な状態に持っていくには、どうしたら良いか、考えさせられます。政治、行政が良くなるためには、私たち選挙民が良く考え、選出する考えを一人一人持たなくてはと思います。 ▼80 歳以上 男性 無職 行政で推進するのは、障害撤去だけでよいのではないか。理想像をせせないまま、旧来が全てダメとして改める考えには賛成できない。男女とも理解し合えて、納得できれば敢えて同一のことを当番制で行うようなことを考えなくてよいのではないか。ロボットではない、人間だから。 ▼80 歳以上 男性 無職 最近、男女共同参画について、テレビ、新聞等で良く報道されており、又、安倍総理も女性管理職の増を訴えています、数だけで公平とは言えません。家庭にあっても幸福であると思えるような豊かな生活こそが必要です。夜は一家一緒に夕食を共に出来るような政治こそが必要です。日本には、日本の伝統的文化があります、これを大事に、外国の良い所は取り入れる。そんな社会を望みます。 ▼80 歳以上 男性 無職 私の若い時代とは、考え方を変え、男女が共同で生活を営む時代なのだと思う。今は、家族に支えられ生活をしている。男だから、女だからの考えではなくて協力して生活していくことを大切にしたい。 ▼80 歳以上 男性 無職 社会活動の現状では、まだまだ男女共同参画意識は低いと思うので、特に市の審議会や委員会に特に女性を積極的に登用することが男女共同参画意識を高めるための手段になると思います。女性の登用については、各地域の区長に推薦依頼をすることも意識を高めるための手段となるのではないか？ ▼80 歳以上 男性 無職 女性が男性適任分野に進出することではなく、女性らしい細やかな愛情が発揮できる社会を作ることと思う。例えば母親が働きに出ていて、子供の面倒を見れず、愛情に飢えて不良化してしまう。放送中のNHK朝ドラ「べっぴんさん」では裕福な家庭、

母親が仕事熱心で子供に愛情を注げない、娘がグレてしまった。私の近隣にも同事例がある。→幼少、幼年期は子供が学校から帰宅すると母親がいて、おやつや話を聞いてくれる。そのために女性の勤務時間を選択できるような社会制度が真の共同参画を助長する。 ▼80 歳以上 男性 無職 職場について言えば、指導的立場の人物の選出をすることが第一。特に学歴だけで選出された人物にハラスメントを起こすことが目立つと思う。 ▼80 歳以上 男性 無職 長い年月がかかるが是非進めてほしい。 ▼80 歳以上 男性 無職 日常生活等で男女の話し合い、交流の場を拡大してゆく様に心がけて行くこと。 ▼80 歳以上 男性 無職 友達作りをする。 ▼年齢無回答 性別無回答 職業無回答 理想ではあるが、生物としての義務を放棄しなければクマのメスは冬、穴の中で子供を産み春に外に出て子供を育てる。それが自然の営み。

